

平成 22 年度 財団法人横浜市青少年育成協会 事業報告

【 総 括 】

平成 22 年度は、青少年 4 施設（横浜市青少年育成センター、横浜市青少年交流センター、横浜市野島青少年研修センター、横浜こども科学館）の指定管理期間 5 年目（最終年）の、次期指定管理者獲得の年であり、また新公益法人に移行する年という、協会にとって大きく変化する年でした。

新公益法人への移行に備え、協会の目的、事業、組織、財務等を公益法人制度関連三法に基づいて慎重に分析・検討した結果、「青少年活動を支援する事業」「青少年を支える人材を育成する事業」「青少年に体験機会や活動の場を提供する事業」を 3 本柱とする事業分類を行いました。これらの事業分類にそって、協会本部事業や放課後キッズクラブ事業、指定管理施設において様々な事業を実施するとともに、各施設の適正な管理運営に努めました。

また、（財）横浜市青少年育成協会は、平成 23 年 3 月に神奈川県知事より公益財団法人の認定を受け、平成 23 年 4 月 1 日に「公益財団法人よこはまユース」として、新たな一步を踏み出すことになりました。

1 「青少年活動を支援する事業」

市立高等学校での生徒の社会貢献活動の義務化に伴い、交流センターの「青少年体験活動推進コーナー」において多くの高校生に活動情報の提供などのコーディネートを行いました。緑区の十日市場中学校の生徒が、地域活動に参加し、地域の大人との交流を図りつつ、地域が活性化するという「十日市場中学校地域交流事業」は、かねてより当法人が支援してきた青少年育成活動です。この取り組みが市教育委員会発行のパンフレット「横浜の時間」に大きく取り上げられ、これまでの実績や成果を他の地域にも広げる形になりました。

2 「青少年を支える人材を育成する事業」

「小学生の居場所とスタッフ研修」や「青少年育成者講座」などを育成センターで実施し、指導者・育成者の研修とともに、安定した居場所運営に貢献しました。これらの事業は、横浜市の青少年行政施策ならびに地域で活動する青少年の指導者・育成者のニーズを踏まえた点で、中間支援機関としての当法人の特色を明確に打ち出すことができました。

3 「青少年に体験機会や活動の場を提供する事業」

市立横浜サイエンスフロンティア高等学校をはじめとする市内の高校と連携し、「自分だけのロボットを作る、動かす」など高校生と小学生がともに科学を体験するといった機会を数多く提供し、異年齢同士の交流という新たな体験活動を展開することができました。また、若者の就労体験では、研修センターの点検作業やこども科学館の企画展において、若者の自立支援団体と連携して就労体験の機会を提供しました。

4 「放課後児童育成事業」

小学生を育むための放課後の安全な遊び場と集団活動の場である「放課後キッズクラブ」を 20 校運営し、多くの小学生に日常的な居場所を提供しました。また、キッズクラブ周辺の地域での清掃活動やプログラムなどを通じて、子どもと地域との交流や相互理解にも積極的に取り組みました。

5 指定管理施設の管理運営

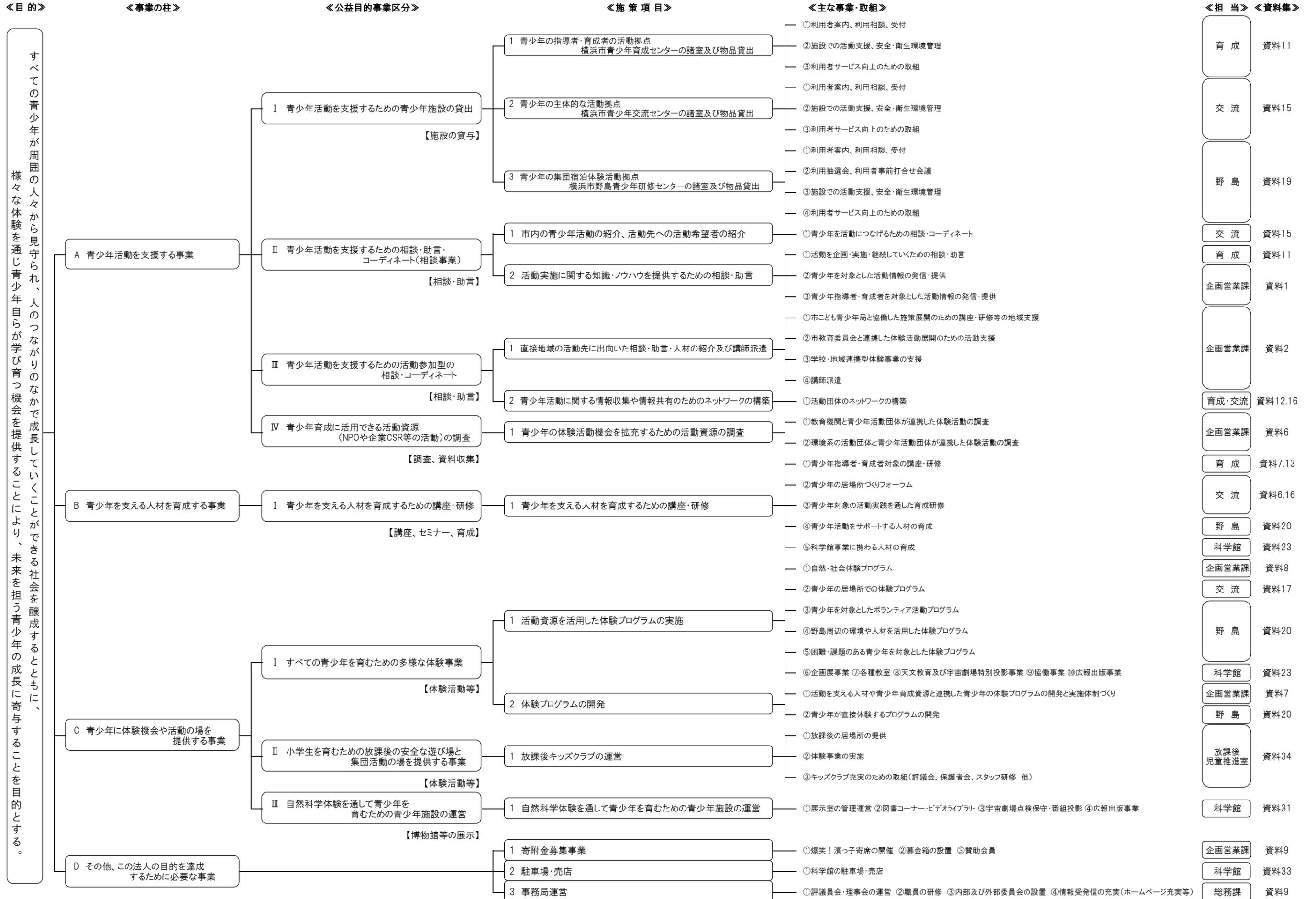
青少年 4 施設の指定管理業務については、5 年間の指定管理期間（平成 18～22 年度）において適正な管理運営に努め、青少年育成の拠点施設として 4 施設とも当初の目標値を達成することができました。

次期指定管理者については、4 つの施設ともに第 2 期指定管理者に応募しました。3 施設は指定管理者として選定されましたが、こども科学館は選定から漏れ、26 年間の管理・運営を終えることになりました。

拠点施設の管理運営をはじめいずれの事業も横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜こども青少年プラン後期計画」の施策を踏まえた取り組みであり、横浜市の青少年育成行政の推進を図ってきました。

今後も、青少年育成の専門的な公益財団法人として、体験活動などを通じて青少年が成長できるよう、中間支援機関としての機能を高め、人とのつながりの中で成長できる社会を醸成してまいります。

平成22年度 財団法人 横浜市青少年育成協会 事業体系図



I 協会の事業

A-I 青少年活動を支援するための青少年施設の貸出

【目標】

青少年の育成活動を展開する場の提供として、青少年の指導者・育成者の活動拠点〈横浜市青少年育成センター〉、青少年の主体的な活動拠点〈横浜市青少年交流センター〉、青少年の集団宿泊体験活動拠点〈横浜市野島青少年研修センター〉、科学体験を通じて青少年を育成する活動拠点〈横浜こども科学館〉の4施設を指定管理者として管理運営し、施設の貸出などを行っています。

青少年ならびに指導者・育成者の利用に際しては、安全の確保並びに運営補助などの支援を職員が行うことで青少年ならびに大人がともに育つ環境の醸成を図っています。また、施設パンフレットやホームページを通じて広く利用案内を周知しています。

【実績と自己評価】

平成22年度においては、年度末に東日本大震災による臨時休館があったものの、こども科学館を除く3施設で横浜市との協約による利用件数の目標値を達成することができました。こども科学館についても、年度末の東日本大震災による臨時休館がなければ、達成できる見込みでした。

◆協約における目標値と実績値

施設／項目	協約目標数値（年）	H22年度実績値	H22年度達成率
育成センター	利用件数 3,640件	4,194件	115.0%
交流センター	利用者数 78,000人	94,284人	120.9%
研修センター	利用件数 560件	562件	100.3%
こども科学館	利用団体 1,065件	1,040件	97.7%

交流センターでは、ロビーワークを通じて、青少年が現在抱える問題や必要としていることの把握に努め、青少年の成長を図る働きかけを行いました。そのために、青少年の利用者が前年（平成21年度）に比して増えています。

なお、こども科学館については、7月26日に「入館者700万人記念イベント」を催し、26年間の実績を大きくアピールしましたが、第2期指定管理者（平成23年～27年度）の選定ではこれまでの実績や提案が認められず、平成22年度を以って26年間の管理運営業務に終止符が打たれました。

【主な事業】

- 育成センターの貸出
- 交流センターの貸出
- 研修センターの貸出
- こども科学館の運営

A-II 青少年活動を支援するための相談・助言・コーディネート（相談事業）

【目標】

横浜市内で行われている就労体験、環境保全、自然科学体験活動に関わることで青少年が学び育つ機会を提供するため、相談・助言・コーディネートの支援を行っています。活動希望者の経験や希望を踏まえ、ボランティアを必要とする団体や施設を紹介しています。相談助言は、青少年活動やボランティア活動に精通した職員が行っており、職員はユースアドバイザー研修、県リードアップセミナーなどの研修を受講することで、コーディネーターとしての専門性の向上に努めています。

【実績と自己評価】

平成 22 年度、交流センターでは引き続き「青少年体験活動推進コーナー」を通じて、ボランティア活動などの体験活動について相談・コーディネートしました。特に市立高等学校の社会貢献活動の義務化に対応し、多くの高校生にボランティア活動を始めるきっかけを提供することができました。

育成センターでは、「ボランティア情報スポット」として相談業務を実施しましたが、相談件数が少なく、今後は、職員やコーディネーターが地域に出向き、青少年団体のリーダーやスタッフに積極的にアプローチすることで、ニーズを把握し、相談活動や青少年活動の支援を展開する必要があります。

【主な事業】

「青少年体験活動推進コーナー」の運営（交流センター）

「ボランティア情報スポット」の運営（育成センター）

「青少年のためのボランティアガイドブック」の発行（本部）

A-Ⅲ 青少年活動を支援するための活動参加型の相談・コーディネート

【目 標】

横浜市内で実施されている青少年活動を継続、充実していくため、職員が活動現場に出向き、活動を企画・実施する指導者・育成者に対して、事務局業務の補助、活動プログラムの相談助言、ボランティアの紹介、講師の派遣などの相談・助言・コーディネートの支援を行っています。

相談・助言業務は、青少年活動に精通した職員が実施し、事業内容や成果についてはホームページを通じて事業の成果やノウハウを広く提供しています。また、研修の受講や青少年育成活動に関する情報収集を通じて専門性を高めています。

【実績と自己評価】

平成 22 年度においては、地域や NPO、ボランティアが連携し青少年を育む事業を実施できるよう、引き続き「十日市場中学校地域交流事業」や、青少年パートナー、地区センター職員など青少年に関わる指導者の意見交換会である「鶴見区青少年パートナー研修会」の実施に協力しました。

「十日市場中学校地域交流事業」については、市教育委員会が刊行したパンフレット「横浜の時間」に事例が取り上げられ、これまでの実績や成果を他の地域にも広げる形になりました。

また、「よこはまの青少年の体験活動フェスタ」や「水源林保全活動体験」など市内の自然環境や教育資源を活かした青少年の体験活動プログラムの開発や検証を行い、その活動資源を生かした体験プログラムを教育機関や環境活動団体と連携して実施しました。これらの事業を通じて、青少年育成、若者自立支援、環境保全などの団体、NPO との関係を深めることができました。

【主な事業】

「十日市場中学校地域交流事業」（本部）

「鶴見区青少年パートナー研修会」（本部）

「よこはまの青少年の体験活動フェスタ」（本部）

「水源林保全活動体験」（本部）

A-IV 青少年育成に活用できる活動資源（NPO や企業 CSR）の調査

【目標】

横浜市内で行われている NPO や企業の CSR 活動（企業の社会貢献活動）など、青少年育成活動に活用できる体験活動のリソース（資源）を調査し、青少年の育成活動を行っている団体及び小中高等学校に情報提供することで、青少年自らが学び育つ体験活動の領域拡大や活動機会の充実を図っています。調査、資料収集の結果を報告書にまとめ、青少年育成団体及び小中高等学校に無料配布するとともに、ホームページに掲載し、情報提供を行っています。

【実績と自己評価】

平成 22 年度は、青少年や指導者、教員を対象に、地域にどのような体験活動の場があるのか、またどのような NPO が青少年の参加を受け入れているのか、といった活動資源を網羅した「体験活動マップ（ユースマップ）」を横浜市と連携して作成し、ホームページを通じて情報提供しました。

今後、このマップを活用して青少年の体験活動を推進していくためには、横浜市と当法人との役割分担を明確にしていく必要があります。

【主な事業】

「体験活動マップ（ユースマップ）」の作成（本部）

B-I 青少年を支える人材を育成するための講座・研修

【目標】

青少年及び青少年育成に関する知識や技能を習得し、青少年育成への理解を深め、青少年育成活動の普及を促進することで、青少年自らが学び育つ機会を充実するための人材育成を行っています。職員が収集した情報や経験に基づき、青少年育成活動に必要なテーマを検討し、参加費を無料にしたり、横浜市の広報やホームページによる PR など、誰もが参加できるような講座や研修会を企画・実施しています。なお、専門性を高めるため、専門機関等の外部講師の活用も図っています。

【実績と自己評価】

平成 22 年度は、「小学生の居場所とスタッフ研修」（育成センター）や「スキルアップ講習会」（研修センター）などの研修事業を実施しました。

実施にあたっては、地域の青少年団体のスタッフにヒヤリングし、ニーズを活かした研修プログラムにしました。今後も青少年育成団体や NPO と行政をつなぐ中間支援機関としての機能や信頼性をさらに深めていく必要があります。

【主な事業】

「居場所づくり支援」（本部）

「小学生の居場所とスタッフ研修」（育成センター）

「中学生の居場所とスタッフ研修」（育成センター）

「青少年委員会の運営」（交流センター）

「スキルアップ講習会」（研修センター）

C-I すべての青少年を育むための多様な体験講座

【目標】

就労体験、環境保全、自然科学体験活動など多様な体験機会を提供し、青少年が自ら感じ考えることで学び育つため、体験事業を企画・実施しています。事業では、青少年が集団で協力して目標を達

成していく過程で、社会性や協調性を身につけられることをめざしています。ホームページや事業チラシ、広報等を通じて広く周知するとともに、参加費を無料にするなど青少年が参加しやすい講座を企画しています。

【実績と自己評価】

平成 22 年度においては、市立横浜サイエンスフロンティア高等学校をはじめとする教育機関と連携して青少年の体験事業を数多く企画、実施しました。

「自分だけのロボットを作る、動かす」（こども科学館）「横浜の自然を知る、感じる」（横浜市こども青少年局：共催）などでは、高校生が小学生を指導する、事業の企画運営を高校生が担う、といった体験プログラムを試行しました。結果、異年齢同士の交流を通じての教室運営は、双方にとってさまざまな学びがあることが判明しました。平成 23 年度からは、当法人がこども科学館の指定管理者ではなくなるため、これら科学プログラムを実施できるフィールドを新たに確保する必要があります。

【主な事業】

「自分だけのロボットを作る、動かす-プログラミング・ロボット教室-」（本部・こども科学館）
「横浜の自然を知る、感じる-鶴見川河口の自然観察-」（本部）

C-Ⅱ 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

【目 標】

小学生に放課後の安全な遊び場と集団活動の場を提供することにより、青少年を健全に育成することを目的とした事業「放課後キッズクラブ」を横浜市の補助金などにより実施しています。

この事業は、小学校に在籍する全ての小学生を対象としており、活動内容や案内資料を毎月全校の児童に無料配布しています。活動は主に学校施設を利用していますが、近隣の公園や図書館、地区センターなどの施設を使用するなど、地域の人々との関係を大切にしながら、活動を行っています。

【実績と自己評価】

平成 22 年度は、20 校のキッズクラブを運営しました。20 校のキッズクラブでは、在籍児童の 54.8%（20 校の平均）が登録しました。

この 1 年間でキッズクラブ月平均 1,347 人、総計 323,377 人が利用し、各キッズクラブで実施したプログラムは、毎月平均約 24.5 回（約 499 人）、年間総計 5,880 回（119,763 人）でした。

【主な事業】

「放課後キッズクラブ」の運営（放課後児童育成推進部）

D その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

【目 標】

すべての青少年が周囲の人々から見守られ、人のつながりの中で成長することができる社会を醸成するとともに、青少年にさまざまな体験機会を提供し、その成長を促すための事業について広く市民に周知し、理解を深めることを目的に「爆笑！濱っ子寄席」や募金箱の設置などの事業を実施しています。

「爆笑！濱っ子寄席」については、チケット代金の一部を一般寄付金として青少年育成活動の資金として活用します。また、青少年育成活動に理解のある各種企業の代表者による実行委員会を結成し、協賛企業の募集やチケット販売などの業務を職員とともに実施しています。

【実績と自己評価】

平成 22 年度は、「爆笑！濱っ子寄席」がちょうど 50 回目であったところから、桂歌丸師匠をはじめとして豪華な顔ぶれによる記念公演を実施しました。

昭和 59 年度（1981 年度）に創設された「ボランティア育成基金」も多くの市民や行政、企業、団体の協力により、また「爆笑！濱っ子寄席」や基金箱の設置などの事業を通じて積み立てられ、青少年育成のためのボランティア活動の推進などに活用しています。

平成 23 年度からは公益財団法人に移行するところから、これらの基金を今後、具体的にどう活用していくかを検討する必要があります。

【主な事業】

「爆笑！濱っ子寄席」（本部）

募金箱の設置（本部）

II 協会の運営

協会目標の達成

【目 標】

下記の 4 項目を協会運営目標として達成に向け、協会運営を行ってきました。

- 1 公益財団法人へ移行する。
- 2 引き続き科学館等の指定管理者となる
- 3 新しい組織風土を創る
- 4 諸規程や要綱などに基づいた文書・経理処理をする

【実績と自己評価】

- 1 新たな公益法人への移行については、平成 22 年 6 月に行政庁である神奈川県に申請をし 3 月 24 日に認定されました。平成 23 年 4 月 1 日に「公益財団法人よこはまユース」として登記を行い、新たなスタートをきることができました。情報収集や内部研修など 2 年間にわたって公益法人への移行を準備してきたことで、円滑な認定につながりました。
- 2 こども科学館などの第 2 期指定管理者については、法人全体で取り組みましたが、こども科学館は選定から漏れてしまいました。

第 2 期指定管理の提案のうち、「施設管理運営の基本的な考え方」については、科学館を「子ども・青少年がお互いに育ちあえる機会を提供したり、支援したりできる『育ちの場』」と捉えた提案が高く評価されました。しかし、「展示物の更新を行わないなど少々保守性が感じられる」「今後の事業展開に疑問が感じられる」といった選定委員会の評価により、次点となりました。

- 3 各課において具体的な目標を設定し、それに向けて組織運営を行いました。
- 4 法人の運営については、諸規程や要綱などに基づいた文書・経理処理をすることで、的確な運営を実現することができました。

組織運営

1 法人移行

平成 20 年 12 月、新公益法人制度改革関連三法の制定に伴い、当法人は青少年育成の専門的な『公益財団法人』として、平成 22 年 6 月に神奈川県に公益認定の移行申請をしました。結果、平成 23 年 4 月 1 日、「公益財団法人よこはまユース」として設立しました。

2 職員研修の充実

職員の外部研修参加を積極的に奨励し、職員のスキルアップに努めました。今年度も横浜市が実施している「ユースアドバイザー講習会（全 9 回）」に 2 人の職員が参加し、青少年の健全育成を含めて、若者の社会的・経済的自立のための社会資源や取り組みを学ぶとともに、関係機関・団体とのネットワークを広げました。

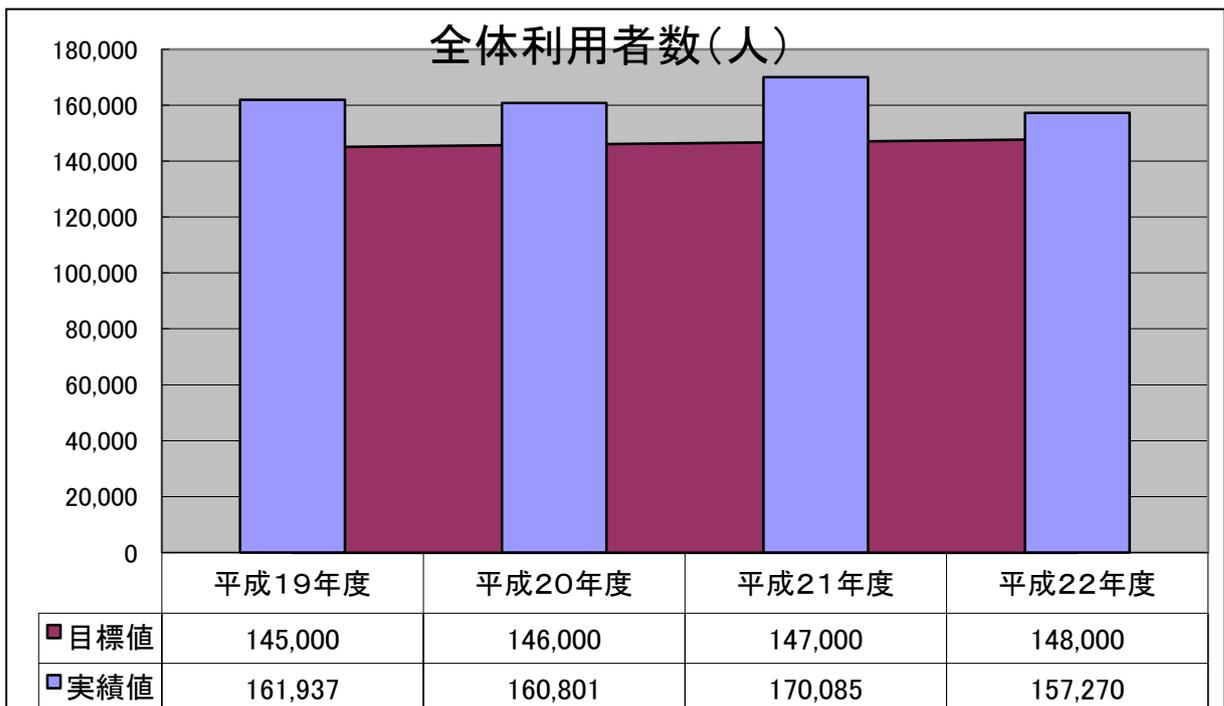
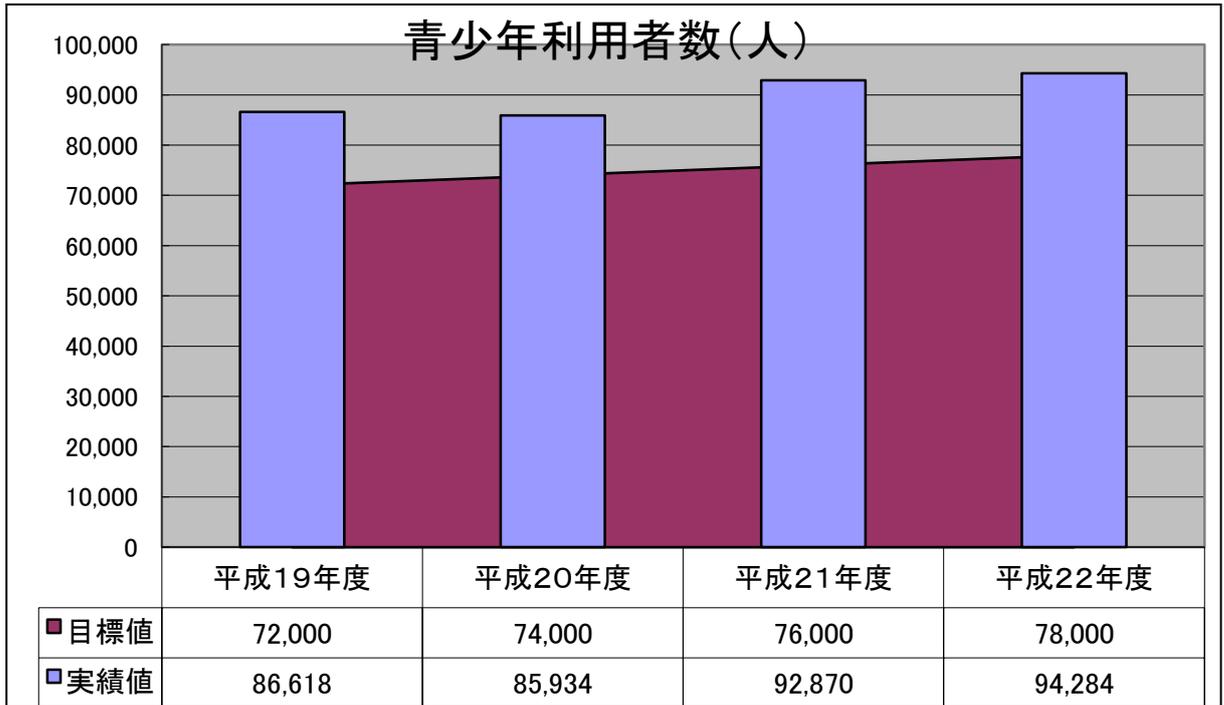
協約目標の達成

平成19年4月から4か年の期間で横浜市と締結した「協約」の4年次目にあたる平成22年度も、単に協約事項に定めた目標の達成を図るのではなく、横浜市が協会に期待する役割を十分認識し取り組むことにより公益的使命を果たしてきました。

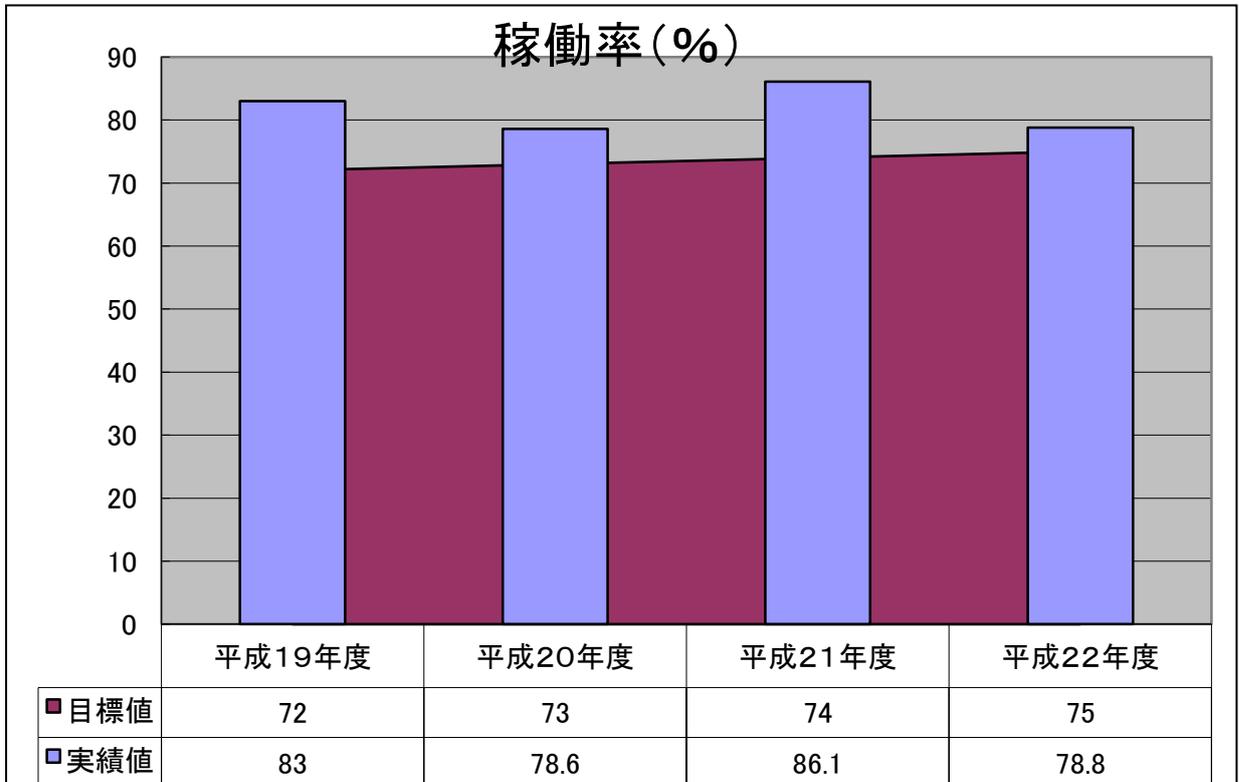
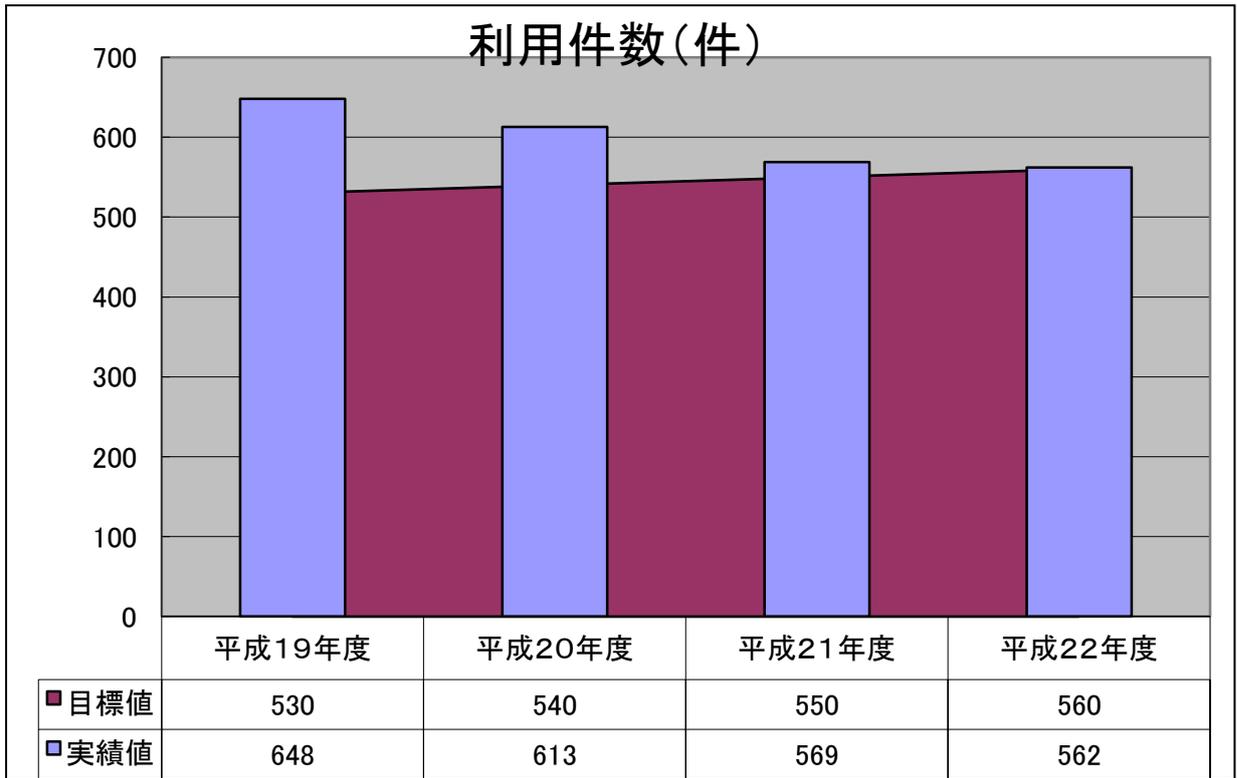
協約事項1

指定管理者として管理運営を行っている4施設の利用者の増加（4施設10%以上）を図ります。また、キッズクラブ事業の利用率の増加（10%以上）を図ります。

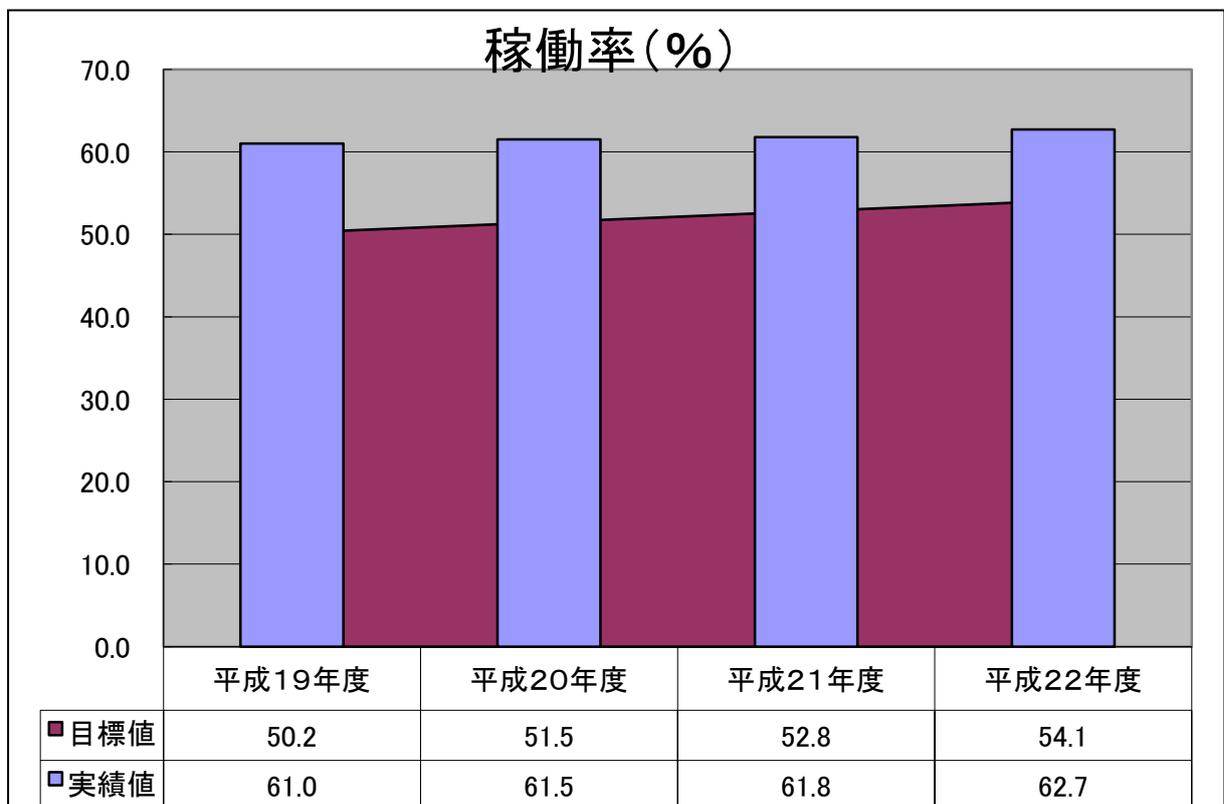
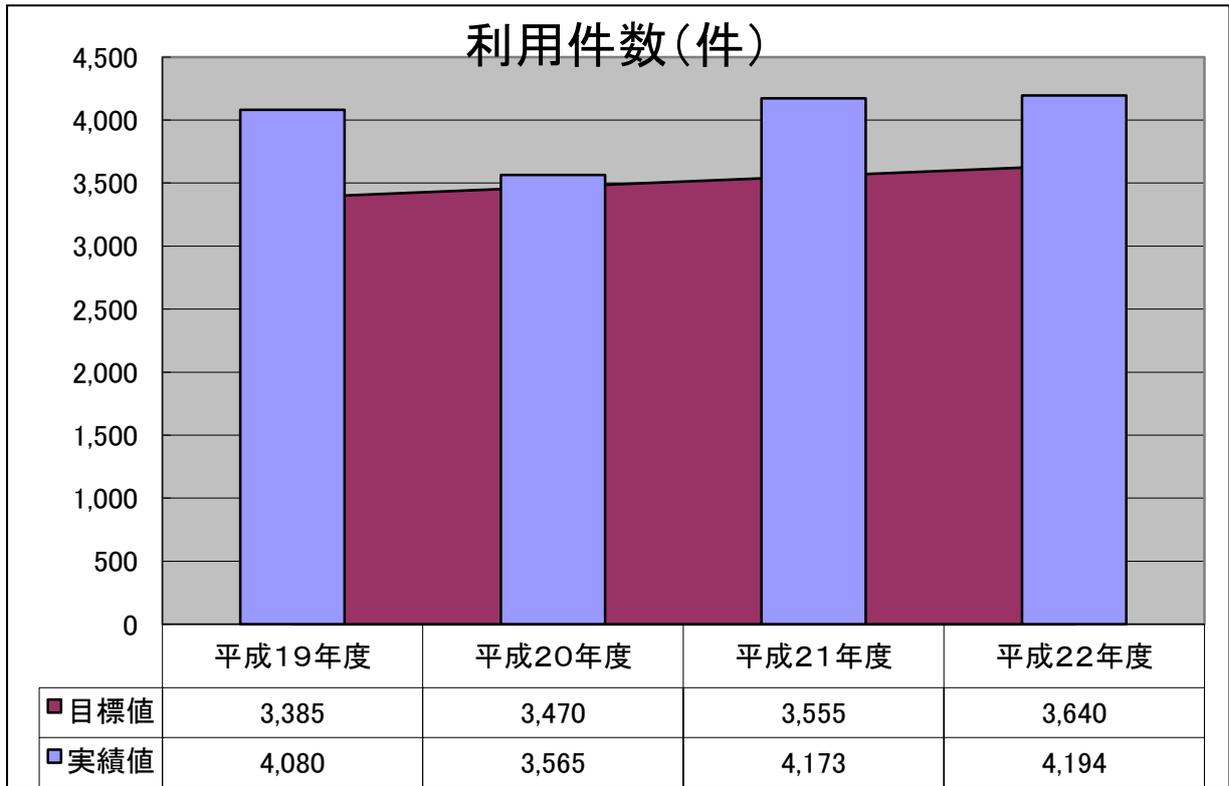
【横浜市青少年交流センター】



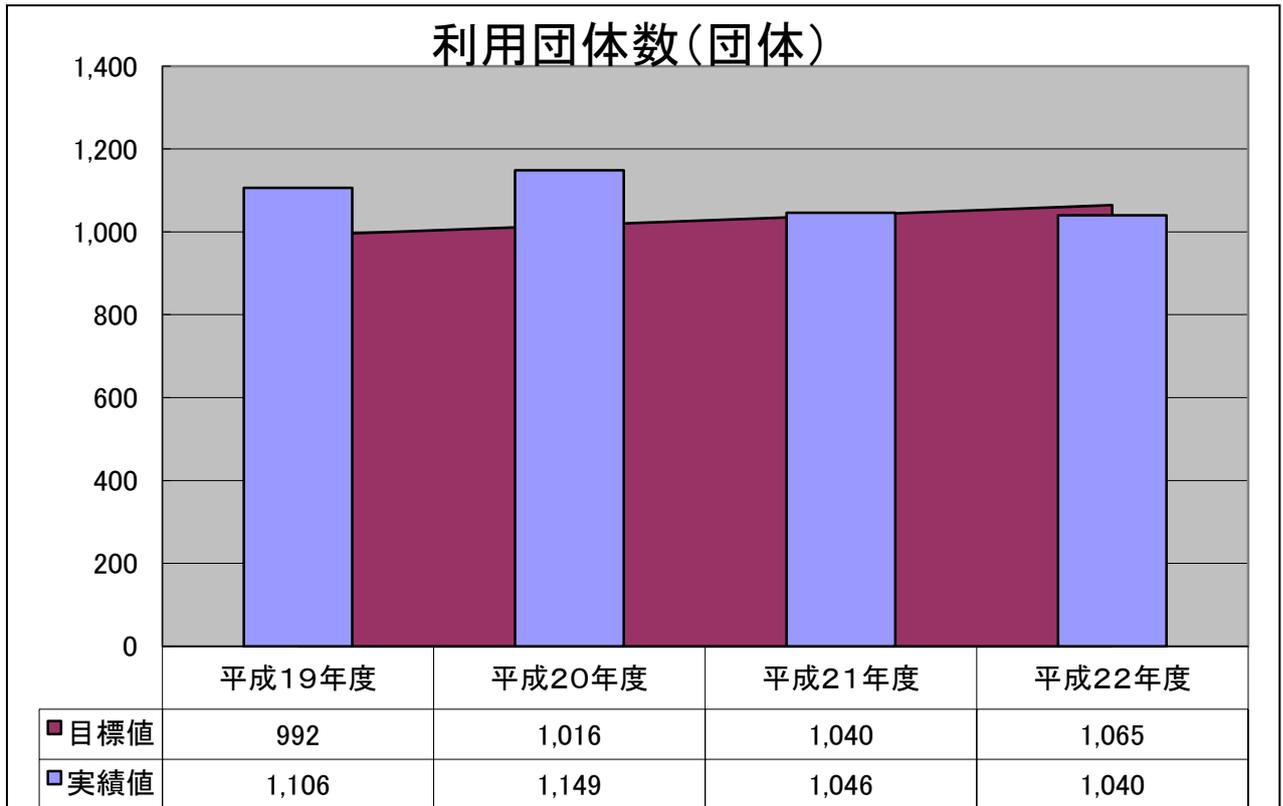
【横浜市野島青少年研修センター】



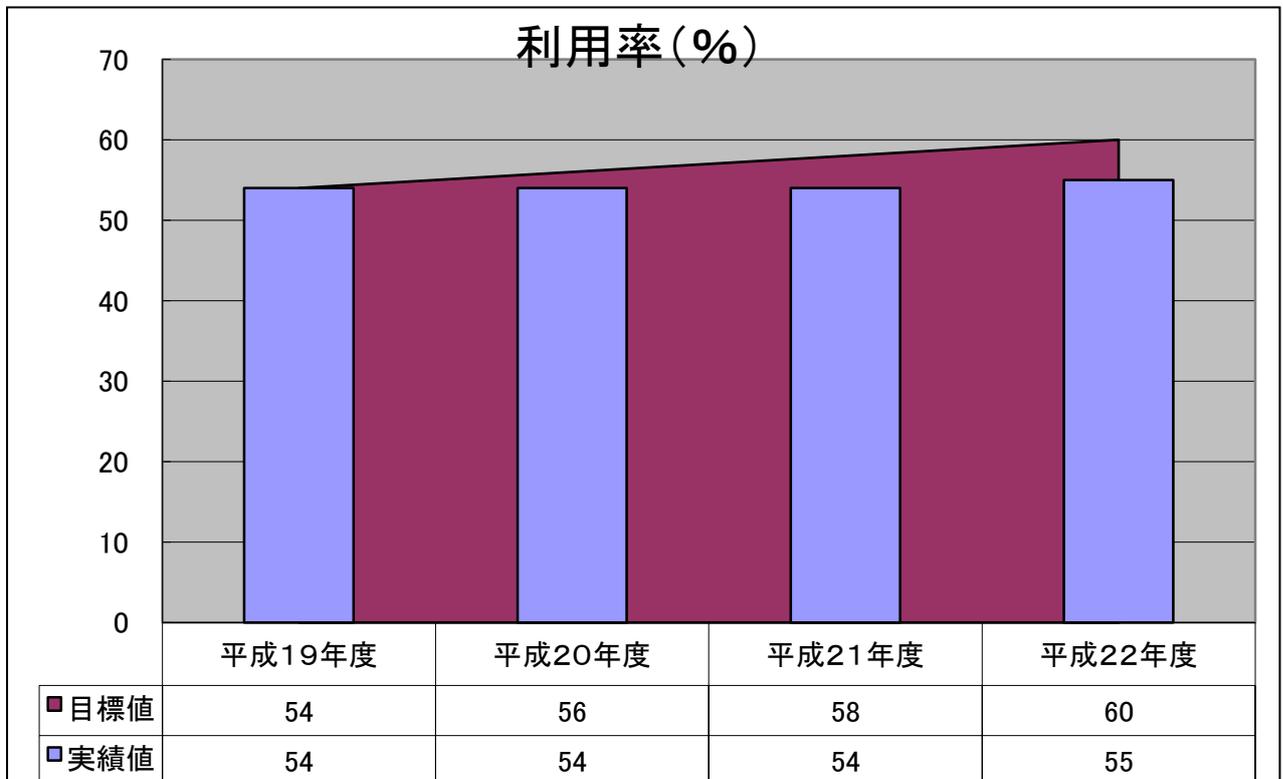
【横浜市青少年育成センター】



【横浜こども科学館】



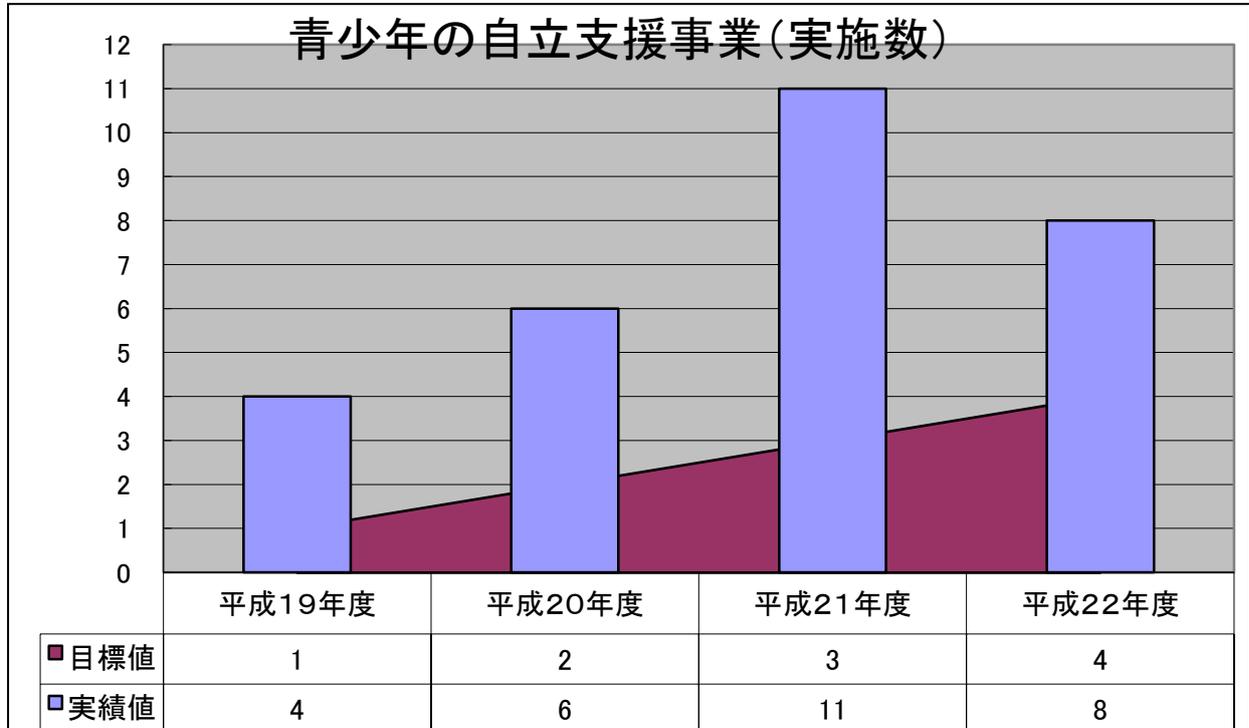
【放課後キッズクラブ】



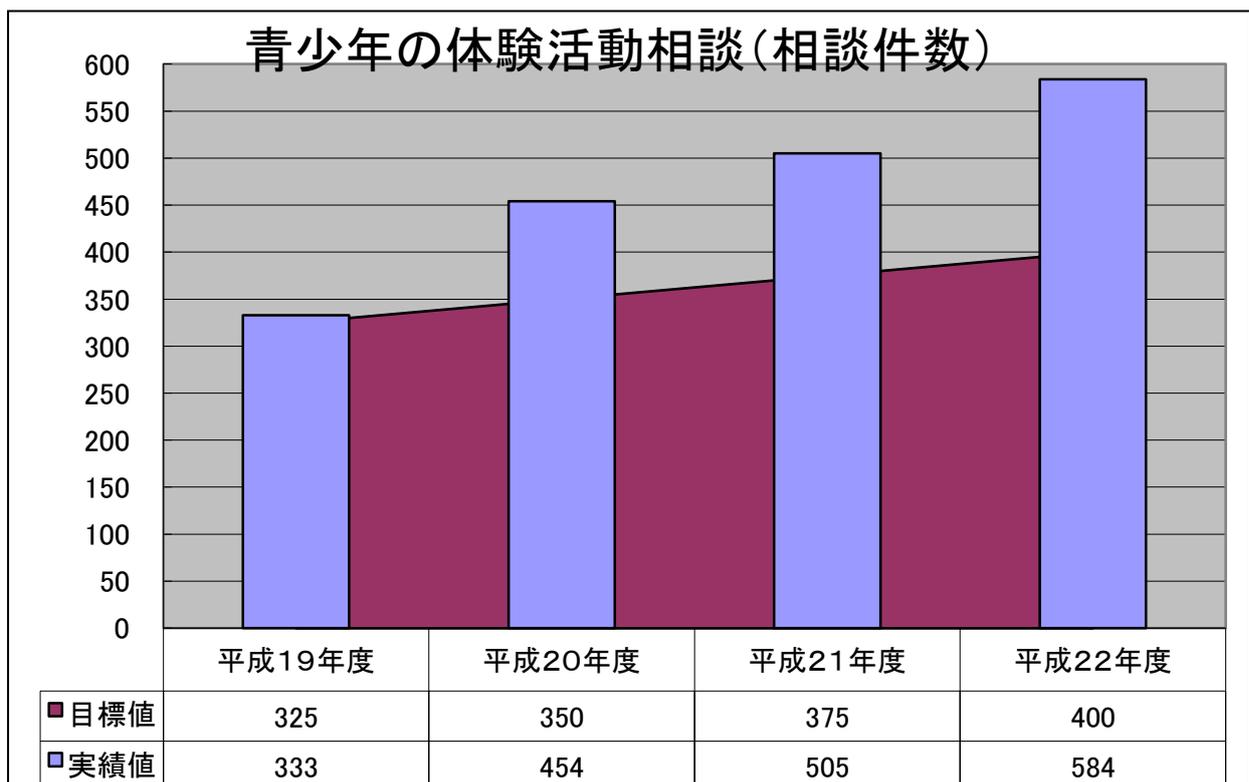
協約事項2

青少年の自立支援事業を4事業以上実施します。また、青少年の体験活動に関する相談件数を400件以上（コーディネート件数63%以上）、青少年指導者等の講座への参加者数を380人以上とします。

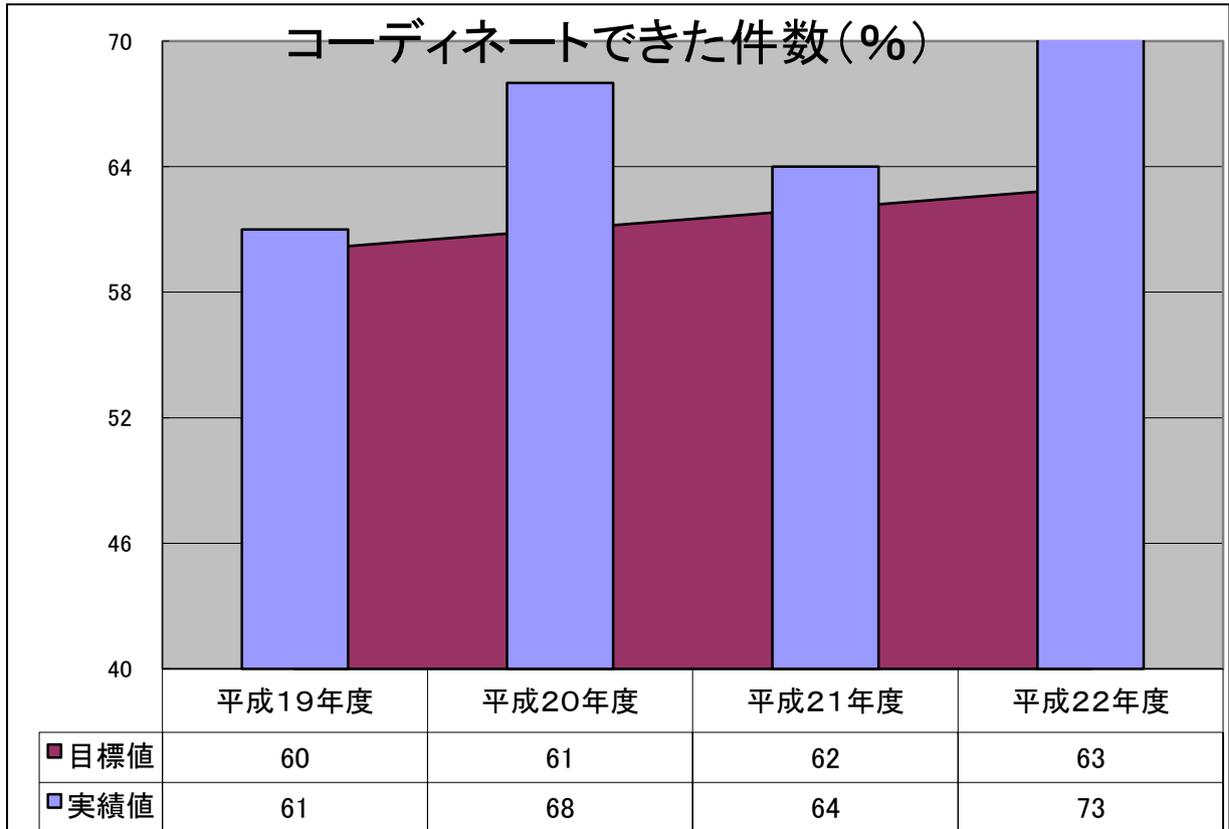
【青少年の自立支援事業】



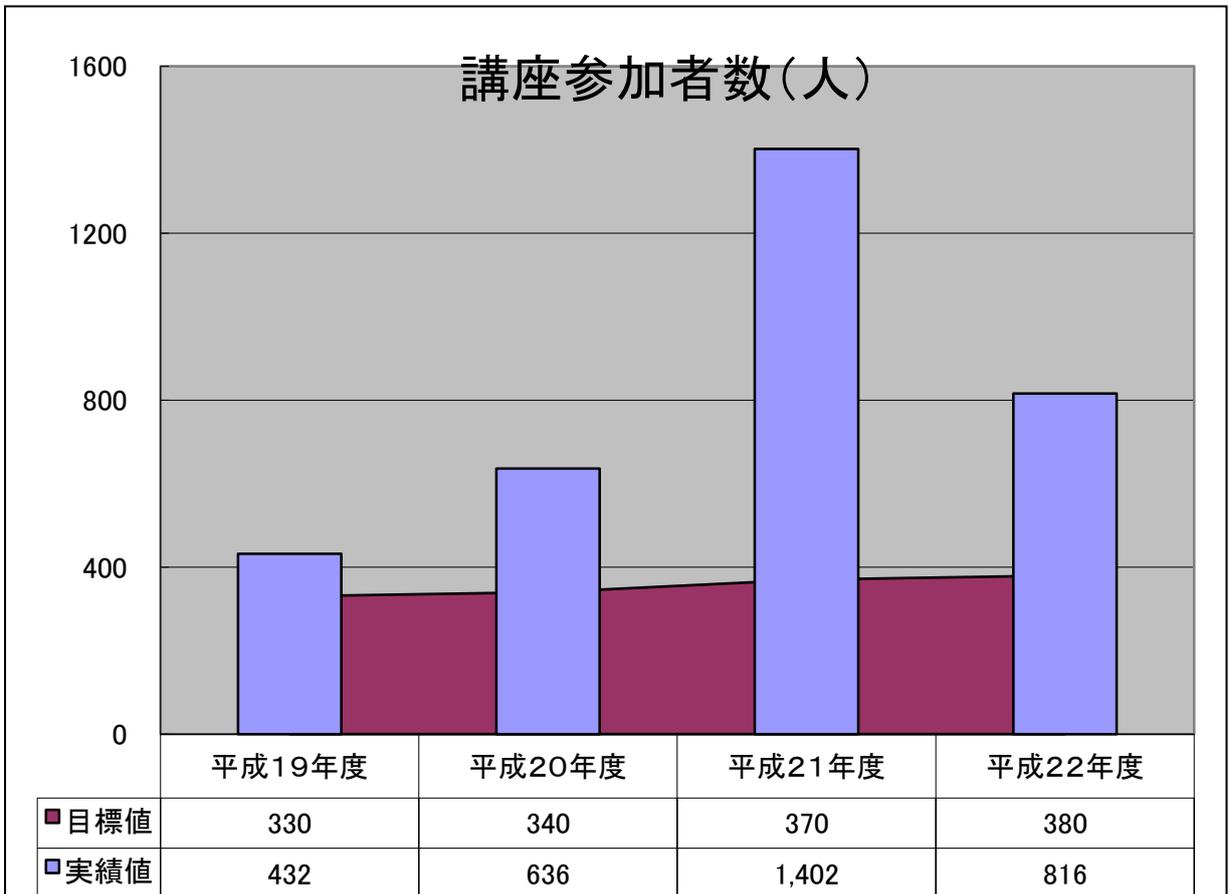
【青少年の体験活動の充実】



【コーディネート件数】



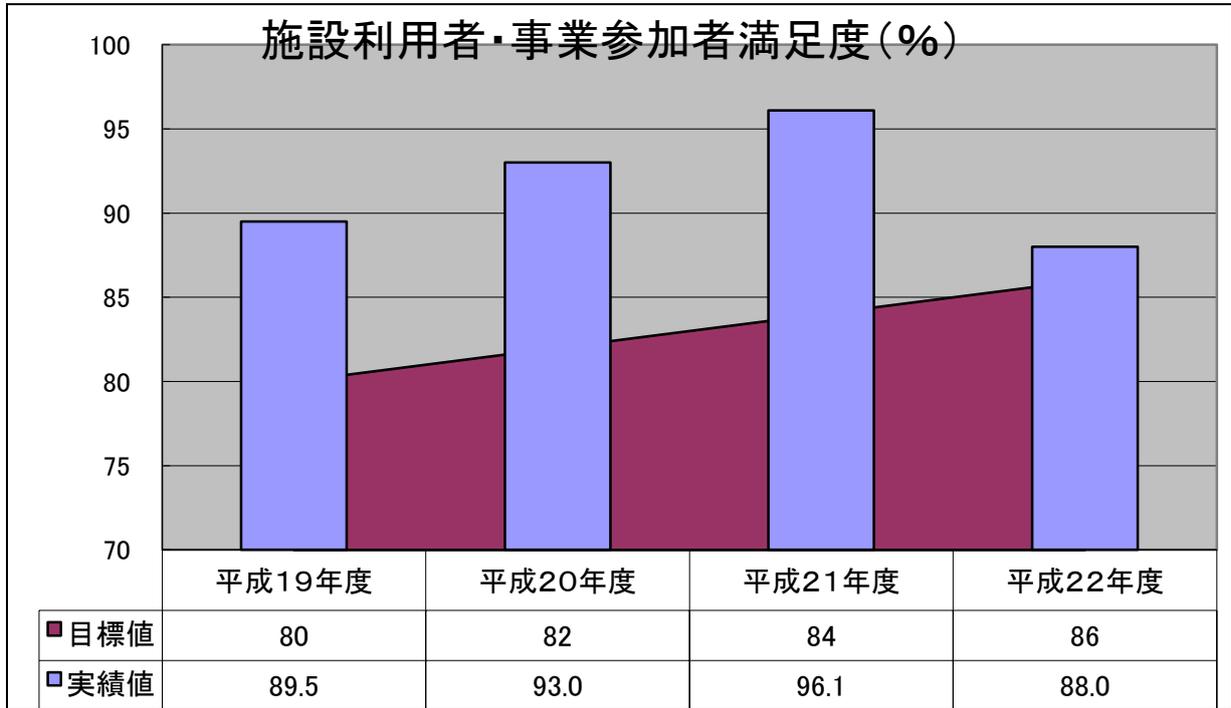
【青少年指導者等の活動支援】



協約事項 3

施設利用者、及び事業参加者の満足度（目的達成率）を 86%以上とします。

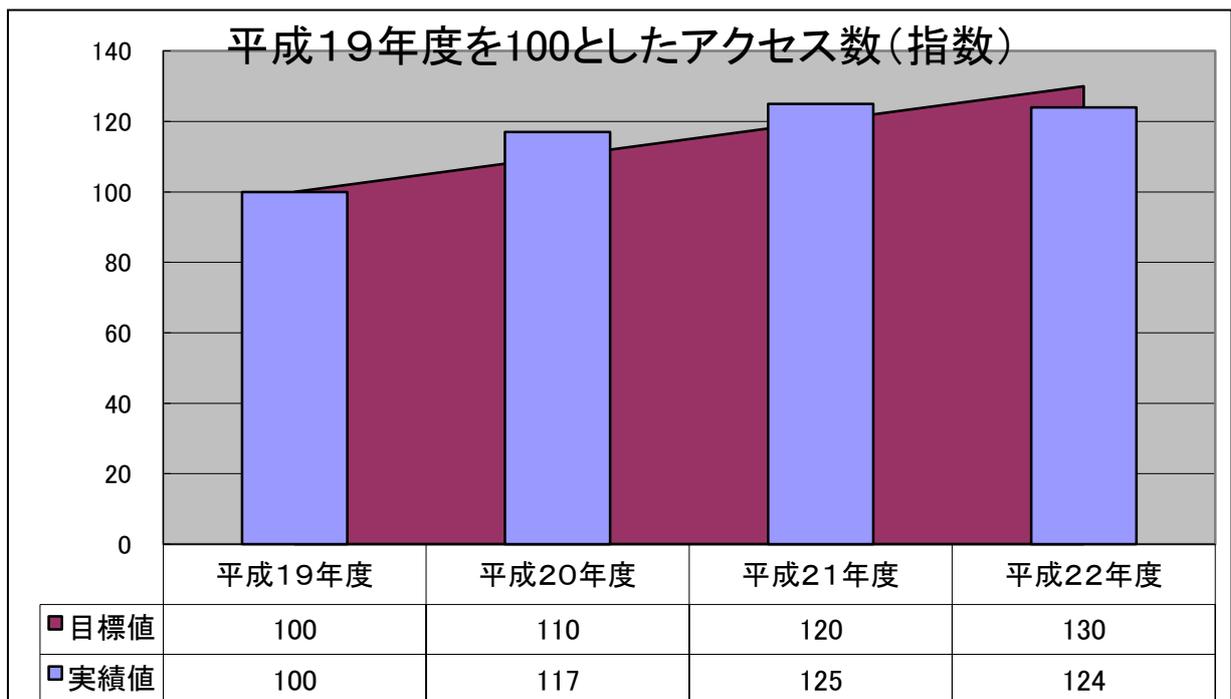
【満足度（目標達成率）】



協約事項 4

ホームページへのアクセス数を 130（指数）以上とします。また利用者の声の一層の反映を図ります。

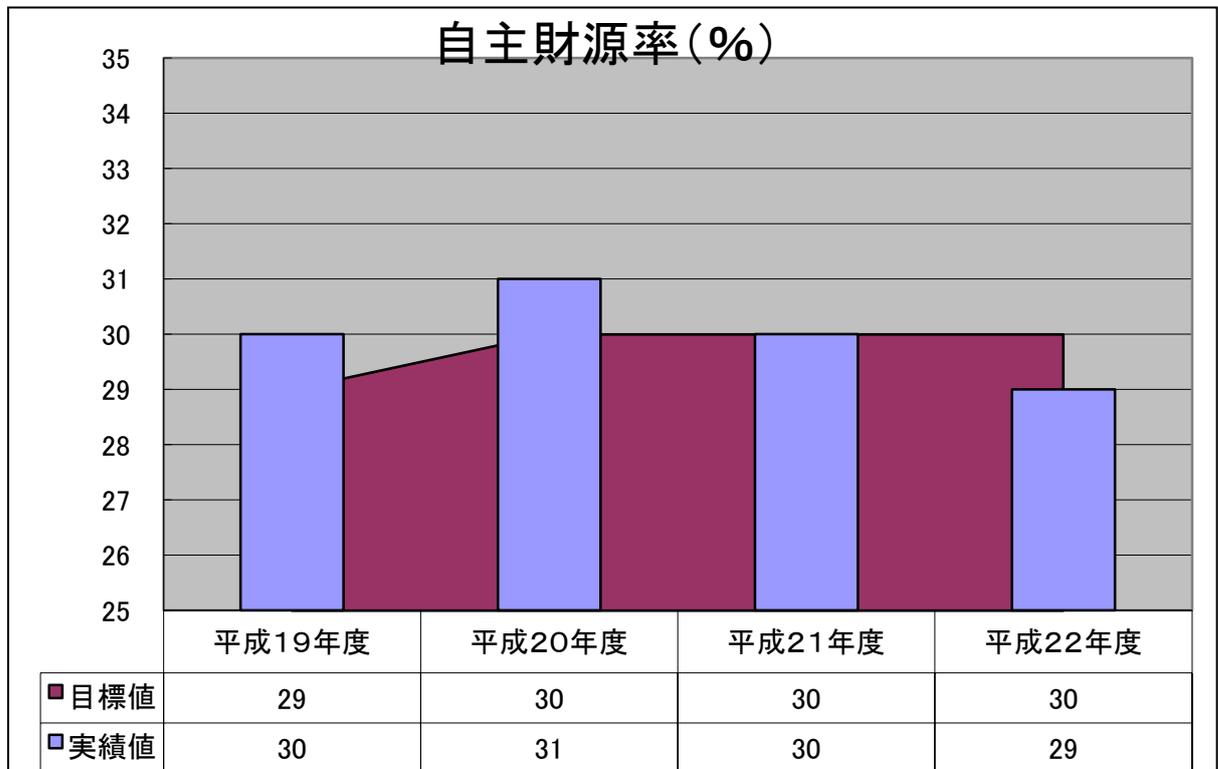
【アクセス数】



協約事項 5

自主財源比率を 30%以上とします。

【自主財源率】



目標達成に向け、利用料金、事業収入、会費収入、ボランティア育成基金などの自主財源の確保を図りましたが、平成22年度は、東日本大震災による臨時休館のため、利用料金、事業収入が減少しました。

協約事項 6

職員の意欲を引き出し、事業の充実や職員のスキルアップを図ることのできる新たな組織・人事給与制度を導入します。

新たな組織・人事給与制度の導入（人材育成、人事考課制度の導入）

新たな公益法人に移行するため、職員研究交流集会などを通じ、職員の公益法人に対する理解を深める機会を設けました。また、公益法人移行に向け、評議員や理事の選出、定款などの準備ならびに申請を行いました。人事給与制度への導入は、公益法人への移行作業、青少年4施設の次期指定管理者の準備などにより、実現できませんでした。

平成22年度
財団法人 横浜市青少年育成協会

事業報告 資料集



よこはまユース

公益財団法人 よこはまユース

I 本部事業	
事業名（本部事業）	事業体系 区分
A 青少年を育成する事業 A-II 青少年活動を支援するための相談・助言・コーディネート【相談業務】 協会事業・青少年育成活動情報の発信・提供	
1 協会広報紙「はまユース情報」の発行（各施設連携） 協会の主催・共催事業や協会運営施設の事業、ボランティア活動の情報を広く市民に周知し、青少年事業への協力者・参加者の増加を図りました。併せて、協会運営の情報を公開し、公益性や透明性を高めることに努めました。 発行部数：79,000部（年6回：5月、7月、8月、11月、1月、3月） 配布先：協会会員、関係機関・団体、学校、市内郵便局、公共施設、駅PRボックス、ほか	A-II 2-②
2 青少年のためのボランティアガイドブックの発行 ボランティア情報だけでなく、協会運営施設についても紹介するなど、ボランティアに関心のある青少年にとって協会を身近に感じられるような工夫をしました。 内 容：ボランティアの基本とルール、ボランティア活動先情報、相談窓口案内 など 発行部数：3,500部（年1回：6月） 配布先：学校、関係機関・団体、青少年活動施設、青少年ボランティア研修会 など	A-II 2-②
3 青少年活動・支援活動 研究報告・事例集の発行 横浜の子ども・若者の姿や課題についての取り組みを、連携する地域や学校・NPO などとともに考察し、効果や課題を明らかにしていくことで、地域で活動をしているNPOなどの活動のヒントや活性化に繋げることを目的とした、研究報告・研究集「YOKOHAMA EYES(ヨコハマアイズ)」を発行しました。 内 容： テーマ「子ども・若者の『育ちの場』の創造—子ども・若者の成長を願う取り組み—」 事例「地域のネットワークを活用した青少年育成活動」「青少年の居場所づくり」 「高校と連携した社会体験プログラム」「困難を抱える若者への就労支援」 発行部数：1,000部（年1回発行：3月） 配布先：青少年関係団体、青少年指導員、その他青少年関係者および市外の青少年関係団体・行政 ほか	A-II 2-②
4 情報発信・提供のあり方検討・改善（協会ホームページの充実とリニューアル） より多くの市民や青少年を支える地域の人々が、活動のヒントを得られるサイトを目指し、体験者の声を交えた事業報告の充実や、地域で活動ができる会場を区ごとに分かりやすくまとめた「体験活動マップ（ユースマップ）」の作成など、コンテンツの充実につとめました。また、並行してホームページのリニューアルに取り組みました。 今後は、青少年自身や市民をはじめ青少年育成活動者・団体などが効率よく情報にアクセスできることで「横浜の青少年の育ち」を支援していくことを目的に、地域における青少年育成活動の後方支援を含めたポータルサイトを目指す予定です。 内 容：既存HPのあり方を見直し・検討 コンテンツの整理と事業報告などを充実、情報の整理と収集 協会ホームページの全面リニューアルに向けた準備	A-II 2-②

事業名（本部事業）	事業体系区分
A-III 青少年活動を支援するための活動参加型の相談・コーディネート	
<p>1 調整・相談・コーディネート</p> <p>地域の青少年育成事業や居場所づくり事業などに市民活動やNPOの活動をコーディネートするとともに、区役所や自治会などとの調整を図り、青少年が自ら成長できる環境を整備しました。</p> <p>(1) 調整・相談・コーディネート</p> <p>① 主な地域連携活動の調整・相談 瀬谷区地域振興課、中区地域振興課、鶴見区地域振興課</p> <p>② 主な青少年の体験活動のコーディネート こども青少年局：「感動体験in野島」、水道局：水源林保全活動、教育委員会：「横浜の時間」の推進 ほか</p> <p>③ 主な研修会、報告会などの企画調整 「若者自立塾全国交流・報告会」「冒険遊び場全国フォーラム」「居場所づくりフォーラム」 ほか</p> <p>(2) 講師（職員）派遣 地域で青少年を育てる活動の推進や学校および企業などの社会貢献活動の充実を目指して、協会のノウハウや資源、ネットワークを活用し、必要な人材（講師）の派遣やコーディネートを実施し、豊かな地域社会の形成に取り組みました。 依頼件数：31件 派遣先：市内外の青少年指導員研修、企業、市内大学、市内高校 ほか 主な内容：ボランティア活動の基本・心構え、こどもログハウス新任スタッフ研修、コミュニケーション研修、青少年育成活動、青少年との関わり、ほか</p>	<p>A-III 1- ①～④</p>
<p>2 地域連携事業の推進・支援</p> <p>地域やNPO、ボランティアが連携し青少年を育む事業を実施できるよう、青少年活動のコーディネートを行いました。また、事業の評価・検証を行い、その成果を他の地域に広げるための広報（報告）活動を積極的に行いました。</p> <p>(1) 十日市場中学校地域交流事業 日時：通年（主に春休み、夏休み、冬休み）※実行委員会は年4回 会場：十日市場中学校区内のNPOや自治会などの活動会場（11箇所） 内容：地域の大人と中学生の顔の見える関係づくり（地域の大人と中学生のボランティア活動）支援、実行委員会サポート、地域団体やNPO、自治会の活動コーディネート</p> <p>(2) 鶴見区青少年パートナー研修会（講師） 日時：3月18日 会場：鶴見区 内容：地域で青少年育成に関わるスキル、考え方などの理解を深める研修 対象：鶴見区青少年パートナーおよび公共施設職員、中学校教諭</p>	<p>A-III 1-③</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分
<p>3 自然体験プログラムの開発・展開</p> <p>市内の自然環境や教育資源を活かした青少年の体験活動プログラムの開発や検証を行い、その活動資源を活かした体験モデルプログラムを教育機関や環境活動団体と連携して実施しました。また、市内の自然環境や教育資源などの活動資源の情報を協会ホームページを活用して広く市民に周知するためのコンテンツの作成に取り組みました。</p> <p>(1) よこはまの青少年の体験活動フェスタ（こども青少年局共催）</p> <p>日 時：3月6日</p> <p>会 場：横浜市野島青少年研修センターおよび野島公園周辺</p> <p>内 容：市内で活動する青少年育成関連および若者自立支援、環境保全、自然体験、子育てなどの活動をしているNPOや市民団体、企業などの活動発表会と活動体験</p> <p>参加人数：約2,000人（小中学生とその保護者）</p> <p>出展団体：26団体</p> <p>(2) 水源林保全活動体験（横浜市水道局と共同主催）</p> <p>日 時：8月7日</p> <p>会 場：山梨県道志村の横浜市水源林と水源の森</p> <p>内 容：水源林の間伐作業体験、水源の森での水源林基礎講座</p> <p>参加人数：42人（市内の高校生）</p> <p>(3) 「体験活動マップ（ユースマップ）」の作成</p> <p>横浜市が取り組む「地域資源を活かした青少年の体験活動の環境作り」を推進するために、市内で青少年や青少年育成団体・学校などが自然・社会体験活動を実施できる会場やその活動をサポートしてくれる団体の情報のコンテンツを作成し、リニューアルした協会ホームページで公開しました。</p> <p>内 容：誰もが簡単に検索(活用)出来るような検索エンジンを構築</p> <p>情報提供として今年度は、川・池を中心とした水辺の体験活動情報を掲載</p> <p>他の情報は、23年度中に随時公開予定</p>	<p>A-III</p> <p>1-①</p>
<p>4 体験活動団体ネットワーク支援</p> <p>自然体験プログラムの内容や展開方法・実施体制などをNPOや青少年育成団体、青少年施設や教育機関などを中心とした組織で調査・検討しました。また、青少年の体験活動の展開に活用できる資源のネットワークを構築し、各々の特色や機能などを活かし、青少年の体験機会を意図的に提供できる環境を整備しました。</p> <p>(1) 青少年の体験活動に関する懇話会</p> <p>日 時：5月26日、7月1日、11月29日、3月29日（年4回）</p> <p>会 場：市役所、育成センター</p> <p>参加団体：こども青少年局、教育委員会、環境創造局、南部教育事務所、金沢動物園、環境研究所、ボーイスカウト横浜市連合会、ガールスカウト横浜市連絡協議会、横浜海洋少年団、横浜市健民少年団、横浜市子ども会連絡協議会、自然体験活動推進団体、NPO、環境保全団体</p> <p>内 容：青少年に向けた自然体験プログラムの企画検討、団体の活動の情報交換、ほか</p>	<p>A-III</p> <p>2-①</p>

協会の事業

事業名（本部事業）	事業体系 区分
<p>(2) NPO や青少年育成団体などの連絡会の開催</p> <p>「よこはまの青少年の体験活動フェスタ」に出展する NPO、青少年育成団体、企業による連絡会を開催し、団体同士の関係づくりや相互の活動を理解するきっかけの場を提供しました。体験フェスタ後に他団体と連携して活動を広げる団体もありました。</p> <p>日 時：1月31日、2月16日（全2回）</p> <p>会 場：育成センター</p> <p>参加団体：26 団体（上記懇話会団体、関東三菱自動車販売㈱、NPO 法人ともに浜をつくる会など）</p> <p>内 容：団体の活動紹介、地域で活動する団体の活動（成果）報告会などの在り方の検討</p>	<p>A-III</p> <p>2-①</p>
<p>5 青少年ボランティアの育成 ※市立戸塚高等学校、こども科学館と連携</p> <p>横浜の高校生たちの体験活動や学びの機会と、協会が持つ施設とノウハウとを結び付け、高校生たちの社会体験活動を推進し、次代を担う人材の育成を行いました。今回は市立横浜サイエンスフロンティア高等学校との連携事業で培ったノウハウを広げ、市立戸塚高等学校と連携事業を行いました。</p> <p>日 時：①8月17日、23日、24日 ②8月24日</p> <p>会 場：こども科学館</p> <p>内 容：①市立高校学び塾の運営（中高生向けの科学学習会の実施）＜3回＞ ②生徒による地域・市民・青少年に向けたプラネタリウム解説</p> <p>参加人数：①延べ39人 ②104人</p>	<p>A-III</p> <p>1-③</p>
<p>6 ヨコハマ・ハイスクール・ミュージック・フェスティバル</p> <p>高校生自身の企画・運営による音楽活動の発表の場を全国の高校生に広く提供することで、高校生の社会参加活動を促進し、運営支援委員会事務局として高校生で構成する実行委員会を支援しました。</p> <p>また、実行委員会事務局を交流センター事務室内に設置し、日常的な事務局支援も行いました。</p> <p>日 時：8月10日（決戦大会）</p> <p>会 場：横浜アリーナ</p> <p>入場者数：4,800人</p> <p>実行委員会：358人（高校生）</p>	<p>A-III</p> <p>1-①</p>
<p>7 宿泊体験プログラムの開発と提供（研修センターほかと連携）</p> <p>(1) 野島クリスマスキャンプ</p> <p>横浜市立小中学校の個別支援学級に通う児童・生徒を対象に体験活動の場を提供するとともに、青年ボランティアに児童・生徒への理解を深めてもらうことを目的に、同実行委員会と協働で実施しました。</p> <p>日 時：12月11日～12日（1泊2日） ボランティア事前研修会 11月10日、13日 ふれあいの会 11月27日 参加者 206 人（ボランティア含む）</p> <p>会 場：研修センター</p> <p>参加人数：195人（ボランティアを含む）</p> <p>主 催：野島クリスマスキャンプ実行委員会</p>	<p>A-III</p> <p>1-③</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分
<p>(2) 親子クッキングキャンプ</p> <p>研修センターにおいて、「食」をテーマに据えた宿泊プログラムを親子を対象に実施しました。横浜マイスターのシェフを講師に、普段は触れることの出来ないプロの技や知識に触れながら、職業観の涵養にもつながるプログラムを行いました。</p> <p>日 時：2月26日～27日（1泊2日）</p> <p>会 場：横浜市野島青少年研修センター</p> <p>内 容：調理体験、食育講習会、ナイトハイク ほか</p> <p>参加人数：12組27人 ※青年ボランティア3人</p>	<p>A-III 1-③</p>
<p>8 科学普及のためのアウトリーチ</p> <p>(1) 科学実験体験の出前教室</p> <p>こども科学館の科学体験プログラムを「よこはまの青少年の体験活動フェスタ」において、実施し、青少年やその保護者に科学の楽しさを体験する機会を提供しました。</p> <p>日 時：3月6日</p> <p>会 場：研修センターおよび野島公園</p> <p>参加人数：約300人</p> <p>内 容：ミニプラネタリウム体験、液体窒素実験教室</p>	<p>A-III 1-①</p>
<p>9 他機関・団体とのネットワーク構築</p> <p>(1) 神奈川県教育委員会の地域ボランティアエアポート</p> <p>高校生のボランティア活動推進を目的に設置された、地域ボランティアエアポートのひとつとして高校生を対象としたボランティア活動コーディネートや活動体験事業に協力しました。</p> <p>体験事業内容：水資源保全ボランティア（事前研修会 7月14日、活動日 8月7日）</p> <p>(2) 神奈川大学ボランティア支援室の運営支援</p> <p>日 時：通年（電話、メール、来訪など）</p> <p>内 容：講座の企画指導、研修計画指導、など</p>	<p>A-III 1-③</p>
<p>10 自主財源の確保（企業協賛の獲得）</p> <p>企業のCSR活動と青少年育成活動・ボランティア活動などのコーディネートを通じ、企業協賛の獲得を図るとともに、地域へのアウトリーチ（営業活動）で把握したニーズに対する事案を提案し、地域と協働で青少年育成事業を展開しました。</p> <p>22年度はホームページに講師派遣欄を設け、今まで協会が行ってきたCSR活動支援の実績をアピール、提案する働きかけを新たに行いました。</p> <p>交渉団体数：70団体</p> <p>協賛獲得数：49件</p> <p>協賛金額：120万円 ※「第50回爆笑！濱っ子寄席」</p>	<p>A-III 1-④</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分
A-IV 青少年育成に活用できる活動資源（NPOや企業CSRなどの活動）の調査	
<p>1 活動団体の調査及び報告書の作成</p> <p>市内で青少年の体験活動に取り組む団体の情報をわかりやすく効率的に提供し、小学校の体験学習や地域の青少年活動に活用できる地域団体や人材の調査を行いました。調査結果は「体験活動マップ（ユースマップ）」としてまとめ、協会ホームページで情報提供しました。また、教育委員会とこども青少年局が作成した「横浜の時間」推進パンフレットの記事作成、編集などに協力しました。</p> <p>(1) 市内の活動団体および体験活動、活動会場の調査</p> <p>調査内容：市内の公園や市民の森などの野外フィールド、公共施設などの屋内フィールドで行われている青少年の自然・社会体験活動の調査。そして、そのフィールドの管理や活動を支援している地域の団体や人材の調査</p> <p>(2) 「横浜の時間」推進パンフレットの作成協力</p> <p>内 容：体験活動マップ検討部会の開催（9月、10月）</p> <p>地域団体、活動、会場の調査結果を活用して、「横浜の時間」推進パンフレット作成協力</p>	<p>A-IV</p> <p>1-②</p>
B 青少年活動を支える人材を育成する事業	
B-I 青少年活動を支える人材を育成するための講座・研修	
<p>1 居場所づくり支援</p> <p>交流センターに訪れる様々な年齢や背景の青少年たちと数多く接してきた経験を活用し、青少年の地域活動拠点を支援しました。併せて青少年の地域活動拠点を視野に入れた青少年の居場所のあり方を検討しました。</p> <p>(1) 居場所づくりフォーラムの開催支援 ※交流センターと連携</p> <p>(2) 地域活動拠点とのネットワーク形成（検証報告書の作成）※交流センターと連携</p> <p>(3) 地域活動拠点の運営支援 ※交流センターと連携</p> <p>① つづきMYプラザ（都筑区）青少年ボランティア体験活動支援</p> <p>日 時：7月10日～12日、8月21日</p> <p>内 容：活動拠点主催の中高生ボランティア体験活動のコーディネート オリエンテーション、ボランティア活動事前研修、活動ふりかえり</p> <p>② 生麦プロジェクト（鶴見区）活動支援</p> <p>日 時：通年</p> <p>内 容：活動充実のための相談・助言 など</p>	<p>B-I</p> <p>1-③</p>
<p>2 地域で青少年を支援する体制づくり</p> <p>子供の成長に関心を持ち、見守り、積極的に支援できる人材を育成するための講座・研修を企画し、施設連携により実施しました。</p> <p>(1) 小学生の居場所とスタッフ研修（育成センターと連携）</p> <p>日 時：4月25日～6月20日（全5回）</p> <p>会 場：育成センター</p> <p>内 容：講義「近年の多様化する小学生の課題」、居場所施設の見学、現場実習2回、</p>	<p>B-I</p> <p>1-①</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分
<p style="text-align: center;">実習報告会</p> <p>参加人数：36人</p> <p>(2) 中学生の居場所とスタッフ研修（育成センターと連携）</p> <p>日 時：8月28日～10月30日（全3回）</p> <p>会 場：育成センター</p> <p>内 容：講義「近年の多様化する若者の課題」、居場所施設の見学、ふりかえり</p> <p>参加人数：91人</p> <p>(3) 横浜市立大学エクステンション講座「子ども・若者の居場所づくりの今までとこれから」（育成センターおよび横浜市立大学エクステンションセンターと連携）</p> <p>日 時：9月3日～10月8日（全5回）</p> <p>会 場：育成センター</p> <p>内 容：講座「実践活動の歴史や実践者のライフヒストリー 他」</p> <p>参加人数：158人</p> <p>(4) 青少年リーダー研修（研修センターと連携、横浜市子ども会連絡協議会と協力）</p> <p>日 時：2月5日～6日（1泊2日）</p> <p>会 場：研修センター</p> <p>内 容：コミュニケーション研修、グループワーク、調理実習、活動情報交換会</p> <p>参加人数：48人</p> <p>(5) 「青少年の居場所づくり」フォーラム2011（交流センターと連携）</p> <p>日 時：2月19日、20日（2日間）</p> <p>会 場：交流センター</p> <p>内 容：公開シンポジウム、情報交換会、分科会（5分科会）</p> <p>参加人数：132人</p>	<p>B-I</p> <p>1-①</p>
<p>C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業</p> <p>C-I すべての青少年を育むための多様な体験事業</p>	
<p>1 若者自立支援</p> <p>横浜市およびNPOや青少年育成団体、青少年施設や野外活動施設などを中心とした組織で、困難を抱えた若者の自立に結びつく体験活動を検討・実施しました。</p> <p>(1) よこはま型若者自立塾の支援</p> <p>日 時：6月13日～16日、8月18日～21日、9月9日～15日、12月12日～15日（4回）</p> <p style="text-align: center;">※3月は震災の影響で中止。毎回、研修センターで1週間程度の合宿生活を体験</p> <p>会 場：研修センターおよび野島公園周辺</p> <p>内 容：研修センターの点検日作業の就労体験（就労対価あり）</p> <p style="text-align: center;">研修センター周辺でのボランティア活動（花壇整備 ほか）</p> <p style="text-align: center;">3月開催の体験フェスタにて模擬店を出店し就労体験活動を実施</p> <p>参 加：延べ107人</p> <p>(2) 全国若者自立塾活動報告会・交流会の開催</p> <p style="text-align: center;">※3月16日・17日開催予定でしたが、震災の影響により中止。</p>	<p>C-I</p> <p>2-①</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分
<p>2 市立横浜サイエンスフロンティア高等学校（YSFH）との連携事業 ※こども青少年局共催</p> <p>市立サイエンスフロンティア高等学校をはじめとする教育機関と連携事業を実施し、青少年に対する科学教育の推進を図りました。</p> <p>(1) 「宇宙」を学ぶ、体験する</p> <p>① YSFH社会貢献デー 日 時：7月21日 会 場：こども科学館 内 容：生徒による展示物の説明、プラネタリウムを活用した星空解説など 参加人数：165人</p> <p>② 天文教室（こども青少年局、YSFH、青少年育成協会、こども科学館） 日 時：1月8日～9日 会 場：こども科学館（1/8）及び市立横浜サイエンスフロンティア高等学校（1/9） 内 容：プラネタリウムと天体望遠鏡による天体観測 参加人数：1日目 250人、 2日目 74人</p> <p>(2) 横浜の自然を知る、感じる</p> <p>① 発見！横浜の自然「野島海岸の自然観察」 日 時：9月26日 会 場：研修センター及び野島海岸周辺 内 容：干潟や砂浜の生き物観察 参加人数：65人</p> <p>② 発見！横浜の自然「鶴見川河口の自然観察」 日 時：10月10日 会 場：鶴見川河口付近 内 容：汽水域の生き物観察 参加人数：29人</p> <p>③ 発見！横浜の自然「地層と化石探検」 日 時：12月23日 会 場：野島青少年研修センター及び野島海岸周辺 内 容：地層観察と化石探検 参加人数：66人</p> <p>(3) 自分だけのロボットを動かす、学ぶ</p> <p>① 「プログラミング・ロボット教室」 日 時：2月6日、13日 会 場：こども科学館 内 容：レゴロボの作製及び起動体験 参加人数：74人</p>	<p>C-I 1-①</p>
<p>3 ハートフルスペース連携事業</p> <p>不登校の児童・生徒を対象とした宿泊事業を市教育委員会と共催で実施し、教育総合相談センターのハートフルフレンドボランティアと協会の青年ボランティアが協働で、児童・生徒の集団宿泊体験への支援を行いました。</p> <p>日 時：12月2日～3日（1泊2日）</p> <p>参加人数：111人（日帰り参加者、青少年ボランティア、職員を含む）</p> <p>会 場：研修センター</p>	<p>C-I 2-①</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分																								
<p>4 青少年の文化体験事業「能楽体験」</p> <p>青少年に、様々な体験活動の機会を提供することを目的に、青少年交流センターの機能と近隣の社会教育施設である横浜能楽堂を活用して「能楽体験」を実施しました。講師に能楽師を招き、最終日は能楽鑑賞を取り込むなど、青少年に「本物の体験」を提供することをテーマに取り組みました。</p> <p>日 時：2月24日、3月3日、3月10日 会 場：交流センター、横浜能楽堂 内 容：邦楽器体験、能楽の歴史、能楽鑑賞会 参加人数：25人</p>	<p>C-I 2-①</p>																								
<p>D その他、この法人の目的を達成するために必要な事業</p>																									
<p>1 基金募集事業</p> <p>基金募集のため「第50回爆笑！濱っ子寄席」や基金箱の設置などを行い基金拡大を図りました。</p> <p>(1) 第50回爆笑！濱っ子寄席</p> <p>日 時：11月26日 会 場：関内ホール 出 演 者：古今亭八朝、林家正蔵、橘家円蔵、玉川カルテット、桂文楽、江戸家猫八、桂歌丸 入 場 者：990人 主 催：育成協会（社）横浜中法人会 共 催：（社）横浜青年会議所 横浜市こども青少年局</p> <p>(2) その他の基金募集事業</p> <p>① 基金箱の設置 58か所 67個設置 ② 基金のPRと協力のお願：協会会員をはじめ多方面に働きかけました。</p>	<p>D-I-①</p>																								
<p>2 賛助会員</p> <p>協会活動を支えていただいている会員の皆様に、協会への理解をより一層深めていただくため情報提供などを行いました。</p> <p>(1) 「協会だより」の発行</p> <p>内 容：事業や各委員会活動などの状況など、協会に関する情報提供 発 行 月：7月、11月、平成23年3月</p> <p>(2) 会員の状況</p> <table border="1" data-bbox="245 1733 1114 1935"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>総 数</th> <th>A会員</th> <th>B会員</th> <th>C会員</th> <th>D会員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>975 件</td> <td>628 人</td> <td>214 件</td> <td>65 人</td> <td>68 件</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>890 件</td> <td>567 人</td> <td>193 人</td> <td>60 人</td> <td>70 件</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>719 件</td> <td>452 人</td> <td>153 人</td> <td>50 人</td> <td>64 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>A会員：個人（年会費 3,000 円）／B会員：団体・法人（年会費 5,000 円） C会員：個人（年会費 1 口 5,000 円以上）／D会員：団体・法人（年会費 1 口 10,000 円以上）</p>	年度	総 数	A会員	B会員	C会員	D会員	20	975 件	628 人	214 件	65 人	68 件	21	890 件	567 人	193 人	60 人	70 件	22	719 件	452 人	153 人	50 人	64 件	<p>D-I-③</p>
年度	総 数	A会員	B会員	C会員	D会員																				
20	975 件	628 人	214 件	65 人	68 件																				
21	890 件	567 人	193 人	60 人	70 件																				
22	719 件	452 人	153 人	50 人	64 件																				

協会の事業

事業名（本部事業）	事業体系 区分
<p>(3) 賛助会員交流事業</p> <p>指定管理施設である「横浜こども科学館」が第2期指定管理の選定から漏れたことに伴い、賛助会員交流事業は中止しました。</p>	D-1-③
<p>3 公益法人移行を見据えた組織の強化</p> <p>(1) 本部機能の強化・職員育成</p> <p>今年度は、新公益法人移行の平成22年度認定をめざし、法人事業の整理並びに事務局組織の強化の最終調整を図りました。また、職員研究交流集会、人権研修に加え、外部研修にも積極的に参加するなど、職員のスキルアップに努めました。</p>	D-3-②

Ⅱ 指定管理事業

1 横浜市青少年育成センター

事業名（指定管理事業：横浜市青少年育成センター）	事業体系区分
A 青少年活動を育成する事業	
A-I 青少年活動を支援するための青少年施設の貸出	
1 研修室・スタジオなどの貸出 青少年指導者・育成者、及び青少年の活動の場として、研修室、音楽スタジオ、和室を貸し出しました。 (1) 研修室1 利用団体数：796件、利用人数：25,904人 (2) 研修室2 利用団体数：740件、利用人数：9,856人 (3) ミーティングルーム利用団体数：704件、利用人数：5,104人 (4) 和室利用団体数：631件、利用人数：6,901人 (5) スタジオ利用団体数：1,323件、利用人数：4,405人	A-I 1-①
2 青少年活動団体の事務局支援機能 青少年育成団体などの活動支援を目的に、印刷機・コピー機の貸出や軽作業の場を提供しました。 利用件数：584件	A-I 1-②
3 活動物品の貸出 着ぐるみの活動物品の貸出を行い、地域の青少年活動を支援しました。 貸出件数：106件	A-I 1-③
4 運営の検証と改善（利用者交流会） センター利用者、青少年育成活動者、協会職員などで構成する利用者交流会において、施設としての役割を十分果たせるよう、機能の促進、取り組みの検証を行い、効率的・効果的な運営のための見直しを行いました。 (1)利用者アンケートの実施 実施期間：10月1日～10月31日 (2)育成センター利用者交流会 開催日：10月31日、1月21日、1月29日、2月7日	A-I 1-③
A-II 青少年活動を支援するための相談・助言・コーディネート【相談業務】	
1 ボランティア情報スポット 青少年指導者・育成者、NPOなどを支援することで、地域での青少年活動の活性化を図っていくとともに、中間支援機関としての機能を発揮する取り組みを行っています。 青少年育成活動に関する情報収集・提供、相談、コーディネートや講座、研修会の開催、ネットワーク支援などを行いました。 (1) 情報収集・提供、相談、コーディネート ①情報収集・提供（「若者のためのボランティア」ガイドブックの発行） 発行部数：3,500部 ※協会4施設とキッズクラブの夏期ボランティアの募集冊子を関係機関で配布 ②相談業務、活動コーディネート	A-II 2-①③

協会の事業

<p>事業名（指定管理事業：横浜市青少年育成センター）</p>	<p>事業体系 区分</p>
<p>相談件数：15件 主な相談内容：ボランティア活動先の紹介、相談機関紹介（ひきこもり・ニート）など 主なコーディネート：事業企画相談（共催も含む）、講師紹介（講座参加者）、ほか</p>	<p>A-II 2-①③</p>
<p>A-III 青少年活動を支援するための活動参加型の相談・コーディネート</p>	
<p>1 ネットワーク支援 他の専門機関と共催で事業を実施することで関係の強化に努めました。</p>	<p>A-III 2-①</p>
<p>B 青少年活動を支える人材を育成する事業</p>	
<p>B-I 青少年活動を支える人材を育成するための講座・研修</p>	
<p>1 講座・研修</p> <p>(1) 小学生の居場所とスタッフ研修（講座・見学・実習・ふりかえり）【新規】</p> <p>日 時：ア 講 義：4月25日 参加人数：20人 イ 見 学：5月20日、22日 参加人数：6人 ウ 実 習：5月25日～6月13日 参加人数：1人 オ 報告会：6月20日 参加人数：9人</p> <p>内 容：「近年の多様化する小学生の課題」と題した講義と居場所の見学、現場実習、実習報告会、オプション講座で構成。見学先の青少年育成団体や、駒澤大学准教授・萩原建次郎氏と連携して実施。</p> <p>(2) 中学生の居場所のスタッフ研修（講座・見学・ふりかえり）【新規】</p> <p>日 時：ア 講 義：8月28日 参加人数：33人 イ 見 学：8月28日、9月12日、9月22日、9月29日、 10月2日、10月13日、10月15日、10月19日、 10月30日 参加人数：47人 ウ 報告会：10月30日 参加人数：11人</p> <p>内 容：「近年の多様化する若者の課題」と題した講義と居場所施設8ヶ所の見学、オプション講座で構成。見学先の青少年育成団体との連携、オプション講座では横浜市立大学エクステンション講座と連携して実施</p> <p>(3) 横浜市立大学エクステンション講座 「子ども・若者の居場所づくりの今までとこれから」（共催）【新規】</p> <p>日 時：9月3日～10月8日（全5回） 参加人数：延べ158人</p> <p>内 容：子どもたちの居場所づくりに携わり、現在まで運営し続けている子ども・若者の生活・学習援助者たちに活動の歴史と自身のライフヒストリーを語っていただく講座。企画監修・高橋寛人氏（横浜市立大学国際総合科学部 教授）</p> <p>(4) 青少年育成者講座（ステップアップ講座）</p> <p>①「子どもをのばす対話力向上講座」</p> <p>日 時：5月15日 参加人数：37人 内 容：講義とグループ実習によるコーチング講座。共育コーチング研究会と協働</p> <p>②「子どものいじめ予防で大人たちにできること」</p> <p>日 時：6月27日 参加人数：11人 内 容：小学生向けワークショップの実演とグループワークを織り交ぜた構成 ワークショップを中心に特定非営利活動法人CAPかながわと協働</p>	<p>B-I 1-①</p>

事業名（指定管理事業：横浜市青少年育成センター）	事業体系区分
<p>③「子どもの救急手当実習」 日 時：7月17日 参加人数：32人 内 容：家庭内で起こりうる事故に焦点をあて、講義と実技で小児の救急救命技術の習得を目的とした実習講座</p> <p>④「ひきこもりの理解と対応」（協力：横浜市青少年相談センター） 日 時：2月 5日 参加人数：40人 内 容：ひきこもりで悩んだり、孤立している子ども・若者に対して親や支援者がどう関わればよいのかについての講義</p> <p>⑤「中学生をのばす対話力向上講座」【新規】 日 時：9月25日 参加人数：18人 内 容：中学生、思春期の若者をのばす対話力の習得をめざすコーチング講座。共育コーチング研究会と協働。</p>	B-I 1-①
<p>2 青少年育成活動の支援</p> <p>(1) 団体活動支援講座</p> <p>開 催 日：ア「栄養の話とバター作り」 7月28日、8月2日 参加人数：78人 協働：明治乳業（株）、横浜市子ども会連絡協議会</p> <p>イ「催しのチラシづくりのコツ講座」 11月6日 参加人数：32人 協働：特定非営利活動法人男女共同参画フォーラムしずおか</p> <p>ウ「会議をまとめる術入門」 12月11日 参加人数：20人 講師：福嶋宏盛氏（有限会社システム・コンフォート）</p> <p>エ「提案発表のコツを学ぶ」 1月 22日 参加人数：16人 協働：国際青年環境NGO A SEED JAPAN</p> <p>オ「相手の力を引き出す実習」 3月 5日 参加人数：45人 協働：共育コーチング研究会</p> <p>(2)「青少年の体験活動に関する懇話会」（本部と連携） 日 時：5月26日、7月1日、11月29日、3月29日（年4回）</p> <p>(3) その他</p> <p>①協賛実績</p> <p>ア「第23回カウンセリング講習会」 主 催：横浜相談ボランティア研究会 日 時：前期11月11日、18日、25日、12月2日、9日（毎週木曜日）参加人数：30人 後期1月20日、27日、2月3日、10日、17日（毎週木曜日）参加人数：30人 内 容：カウンセリング・マインド理解の実習講習。</p> <p>イ「第54回横浜市学校保健大会第3分科会」 主 催：横浜市学校保健会 日 時：1月27日 参加人数：80人 内 容：学校保健の今日的課題について研究協議を行ない、学校保健の推進を図る。</p> <p>②後援実績</p> <p>ア「心を育てる講座 こども作法」</p>	B-I 1-①

協会の事業

事業名（指定管理事業：横浜市青少年育成センター）	事業体系 区分
<p>主 催：日本作法会 横浜関内教室</p> <p>日 時：7月10日～6月11日のうち12日間 参加人数：78人</p> <p>内 容：3～13歳の子どもとその保護者を対象に礼儀作法の基本を講習。</p> <p>イ「第27回新聞づくり講習会」</p> <p>主 催：横浜PTA新聞研究会</p> <p>日 時：5月25日、31日、6月4日 参加人数：159人</p> <p>内 容：目に付く広報紙づくりのポイントを指導。</p> <p>ウ「新聞作品コンクール・PTA新聞アドバイス講座」</p> <p>主 催：横浜PTA新聞研究会</p> <p>日 時：11月12日 参加人数：70人</p> <p>内 容：22年度に発行した広報紙のコンクール。アドバイス講座では新聞づくりの基本をワンランクアップさせる応用編を講義。</p>	<p>B- I</p> <p>1-①</p>

2 横浜市青少年交流センター

事業名（指定管理事業：横浜市青少年交流センター）	事業体系 区分										
A 青少年活動を育成する事業 A-I 青少年活動を支援するための青少年施設の貸出											
<p>1 場の提供</p> <p>(1) 自主的な活動の場（講座・研修会を含む）</p> <p>青少年の活動拠点としてできる限り制限を設けず会議室、スタジオなど、部屋の貸出しを行いました。また青少年の自主的な活動の支援、多様な経験ができる講座を行いました。</p> <p>協約目標：年間青少年利用者数 78,000人</p> <table border="1" data-bbox="308 584 1142 685"> <thead> <tr> <th>開館日数</th> <th>全体利用者数</th> <th>青少年利用</th> <th>青少年1日平均</th> <th>貸館稼働率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>327日</td> <td>157,270人</td> <td>94,284人</td> <td>288人</td> <td>61%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※演奏室、スタジオ、多目的室、レクホールにおいては75%の稼働率</p> <p>※平成23年3月12日～3月31日まで東日本大震災により臨時休館。</p>	開館日数	全体利用者数	青少年利用	青少年1日平均	貸館稼働率	327日	157,270人	94,284人	288人	61%	A-I 2-①② ③
開館日数	全体利用者数	青少年利用	青少年1日平均	貸館稼働率							
327日	157,270人	94,284人	288人	61%							
<p>2 運営の検証と改善</p> <p>センター利用者、青少年委員、ボランティアなどの意見やアンケートにより、効率的・効果的な運営の見直しを行いました。</p> <p>アンケートの実施（日時：通年、回答件数：208件）</p> <p>意見内容：スタジオ機器類の不具合などに対する意見が多く寄せられ、迅速な対応に努めました。</p>	A-I 2-③										
A-II 青少年活動を支援するための相談・助言・コーディネート【相談業務】											
<p>1 ロビーワークの充実</p> <p>ロビーワークの充実のため、施設スタッフのスキルアップ、及び青年ボランティアの導入によるスタッフ体制の充実を図り、居場所としての質的向上を図りました。</p> <p>(1) コーディネーター会議</p> <p>開催回数：11回（毎月1回）</p> <p>内 容：ロビーワークについて、フリースペース有効活用について 他</p> <p>(2) 施設スタッフ研修</p> <p>①AED講習会（日時：9月15日）</p> <p>②青少年の居場所づくりフォーラム（日時：2月19日、20日）</p>	A-II 1-①										
<p>2 青少年体験活動推進コーナーの運営</p> <p>就労体験、環境保全、自然科学体験活動に関わることで青少年が学び育つ機会を提供するため、青少年を対象に体験活動の相談・コーディネートの支援を行っています。</p> <p>22年度は、市立高等学校の社会貢献活動の義務化に対応し、多くの高校生にボランティア活動を始めるきっかけを提供しました。</p> <p>年間の相談対応件数：584件（コーディネートできた件数：73件）</p>	A-II 1-①										

事業名（指定管理事業：横浜市青少年交流センター）	事業体系区分
A-Ⅲ 青少年活動を支援するための活動参加型の相談・コーディネート	
<p>1 居場所づくりの推進</p> <p>交流センターの居場所づくりに関するノウハウを共有するために青少年の居場所づくりフォーラムや各区の居場所推進担当職員会議を実施するとともに、区の取り組みと連携し居場所づくりを推進しました。</p> <p>(1) 青少年の居場所づくりフォーラム開催 <日本青年都市会議と共同主催> 開催日時：2月19日、20日 参加人数：：132人 内 容：公開シンポジウム、情報交換会、交流会、分科会、他</p> <p>(2) 区の取り組みとの連携 「西区施設連携推進会議」、「磯子区の地区センタースタッフ研修」、「居場所スタッフ養成講座」、「市内の青少年の地域活動拠点の訪問」など、各区や各施設と連携し、青少年の居場所づくりの推進を行ないました。（計8区と連携）</p>	A-Ⅲ 2-①
<p>2 社会教育実習（大学生）</p> <p>大学生対象の社会教育実習を行いました。</p> <p>①駒澤大学 各自 14 日間 受入者数：12 人 ②湘南工科大学 各自 50 時間 受入者数：2 人 ③明治大学 各自 7 日間 受入者数：1 人</p>	A-Ⅲ 2-①
B 青少年を支える人材を育成する事業	
B-Ⅰ 青少年を支える人材を育成するための講座・研修	
<p>1 青少年委員会の運営</p> <p>青少年の声を施設運営に活かすとともに、中高生をはじめとした青少年自身の自主活動の中核を担ってもらうよう、交流センター開館以来、委員会を設置しています。</p> <p>広報紙の発行など自主企画の定着を図るとともに、子どもを対象とした自主イベントを毎月開催しました。また、センターを利用する青少年が企画する事業や、他のボランティアの活動支援などリーダーとして活躍しました。</p> <p>(1) 青少年委員会の構成：中学生から24歳までの青少年 20人 (2) 定例会：11回開催（毎月第3日曜日） 広報紙、イベント企画などの打合せ 他 (3) 広報紙の発行「君にふらっと☆」 年2 回発行（10月・1月、毎回200部） (4) 青少年委員企画事業</p> <p>①「ワイワイおやつタイム」 年9回開催 *3月は震災による臨時休館のため中止 参加人数：108人</p> <p>②「宿泊研修」 6月19日、20日 参加人数：14人</p> <p>③「ふりふら夏祭り」 7月31日 参加人数：87人</p> <p>④「納涼！きもだめし大会」 8月28日 参加人数：220人</p> <p>⑤「かどもっつい～」 12月23日 参加人数：165人</p> <p>⑥「センター感謝デー」 【新規】3月26日 *震災による臨時休館のため中止</p>	B-Ⅰ 1-③

協会の事業

事業名（指定管理事業：横浜市青少年交流センター）	事業体系 区分
<p>2 青少年ボランティアの育成</p> <p>青少年に子どもを対象としたボランティア活動などの場を提供しました。年齢や学校が異なる青少年や大人と関わり、新たな自分を発見する機会となりました。夏期青年ボランティア（中学生含む）への参加がきっかけとなり、次年度には青少年委員になった青少年もいました。</p> <p>(1) 夏期青年ボランティア（事前説明会、事前研修会、事後研修会含む）</p> <p style="padding-left: 20px;">日 時：8月1日～8月29日の期間中、各自5日～10日間活動</p> <p style="padding-left: 20px;">参加人数：：54人（高校生から勤労青年）</p> <p style="padding-left: 20px;">説 明 会：7月13日、17日、21日、事前研修会：7月24日、事後研修会：8月29日</p> <p>(2) ユースボランティア</p> <p style="padding-left: 20px;">活動期間：通年 ※交流センターで日常的に活動</p> <p style="padding-left: 20px;">参加人数：：3人（高校生から勤労青年）</p>	<p>B- I</p> <p>1-③</p>
<p>C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業</p> <p>C-I すべての青少年を育むための多様な体験事業</p>	
<p>1 青少年の持ち込み企画の実施</p> <p>青少年による持ち込み企画を実施しました。</p> <p>(1) カードゲーム大会 8月10日、1月8日 参加人数：：26人</p> <p>(2) 消しゴムスタンプ・俳句づくり【新規】9月4日～5日 参加人数：：8人</p>	<p>C- I</p> <p>1-②</p>
<p>2 夏休み事業の実施</p> <p>来館者の多い夏休み期間に青少年対象の事業を行いました。</p> <p>(1) ピザづくり 【新規】： 8月3日 参加人数：：15人</p> <p>(2) 木工教室 8月5日 参加人数：：9人</p> <p>(3) うどんづくり【新規】： 8月11日 参加人数：：13人</p> <p>(4) 絵を描こう 8月19日 参加人数：：9人</p> <p>(5) ドッジボール大会 8月24日 参加人数：：32人</p>	<p>C- I</p> <p>1-②</p>
<p>3 多様な個別支援の場 / 社会性を身に付ける場の提供</p> <p>ロビーワークを通じての相談対応や、「ふらっとカフェ」、ボランティア活動（青年ボランティアの育成を参照）を通じて青少年の興味に合わせた交流の機会、異年齢の青少年の交流機会を設けました。</p> <p>(1) 交流スペース利用人数：46,342人</p>	<p>C- I</p> <p>1-②</p>
<p>4 地域や保護者との連携と交流の場の提供</p> <p>施設の利用者同士や地域の大人と出会い、相互理解を深めるための交流事業、成果発表会、及び親子で参加できる体験事業などを行いました。</p> <p>(1) こどもの日まつり</p> <p style="padding-left: 20px;">日 時：5月5日</p> <p style="padding-left: 20px;">内 容：クラフト、お茶教室、アトラクション、模擬店、他</p> <p style="padding-left: 20px;">参加人数：：424人、ボランティア47人</p> <p>(2) 春の卓球大会 3月28日 *震災による臨時休館のため中止</p> <p>(3) ふらっとトキッズ<おもちゃのはこ></p>	<p>C- I</p> <p>1-②</p>

事業名（指定管理事業：横浜市青少年交流センター）	事業体系区分
<p>日 時：4月23日、6月25日、7月23日、8月20日、10月22日、11月26日、1月28日（8回）</p> <p>内 容：乳幼児親子の歌や音楽、手遊び、他 参加人数：：246人</p> <p>(4)ふりーふらっと音楽コンサート<おもちゃのはこ></p> <p>日 時：5月21日、9月17日、12月24日、2月25日（4回） 参加人数：：93人</p> <p>内 容：乳幼児親子の歌や音楽、手遊び、他</p> <p>(5)@楽祭（あつとがくさい）</p> <p>日 時：6月20日、11月28日（2回）</p> <p>内 容：センター利用者の成果発表会 18団体出演 参加人数：：289人</p> <p>(6)青少年ライブ</p> <p>日 時：8月22日、12月26日（2回）23バンド出演 参加人数：：275人</p> <p style="text-align: center;">*3月21日のライブは震災による臨時休館のため中止</p> <p>内 容：ライブ企画、バンド発表、ステージ演出、他</p> <p>(7)クラフト教室 毎月第2日曜(5,8月を除く) *3月は震災による臨時休館のため中止</p> <p>開催回数：9回 参加人数：：99人</p> <p>(8)理科あそび</p> <p>日 時：2回(7月25日、8月1日) 参加人数：：37人</p> <p>内 容：湘南工科大生による、振動や圧力をテーマにしたを簡単な実験</p> <p>(9)ふらっとカフェ「薄板しおりづくり」</p> <p>日 時：10月31日 参加人数：：16人</p> <p>内 容：経木を利用したしおりづくり</p> <p>(10)おもちゃの病院（西区地域連携事業）</p> <p>日 時：10月17日 参加人数：：9人</p> <p>内 容：西区域で活動するボランティア団体「かもめおもちゃの病院」と協働し、ボランティア活動の場を提供。</p>	C-I 1-②
<p>5 将来について考える場の提供</p> <p>事業参加やロビーワークを通して、青少年が自分自身を見つめ直し、社会へのつながりを感じられる支援を行いました。また大学生による進路相談会や、企業人による仕事の話など、将来の目標を見つけるきっかけを作る事業を行いました。</p> <p>(1)「キャリアカフェ～大学って何するところなの～」 <駒澤大学実習生></p> <p>日 時：5月23日 参加人数：：11人</p> <p>内 容：大学生が、大学生活や受験勉強について中高校生に語る。</p> <p>(2)「ふりふらジョブカフェ」</p> <p>日 時：4月17日、9月25日、12月18日 参加人数：：30人</p> <p>内 容：保育士編、図書館司書編（連携・横浜中央図書館）、福祉編（連携・野毛山荘）</p> <p>(3)中高生世代対象事業「能楽ワークショップ」</p> <p>日 時：2月24日、3月3日、3月10日 参加人数：：25人</p> <p>内 容：能楽の邦楽楽器演奏者を講師に迎え、能楽の講義、邦楽器の実演、横浜能楽堂での能鑑賞を組み合わせ、中高生に古典芸能の理解と多様な価値観を育む体験機会を提供</p>	C-I 1-②

3 横浜市野島青少年研修センター

事業名（指定管理事業：横浜市野島青少年研修センター）	事業体系区分
A 青少年活動を育成する事業 A-I 青少年活動を支援するための青少年施設の貸出	
1 集団宿泊体験の場の提供 施設の特長を生かし、集団宿泊体験を通じて「自ら直接体験する機会」を青少年に提供しました。 (1) 利用日数：241日（利用稼働率：78.5%） (2) 利用件数：562件 27,434人 (3) 宿泊利用日数：201日（宿泊利用稼働率：69.0%） (4) 宿泊件数：400件 20,065人 ※平成23年3月12日～3月31日まで東日本大震災により臨時休館。	A-I 3-①
2 日帰り利用団体の受入 施設の利用を促進し、より多くの青少年に「自ら直接体験する機会」を提供するため、日帰り利用団体を受け入れました (1) 利用団体数：162団体 (2) 利用人数：7,369人	A-I 3-①
3 備品貸出業務 施設の備品の貸し出しを通して、利用者の施設内における活動の充実を図りました。 今年度は機材の更新や使用説明などの適切なサービスを中心に実施したことが、利用者の満足度向上の一助となりました。	A-I 3-④
4 運営の検証と改善 研修センター利用者に対してアンケート調査を実施し、その結果をサービスの向上や設備の改善に反映しました。 (1) 施設利用アンケート 実施期間：4月から3月（通年） 回答数：225団体	A-I 3-④
A-II 青少年活動を支援するための相談・助言・コーディネート【相談業務】	
1 相談業務 施設を利用する団体がより充実した研修を行えるよう、利用団体への情報提供、活動プログラムの相談などを通して充実した宿泊体験を支援しました。 (1) 体験学習説明会 開催回数：全2回（木曜日） 参加校数：68校 (2) 学校体験学習事前打合せ会 開催回数：全21回（木曜日）	A-II 3-①②

事業名（指定管理事業：横浜市野島青少年研修センター）	事業体系区分
<p>参加校数：89校</p> <p>(3) 一般団体抽選会 開催回数：11回（毎月第2日曜日） 参加団体数：193団体</p> <p>(4) 一般団体事前打ち合わせ会 開催回数：32回（毎月第1～3土曜日） 参加団体数：389団体</p> <p>(5) インターネットによる情報提供（通年）</p>	<p>A-II 3-①②</p>
<p>B 青少年活動を支える人材を育成する事業</p>	
<p>B-I 青少年活動を支える人材を育成するための講座・研修</p>	
<p>1 スキルアップ講習会</p> <p>青少年活動におけるスキルの提供を通じて、青少年団体のリーダーがプログラムの企画進行ができるような講習会を実施しました。</p> <p>日 時：8月29日、10月29日～31日、2月12日、2月15日（4回開催）</p> <p>参加人数：360人</p>	<p>B-I 1-④</p>
<p>2 野島ボランティアスタッフの養成</p> <p>野島の周辺環境や施設を活かした定期的な研修活動を通じて、青少年育成・ボランティア活動について学ぶとともに、ボランティア同士・また利用者と関わりあいを持つことで青少年への関心高め、青少年活動が実践できるボランティアスタッフを育成しました。</p> <p>(1) 野島ボランティアスタッフ</p> <p>登録人数：18人</p> <p>活動内容：主催事業補助、夏期ボランティア活動、他</p>	<p>B-I 1-④</p>
<p>C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業</p>	
<p>C-I すべての青少年を育むための多様な体験事業</p>	
<p>1 野島ワークショップ</p> <p>利用団体を対象とした食・自然に関するプログラムを実施しました。</p> <p>(1) 横濱野島カリー 参加人数：3,061人（41団体）</p> <p>(2) のじぼっくり 参加人数：355人（11団体）</p> <p>(3) のじたまくん 参加人数：426人（9団体）</p> <p>(4) バードコール 参加人数：340人（10団体）</p> <p>(5) 厨房日帰りプログラム 参加人数：267人（5団体）</p>	<p>C-I 1-④</p>
<p>2 親子クッキングキャンプ</p> <p>食育事業として、横浜マイスターである西洋料理の清水郁夫さんを講師にむかえ、小学校4年生から中学校3年生の親子を対象とした1泊2日のキャンプを実施しました。</p> <p>日 時：2月26日～2月27日 1泊2日</p> <p>会 場：横浜市野島青少年研修センター、野島公園周辺</p> <p>参加人数：：親子参加者26人</p> <p>内 容：食材選び、買い物、食育トーク・ディナー作り、ほか</p>	<p>C-I 2-②</p>

協会の事業

事業名（指定管理事業：横浜市野島青少年研修センター）	事業体系区分
<p>3 オールクリーン野島ビーチ（共催）</p> <p>身近な自然を保全するため、野島を拠点に活動するボランティア・NPOと協働で横浜市内に唯一残る自然の砂浜「野島海岸」を清掃しました。</p> <p>開催回数：6月12日、9月11日、11月20日、2月19日（4回）</p> <p>会 場：野島海岸</p> <p>内 容：海岸清掃、海辺の生き物観察</p> <p>参加人数：523人</p> <p>主 催：オールクリーン野島ビーチ実行委員会</p>	C-I 1-④
<p>4 野島カヌー体験教室（共催）</p> <p>研修センター利用者に対し、野島の海浜を利用した自然体験プログラムとして、金沢スポーツクラブと共催でカヌー体験教室を実施しました。</p> <p>開催回数：毎週土曜日全17回</p> <p>参加人数：357人</p>	C-I 1-④
<p>5 カヌーキャンプ（共催）</p> <p>野島の海浜を利用した自然体験プログラムとして、金沢スポーツクラブと共催で宿泊体験を伴うカヌー教室を実施しました。</p> <p>日 時：8月17～18日（1泊2日）</p> <p>参加人数：60人</p>	C-I 1-④
<p>6 自立支援事業（共催）</p> <p>若者の自立支援に取り組む団体の宿泊を受け入れ、町内会・緑の協会（野島公園管理事務所）と協力してボランティア活動などのプログラムを提供し、若者の自立支援をサポートしました。</p> <p>日 時：6月13日～16日、8月18日～21日、9月9日～15日、12月12日～15日 （3泊4日 4回）</p> <p>参加人数：107人</p>	C-I 1-⑤
<p>7 放課後児童育成事業と連携したキャンプ（協働）</p> <p>放課後キッズクラブなどと協働で宿泊キャンプを行い、集団生活を通じて参加者同士のふれあいを深め、自立心・協調性を深めました。</p> <p>日 時：①6月2日（日帰り）、②3月4～5日（1泊2日）</p> <p>会 場：①②研修センター、野島公園、ほか</p> <p>内 容：①宿泊体験、キャンドルファイア、野外プログラム、ほか ②野島カリー作り、磯遊び、ほか</p> <p>参加人数：①36人 ②31人</p>	C-I 1-④
<p>8 野島クリスマスキャンプ（共催）</p> <p>横浜市立小中学校の個別支援学級に通う児童・生徒を対象に体験活動の場を提供するとともに、青年ボランティアに児童・生徒への理解を深めてもらうことを目的に、団体（実行委員会）と協働で実施しました。</p> <p>日 時：12月11日～12日（1泊2日）</p> <p>会 場：横浜市野島青少年研修センター</p> <p>参加人数：153人</p> <p>主 催：野島クリスマスキャンプ実行委員会</p>	C-I 1-⑤

協会の事業

事業名（指定管理事業：横浜市野島青少年研修センター）	事業体系区分
<p>9 バードウォッチングin野島（共催）</p> <p>金沢区野島海岸に訪れる「冬鳥の観察」を通じて、自然環境保護への興味と関心を高めました。また、この活動を通じて市民団体と地域の人々が交流し、地域活動に目を向けるきっかけを作りました。</p> <p>日 時：2月19日～20日（1泊2日）</p> <p>会 場：研修センター、野島公園、長浜公園</p> <p>内 容：冬鳥の観察会</p> <p>参加人数：52人</p> <p>主 催：バードウォッチングin野島実行委員会</p>	C-I 1-④
<p>10 第17回金沢水の日（共催）</p> <p>野島海岸を中心とした野島の自然環境をまもるとともに、青少年を対象にした地域交流や環境教育の機会を提供するため、金沢区内で活動している団体と協働で「金沢水の日」を実施しました。</p> <p>日 時：10月16日</p> <p>会 場：研修センターとその周辺</p> <p>内 容：水に関するワークショップ など</p> <p>参加人数：400人</p> <p>参加団体：13団体</p> <p>主 催：金沢水の日実行委員会</p>	C-I 1-④
<p>11 野島ふれあいランド</p> <p>施設と研修センターのノウハウを提供し、遊びを中心に地域の青少年の育成と異年齢間の交流を促進しました。</p> <p>開催回数：毎月1回（第4土曜日）（全11回）</p> <p>内 容：食品トレーで飛行機を作ろう、スイカ割り、シャボン玉遊び、ダーツ大会、ほか</p> <p>参加人数：延べ410人</p>	C-I 2-②
<p>12 プログラム研究・開発事業</p> <p>施設環境やプログラムの内容充実、職員のスキルアップ向上などを図り、利用者の満足度の向上に努めました。</p>	C-I 2-①

4 横浜こども科学館

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
B 青少年活動を支える人材を育成する事業 B-I 青少年活動を支える人材を育成するための講座・研修	
1 科学館事業に携わる人材育成 科学知識、技術を持った人材を発掘し、指導者養成研修などを通して科学体験活動推進スタッフ及びボランティアを養成しました。 また、学校と連携して今後科学館事業を担う青少年に活動の場を提供しました。 (1) 科学体験推進スタッフ養成研修＜特定非営利活動法人おもしろ科学たんけん工房と共催＞ 内 容：オリエンテーション、おもしろ科学体験塾の現場実習 他 実施時期：6月26日 参加人数：25人 (2) 科学館ボランティア（通年） ①ワゴンワークショップ 活動日数：3日間 延べ参加人数：3人 ②事業ボランティア 活動日数：63日間 延べ参加人数：130人 ③天文ボランティア 活動日数：11日間 延べ参加人数：110人 ④展示室ボランティア 活動日数：54日間 延べ参加人数：71人 (3) 学校との連携 ①学習関連教室（科学技術振興機構助成事業） 日 時：9月19日、10月17日、12月26日、1月23日（4日間） 参加人数：60人 ②職場体験学習受入（洋光台第二中学校） 日 時：10月14日 参加人数：4人 ③湘南工科大学社会貢献 日 時：6月18日、6月19日、7月17日（3日間） 参加人数：1人	B-I 1-⑤
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業 C-I すべての青少年を育むための多様な体験事業	
1 企画展事業 特別展示室にて年間を通して企画展を実施しました。常設展示とは異なるテーマや展示形態をとり、様々な角度から科学の不思議、面白さに触れる機会を提供しました。 (1) ピンホールカメラと◇キラリ◇光のあそび展 日 時：4月1日～6月14日（68日間） 参加人数：52,106人 協力団体：日本針穴写真協会 付帯イベント ①ピンホールカメラワークショップ 日 時：5月15日～5月16日（2日間） 参加人数：95人 協力団体：日本針穴写真協会	C-I 1-⑥

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>②写真づくり体験教室</p> <p>日 時：6月5日～6月6日（2日間）</p> <p>参加人数：90人</p> <p>協力団体：富士フィルム</p> <p>(2)夏休み特別展「科学迷路」</p> <p>日 時：7月17日～9月5日（51日間）</p> <p>参加人数：75,213人</p> <p><付帯イベント></p> <p>①ワークショップ「迷路パズル」</p> <p>日 時：8月2日～8月25日（15日間）</p> <p>参加人数：274人</p> <p>(3)ドクター・オフネのおもしろ研究所</p> <p>日 時：10月9日～1月10日（80日間）</p> <p>参加人数：52,814人</p> <p>協力団体：日本財団助成金事業</p> <p><付帯イベント></p> <p>①ワークショップ「すいすい水力船」</p> <p>日 時：11月6日～11月7日（2日間）</p> <p>参加人数：29人</p> <p>②ワークショップ「すいすいプロペラ船」</p> <p>日 時：11月13日～11月14日（2日間）</p> <p>参加人数：33人</p> <p>③ワークショップ「ロープワーク」</p> <p>日 時：11月21日，1月10日（2日間）</p> <p>参加人数：18人</p> <p>協力団体：横浜海洋少年団</p> <p>④デモンストレーション「手旗信号」</p> <p>日 時：11月21日，1月10日（2日間）</p> <p>参加人数：140人</p> <p>協力団体：横浜海洋少年団</p> <p>(4)魔法の板・カプラ</p> <p>日 時：2月11日～3月13日（30日間）</p> <p>参加人数：20,554人</p> <p>(5)特別企画「ノスタルジック★ポスター展」</p> <p>日 時：1月13日～2月10日（28日間）</p> <p>参加人数：2,344人</p>	<p>C-I</p> <p>1-⑥</p>
<p>2 イベント事業</p> <p>来館者が多いゴールデンウィークや夏休みなどに、幅広い年齢層に対応したワークショップ形式などの参加型イベントを実施しました。</p>	<p>C-I</p> <p>1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>(1) 夏だ！ギンギンサイエンス</p> <p>① バルーンパフォーマンス 日 時：8月1日（2回） 参加人数：350人</p> <p>② スーパーシャボン玉ショウ 日 時：8月8日（2回） 参加人数：650人</p> <p>③ フィナーレ 日 時：8月29日（2回） 参加人数：220人</p> <p>④ おもしろシャボンまく作り 日 時：8月3日～8月8日（6日間） 参加人数：307人</p> <p>⑤ ふしぎなステンドグラス作り 日 時：8月10日～8月15日（6日間） 参加人数：319人</p> <p>⑥ スーパーボール作り 日 時：8月17日～8月22日（6日間） 参加人数：318人</p> <p>⑦ 万華鏡を作ろう 日 時：8月3日～8月8日（6日間） 参加人数：813人</p> <p>⑧ スライムを作ろう 日 時：8月10日～8月15日（6日間） 参加人数：1,242人</p> <p>⑨ バードコールを作ろう 日 時：8月17日～8月22日（6日間） 参加人数：772人</p> <p>(2) サイエンスバザール 日 時：4月29日、5月1日、5月2日（3日間） 参加人数：206人 内 容：スチロールコップアート</p> <p>(3) クリスマスサイエンスショウ 日 時：12月19日、12月23日（2日間） 参加人数：100人</p> <p>(4) 七夕ディスプレイ 日 時：6月18日～7月8日（20日間）</p> <p>(5) クリスマスディスプレイ 日 時：11月8日～12月27日（43日間）</p> <p>(6) 青少年科学体験キャンプ（東日本大震災のため中止） 実施予定日：3月20日～3月21日（開催予定日数2日）</p>	<p>C-I 1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系 区分
<p>3 各種教室事業</p> <p>小学生を対象としたプログラミング技法を楽しく学ぶための教室及び短時間でできる簡単工作や科学遊びを通して科学体験できる場を提供しました。</p> <p>また、洋光台サイエンスクラブの会員を対象に地域連携事業を実施しました。</p> <p>(1) コンピュータ教室</p> <p>① 迷路パズル</p> <p>日 時：9月26日、1月9日（2日）</p> <p>参加人数：31人</p> <p>② レゴマインドストームでプログラミングに挑戦</p> <p>日 時：7月25日、11月21日（2日）</p> <p>参加人数：42人</p> <p>(2) 体験スタジオ</p> <p>① パラモーション</p> <p>日 時：7月29日、7月30日（2日）</p> <p>参加人数：122人</p> <p>② エコーメガホン</p> <p>日 時：11月20日、11月21日、11月23日（3日）</p> <p>参加人数：185人</p> <p>③ スポンジくまさん</p> <p>日 時：1月4日～1月6日（3日）</p> <p>参加人数：249人</p> <p>④ ガチャポン工作</p> <p>日 時：3月6日、3月13日（2日）</p> <p>参加人数：47人</p> <p>(3) 地域連携教室</p> <p>① 実験工作教室</p> <p>協力団体：特定非営利活動法人おもしろ科学たんけん工房</p> <p>ア ヘリコプターを作ろう</p> <p>日 時：4月24日</p> <p>参加人数：47人</p> <p>イ 噴水の科学</p> <p>日 時：5月22日</p> <p>参加人数：47人</p> <p>ウ 転がれ、進め、ジェットコースター</p> <p>日 時：6月19日</p> <p>参加人数：46人</p> <p>エ プロペラ型の風向計を作ろう</p> <p>日 時：7月17日</p> <p>参加人数：21人</p>	<p>C-I</p> <p>1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>オ 水をきれいにするおもしろ実験 日 時：9月18日 参加人数：17人</p>	<p>C-I 1-⑥</p>
<p>カ ブーメランを作ろう 日 時：10月16日 参加人数：17人</p>	
<p>キ ブザーを作ってモールス信号に挑戦 日 時：11月20日 参加人数：21人</p>	
<p>ク ホバークラフトを作ろう 日 時：12月18日 参加人数：23人</p>	
<p>ケ マクスウェルのコマを作ろう 日 時：1月29日 参加人数：19人</p>	
<p>コ 作ろう！ふしぎなテクテクザウルス 日 時：2月19日 参加人数：22人</p>	
<p>サ すもうロボットを作ろう（東日本大震災のため中止） 実施予定日：3月19日</p>	
<p>②電波教室</p>	
<p>ア AMラジオを作ろう 日 時：10月30日 参加人数：18人</p>	
<p>イ 電波チェッカーを作って電波を見つけよう 日 時：1月15日 参加人数：20人 協力団体：電波適正利用推進員協議会</p>	
<p>③環境自然教室</p>	
<p>ア 冷熱ってなんだろう 日 時：8月10日 参加人数：25人 協力団体：東京ガス横浜支店</p>	
<p>イ ソーラーオルゴールを作ろう 日 時：11月13日 参加人数：22人 協力団体：神奈川県環境学習リーダー会</p>	
<p>④オーディオ教室</p>	
<p>ア 紙コップスピーカーを作ろう 日 時：12月11日 参加人数：31人 協力団体：日本オーディオ協会</p>	

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>⑤施設見学</p> <p>ア 理化学研究所を見学しよう 日 時：7月3日 参加人数：27人</p> <p>イ 東急車輛の工場を見学しよう（東日本大震災のため中止） 実施予定日：3月24日</p> <p>⑥クラブ特別教室</p> <p>ア トンボ池 日 時：6月12日 参加人数：43人</p> <p>(4)博物館学芸員実習</p> <p>日 時：座学 7月1日、2日 作業実習 7月5日～7月11日 実習 8月1日～8月22日 以上27日間 参加人数：15人</p>	<p>C-I 1-⑥</p>
<p>5 天文教室及び宇宙劇場特別投影事業</p> <p>天体望遠鏡を自分で製作し、その仕組みや構造を理解する教室の実施や天体を見る観望会を実施し、天文や宇宙に親しむ機会を提供しました。</p> <p>(1)天文教室</p> <p>①天体望遠鏡工作 日 時：6月19日、7月14日、8月21日、10月10日（4日間） 参加人数：105人 協力団体 星空公団、県立柏陽高等学校</p> <p>②天体観望会 協力団体 星空公団</p> <p>ア 太陽観望会 日 時：6月19日、9月18日、10月10日、2月12日（4日間） 参加人数：126人</p> <p>イ 月と土星の観望会 日 時：5月22日 参加人数：29人</p> <p>ウ 月と金星の観望会 日 時：7月17日 参加人数：35人</p> <p>エ 月の観望会 日 時：9月18日、2月12日（2日間） 参加人数：54人</p>	<p>C-I 1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>(2) 宇宙劇場特別企画 協力団体：横浜市磯子区区民文化センター杉田劇場</p> <p>①七夕ファミリーコンサート 日 時：7月3日 参加人数：173人</p> <p>②クリスマスコンサート 日 時：12月23日 参加人数：221人</p>	<p>C-I 1-⑥</p>
<p>6 協働事業 企業や他団体との協働事業により、多くの青少年に科学体験の機会を提供しました。</p> <p>(1) 夏休み！TEPCO 環境・エネルギーパーク 日 時：7月27日～7月29日（3日間） 参加人数：1,116人 協働団体 東京電力</p> <p>(2) はまぎんキッズサイエンス 協働団体：横浜銀行, 横浜市こども青少年局</p> <p>①夏の星のものがたり～夏のミニ・プラネタリウムで夏の星座を楽しもう～ 日 時：7月28日～7月29日（2日間） 参加人数：70人</p> <p>②講演会「小惑星探査機『はやぶさ』世界初の往復の宇宙飛行」 日 時：2月26日 参加人数：258人</p> <p>(3) 洋光台誕生 40 周年記念パークサイドフェスティバル 日 時：8月28日～8月29日（2日間） 参加人数：449人 協働団体：洋光台地区自治町内会</p> <p>(4) おもしろ科学ひろば 協働団体：特定非営利法人おもしろ科学たんけん工房</p> <p>①ミニホバークラフト 日 時：4月29日 参加人数：72人</p> <p>②トコトコ人形 日 時：5月23日 参加人数：109人</p> <p>③ブーメラン 日 時：6月27日 参加人数：89人</p> <p>④マジックこま 日 時：7月24日～7月26日（3日間） 参加人数：449人</p>	<p>C-I 1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系 区分
<p>⑤プロペラカー 日 時：8月22日、8月23日（2日間） 参加人数：168人</p> <p>⑥にじ色の涙 日 時：9月19日、9月20日（2日間） 参加人数：434人</p> <p>⑦にじ色の万華鏡 日 時：10月24日 参加人数：59人</p> <p>⑧くるくるリング 日 時：11月28日 参加人数：89人</p> <p>⑨宇宙人はまちゃん 日 時：12月26日 参加人数：37人</p> <p>⑩ペットボトルトルネード 日 時：1月23日 参加人数：33人</p> <p>⑪プロペラカー 日 時：2月27日 参加人数：73人</p> <p>(5)コピー機になってみよう 日 時：10月31日、11月3日（2日間） 参加人数：163人 協働団体：株式会社リコー</p> <p>(6)天文ボランティア研修 日 時：9月18日 参加人数：9人 協働団体：星空公団</p> <p>(7)サイエンスフロンティアデー 日 時：7月21日 参加人数：109人 協働団体：市立横浜サイエンスフロンティア高等学校</p> <p>(8)「自分だけのロボットを動かす、学ぶ-プログラミング・ロボット教室-」 日 時：2月6日、2月13日（2日間） 参加人数：74人 協働団体：市立横浜サイエンスフロンティア高等学校</p> <p>(9)新春ニューイヤープラネタリウム 日 時：1月8日 参加人数：255人 協働団体：市立横浜サイエンスフロンティア高等学校</p>	<p>C-I 1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>(10)横浜市立高校学び塾 日 時：8月17日、8月23日、8月24日（3日間） 参加人数：39人 協働団体：市立戸塚高等学校</p> <p>(11)高校生が解説する「プラネタリウムで星空を知ろう」 日 時：8月24日 参加人数：104人 協働団体：市立戸塚高等学校</p> <p>(12)子ども科学探検隊 日 時：6月26日 参加人数：20人 協働団体：県立青少年センター</p> <p>(13)高校生科学体験講座 日 時：10月31日 参加人数：12人 協働団体：県立青少年センター</p> <p>(14)燃料電池自動車がやってくる！ 日 時：8月21日、8月22日、8月28日、8月29日（4日間） 参加人数：499人 協働団体：横浜市環境創造局</p> <p>(15)いそごこどもフェスタ「移動式プラネタリウム」 日 時：12月5日 参加人数：249人 協働団体：磯子区役所</p>	<p>C-I 1-⑥</p>
<p>C-III 自然科学体験を通して青少年を育むための青少年施設の運営</p>	
<p>1 展示室の管理運営</p> <p>常設展示物(200点余)の多くは10年から20年を過ぎているため、日々のきめ細かいメンテナンスや性能をより高めていくための研究を行い、性能の維持・向上に努めました。</p> <p>また、科学の楽しさ、面白さをライブで体験できるよう、5階キャプテンシアターで毎月演目を変えてサイエンスショーを、また2階スペースラボでは、いろいろなテーマのミニ実験ショーを実施しました。</p> <p>(1)来館者受入（東日本大震災のため3/14～3/31臨時休館） 日 時：通年（開館日数316日） 入館者数：254,371人</p> <p>(2)展示室運営</p> <p>①サイエンスショー（11演目） 日 時：通年（開催回数445回） 参加人数：20,779人</p> <p>②ミニ実験（6種） 日 時：通年（開催回数610回）</p>	<p>C-III 1-①</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>参加人数：9,984人</p> <p>③かんたん工作「わくワーク」</p> <p>日 時：通年（開催回数148回）</p> <p>参加人数：1,561人</p> <p>(3)展示物の改良・大規模修繕</p> <p>日 時：通年</p> <p>実施件数：5件</p>	<p>C-III</p> <p>1-①</p>
<p>2 図書室・ビデオライブラリー</p> <p>展示物での体験を通して芽生えた疑問を来館者が積極的に自ら調べられるように、幅広い分野の科学に関する書籍やビデオの収集・公開に努めました。</p> <p>日 時：通年（開館日数316日）</p>	<p>C-III</p> <p>1-②</p>
<p>3 宇宙劇場点検保守・番組投影</p> <p>幅広い客層のニーズに対応できるようプラネタリウム番組内容の充実を図り、入館者・入場者の増加に取り組みました。</p> <p>また、宇宙劇場の保守管理を行い、プラネタリウムの安定稼働に努めました。</p> <p>(1)一般番組投影</p> <p>日 時：通年（投影回数718回）</p> <p>入場者数：45,209人</p> <p>(2)ちびっこ番組投影</p> <p>日 時：通年（投影回数666回）</p> <p>入場者数：81,466人</p> <p>(3)学習番組投影</p> <p>日 時：随時（投影回数147回）</p> <p>入場者数：20,672人</p> <p>(4)放課後児童プラネタリウム</p> <p>日 時：通年（投影回数9回）</p> <p>入場者数：299人</p> <p>(5)新番組制作</p> <p>制作本数 3本</p>	<p>C-III</p> <p>1-③</p>
<p>4 広報出版事業（自然科学の普及・啓発のための広報）</p> <p>新たな客層を開拓するため携帯電話の割引クーポンを発行し、入館者増の対策を講じました。また、利用者満足度を調査し、施設運営の改善に活用しました。</p> <p>一方、開館以来26年目にして入館者数700万人を突破したため、イベントを開催しマスコミを通じて広報しました。</p> <p>加えて科学情報紙や科学館事業案内情報などの発行や他施設でのアウトリーチ活動を行うことにより、青少年の科学への興味を呼び起こすとともに科学館のPRを行いました。</p> <p>(1)誘致活動</p> <p>①「モバイルクーポン」キャンペーン実施</p>	<p>C-III</p> <p>1-④</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>日 時：6月1日～9月30日、11月10日～3月13日（日数：225日）</p> <p>(2) 運営の検証と改善</p> <p>① 利用者アンケート調査</p> <p>日 時：8月1日、8月8日、8月15日（実施回数：3回）</p> <p>協力者数 607人</p> <p>② 事業別アンケート調査</p> <p>日 時：通年（実施回数：36回）</p> <p>(3) 入館者700万人達成記念イベント</p> <p>日 時：7月25日</p> <p>参加人数：171人</p> <p>(4) 広報・情報サービス</p> <p>① みみよりサイエンス発行</p> <p>発行月：10月、12月、1月、3月（年4回発行）</p> <p>発行部数：40,000部</p> <p>② 事業案内「はまユース」発行</p> <p>発行月：5月、7月、8月、11月、1月、3月（年6回発行）</p> <p>発行部数：5,400部（ポスター）</p> <p>③ ホームページ運営 通年</p> <p>(5) アウトリーチ</p> <p>① いそごこどもフェスタ</p> <p>日 時：12月5日</p> <p>参加人数：249人</p> <p>活動会場 磯子区役所</p> <p>② 移動式プラネタリウム（県子どもサイエンスフェスティバル県央地区大会）</p> <p>日 時：12月18日</p> <p>会 場：大和市生涯学習センター</p> <p>参加人数：84人</p> <p>③ 旭区白根地区「青少年のつどい」（主催：旭区白根地区青少年指導員協議会）</p> <p>日 時：3月12日</p> <p>参加人数：35人</p> <p>会 場：白根町内会館</p>	<p>C-Ⅲ</p> <p>1-④</p>
<p>D その他、この法人の目的を達成するために必要な事業</p>	
<p>1 駐車場・売店</p> <p>科学館の売店・利用者用駐車場、及び喫茶室の管理運営を、利用者の利便・サービス向上ならびに自主財源確保を目的として行いました。</p>	<p>D-2</p>

Ⅲ キッズクラブ事業

C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

C-II 小学生を育むための放課後の安全な遊び場と集団活動の場を提供する事業 C-II-1-①

1 放課後キッズクラブの運営

(1) 開設状況

協会の運営する20か所の放課後キッズクラブでは、在籍児童の54.8% (20校の平均値) が登録しました。

この1年間で各放課後キッズクラブ月平均約1,347人、総計323,377人が利用し、各放課後キッズクラブで実施したプログラム数は、毎月1キッズ平均約24.5回、年間総計5,880回でした。

区名	学校名 (小学校)	在籍 人数	登録 人数	参加人数:	プログラム 実施数	特色ある主なプログラム内容
南区	太田	327	229	18,487	329	科学あそび/壁画大作戦/バドミントン/手芸/野球/手芸/木工/読書/花火/逃走中/読み聞かせ/おやつ作り/ドッジボールクラブ/サッカー/凧あげ/みかん狩り など
港南区	港南台第三	323	206	12,084	314	工作/手芸/サッカークラブ/キッズ探検隊/将棋・囲碁/ミニシアター/ドッジボール/折り紙検定/和太鼓クラブ/日本語マスター/凧づくり など
旭区	笹野台	615	387	18,120	543	ドッジボール/手芸/フレンドワン/ハンドベル教室/アイロンビーズ/お話し会/木工/ソフトテニス教室/ミサンガ作り/アロマ講座/フラワーアレンジ など
金沢区	能見台	604	347	20,361	398	おやつ/フラワーアレンジメント/ドッジボールクラブ/サッカー教室/テニス/スポーツチャンバラ/アロマ教室/アイロンビーズ/お話し会/折り紙教室/トーンチャイム/ビーズ教室 など
緑区	長津田	530	316	15,629	310	読書/バドミントン/ミサンガ教室/ドッジボール/エコ工作/卓球/手芸/カレーパーティー/折り紙教室/体育館遊び/楽器づくり/生け花教室 など
都筑区	折本	7297	329	14,781	262	将棋/ドッジボール/クッキング/お箸の達人/スケートに行こう/編み物教室/年賀状づくり/絵本の日/科学教室/野球教室/茶道に親しむ など
戸塚区	秋葉	631	318	18,695	250	地域探検/バドミントン/中学生と遊ぼう/絵画体験/イチゴ狩り/ドッジボール/スポーツチャンバラ/折り紙/切り紙/フラダンス/キッズに泊ろう/キャンプ/工作 など
瀬谷区	南瀬谷	914	391	21,291	253	手芸/サッカー/オセロ/壁画作り/お話し会/塗り絵の日/折り紙の日/いずみ川探検/まち探検/あやとり検定/ドミノ/藍染め/もちつき など
鶴見区	寺尾	701	336	19,248	290	ネイチャーゲーム/ハンドベル/茶道教室/リサイクル工作/ガーデニング/横浜FCと遊ぼう/キッズ屋台/お話し会/トスペース/ハロウィン/科学あそび/ANA機体整備工場見学 など
西区	宮谷	933	469	20,865	228	ドッジボール/生け花教室/水墨画教室/腕相撲大会/ハマノ愛生園にはがき届け/精霊馬を作ろう/ちぎり絵/スカッドボーイ講習会/浅間台ケアプラザにXマスカードを届けよう など
中区	本町	609	341	19,034	416	森の工作と森探検/ドッジボールクラブ/壁画/火起こし体験/クラフト/水彩画/クッキング/マイお茶碗づくり/フラワーアレンジメント/スーパーレスキュー体験/クワガタ研究会 など
磯子区	岡村	361	206	13,288	252	お料理クラブ/ドッジボール/クラフト/お掃除隊/バドミントン/科学教室/クワガタ研究会/読み聞かせ/横浜市衛生研究所に行こう/キッズ5周年/郷土の味 など
港北区	日吉南	666	352	14,469	228	ドッジボール/読み聞かせ/キッズバスケット/オセロ/キッズ工房/アクリル絵具教室/サッカー/将棋/親子工作/読書/バドミントン など
青葉区	すすき野	514	298	13,786	293	人形劇を見に行こう/ドッジボール/バドミントン/横浜FCと遊ぼう/ハンドベル音楽隊/防災センター見学/キッズ菜園/和太鼓クラブ/グランドゴルフ/キッズシアター など
栄区	桜井	396	220	12,356	208	サッカー教室/紙芝居/囲碁・将棋/キッズキッチン/バスケットボール教室/ミュージックベル/バドミントン/勾玉づくり/手話教室/紙すき/ぞうりづくり など

協会の事業

都筑区	荏田東第一	406	231	12,093	270	逃走中／ドッジボール／おやつづくり／マジックショー／プレイパークで遊ぼう／壁画アート／ミニ運動会／火を使った遊びと飯盒炊さん／おやじの会もちつき など
戸塚区	名瀬	602	333	14,695	266	バドミントン／写真館／ドッジボール／バスケットボール／科学実験ブース／キッズ劇場／空気鉄砲ロケット／オセロ大会／おやつ工房／茶道／ペーパークラフト など
神奈川区	浦島	444	225	14,050	237	かざぐるまを作ろう／3B体操／キッズキッチン／かめのコシネマ／お話し会／マスコットづくり／ドッジボール／プールあそび／浦島荘に行こう／クラフト／体育館あそび など
保土ヶ谷区	権太坂	645	327	17,721	318	百人一首／オセロ／キッズ農園クラブ／ゴン太シネマ／工作の日／アートの日／ドッジボール／手芸／親子陶芸教室／レゴの日／わくわくチャレンジ／一輪車検定／光陵高校へGO など
金沢区	瀬ヶ崎	492	258	12,324	215	囲碁／瀬ヶ崎探検隊／ドッジボール／シカケ屋／折り紙クラブ／ビーズのアトリエ／おいしい研究室／体感温度-3℃作戦／冬支度クラフト など

2 研修などの実施

放課後キッズクラブ20か所のスタッフを対象とした研修を企画し、スタッフのスキルアップを図りました。

事業名（放課後児童育成推進）	事業体系区分
1 放課後キッズクラブのスタッフを対象とした研修 (1) 放課後キッズクラブスタッフ研修 協会の運営する20か所のスタッフを対象とした12講座の研修を企画・運営し、延べ97人が参加しました。 ① スキルアップ講座（交流センター） 内 容：「身近にある材料や折紙を使ったクラフト」 ①4月27日 5匹の動物で～“伝承おりがみ”より(6人) ②5月11日 ビーズ、フェルトでストラップ(15人) ③6月8日 七夕飾り(9人) ④7月13日 花壇を作ろう～四季の花を作り植え替える(7人) ⑤8月11日 しおり、織紙(5人) ⑥9月8日 モビール(8人) ⑦10月13日 ガリガリプロペラほか(6人) ⑧11月9日 かごを編む(11人) ⑨12月14日 カード（クリスマス・正月用飾り、カードなど）(7人) ⑩1月12日 おひなさま(9人) ⑪2月8日 五月節句(8人) ⑫3月8日 リリアン編み(6人)	C-II 1-③

3 会議などの実施

協会の運営する20か所の放課後キッズクラブ毎に評議会や保護者会を開催するとともに、キッズクラブ主任指導員、及び指導員の会議を定期的に行い、情報交換などを行いました。

事業名（放課後児童育成推進）	事業体系区分
1 評議会 20か所の放課後キッズクラブ毎に評議会を開催し、委員の方から様々な意見を伺いました。 開催回数：各キッズクラブ年2回 ※本町小キッズは年1回	C-II 1-③

協会の事業

<p>2 保護者会</p> <p>20か所の放課後キッズクラブで総計46回の保護者会を開催し、保護者からの意見や要望を聞く機会を設けました。</p> <p>開催回数：各キッズクラブ年2～3回</p>	<p>C-II</p> <p>1-③</p>
<p>3 主任指導員会議</p> <p>20か所の主任指導員を対象に、精算業務や事務連絡などを含めながら放課後キッズクラブ間での情報交換を行いました。 開催回数：11回 ※合同会議：3回</p>	<p>C-II</p> <p>1-③</p>
<p>4 指導員会議</p> <p>20か所の指導員を対象に、事務連絡や報告などを含めながら協会内各放課後キッズクラブ間での情報交換を行いました。 開催回数：6回 ※合同会議：3回</p>	<p>C-II</p> <p>1-③</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) ボランティア受入れ</p> <p>20か所のキッズクラブでは、子どもに関わる青少年ボランティアの受入れを行ない、高校生・大学生を含めた幅広い世代の市民に活動の場を提供しました。</p> <p>キッズクラブ（20か所） 年間受入数：2,927人</p> <p>(2) 地域交流活動</p> <p>キッズクラブでは、日常的な活動の中で地域や近隣施設との連携によるプログラムを実施しているだけでなく、地域での清掃活動や交流活動として地域に出向き、子どもと地域とのコミュニケーションや理解を深める活動にも取り組んでいます。</p> <p>22年度の主な訪問事例：特別養護老人ホームハマノ愛生園</p> <p style="padding-left: 40px;">浅間台地域ケアプラザ</p> <p style="padding-left: 40px;">老人福祉センター浦島荘</p> <p style="padding-left: 40px;">県立光陵高等学校など学校</p> <p style="padding-left: 40px;">横浜市衛生研究所</p> <p style="padding-left: 40px;">ANA、JAL機体整備工場 など</p>	<p>C-II</p> <p>1-③</p>

平成22年度
財団法人 横浜市青少年育成協会

事業報告 資料集



よこはまユース

公益財団法人 よこはまユース

I 本部事業	
事業名（本部事業）	事業体系区分
A 青少年を育成する事業 A-II 青少年活動を支援するための相談・助言・コーディネート【相談業務】 協会事業・青少年育成活動情報の発信・提供	
1 協会広報紙「はまユース情報」の発行（各施設連携） 協会の主催・共催事業や協会運営施設の事業、ボランティア活動の情報を広く市民に周知し、青少年事業への協力者・参加者の増加を図りました。併せて、協会運営の情報を公開し、公益性や透明性を高めることに努めました。 発行部数：79,000部（年6回：5月、7月、8月、11月、1月、3月） 配布先：協会会員、関係機関・団体、学校、市内郵便局、公共施設、駅PRボックス、ほか	A-II 2-②
2 青少年のためのボランティアガイドブックの発行 ボランティア情報だけでなく、協会運営施設についても紹介するなど、ボランティアに関心のある青少年にとって協会を身近に感じられるような工夫をしました。 内 容：ボランティアの基本とルール、ボランティア活動先情報、相談窓口案内 など 発行部数：3,500部（年1回：6月） 配布先：学校、関係機関・団体、青少年活動施設、青少年ボランティア研修会 など	A-II 2-②
3 青少年活動・支援活動 研究報告・事例集の発行 横浜の子ども・若者の姿や課題についての取り組みを、連携する地域や学校・NPO などとともに考察し、効果や課題を明らかにしていくことで、地域で活動をしているNPOなどの活動のヒントや活性化に繋げることを目的とした、研究報告・研究集「YOKOHAMA EYES(ヨコハマアイズ)」を発行しました。 内 容： テーマ「子ども・若者の『育ちの場』の創造—子ども・若者の成長を願う取り組み—」 事例「地域のネットワークを活用した青少年育成活動」「青少年の居場所づくり」 「高校と連携した社会体験プログラム」「困難を抱える若者への就労支援」 発行部数：1,000部（年1回発行：3月） 配布先：青少年関係団体、青少年指導員、その他青少年関係者および市外の青少年関係団体・行政 ほか	A-II 2-②
4 情報発信・提供のあり方検討・改善（協会ホームページの充実とリニューアル） より多くの市民や青少年を支える地域の人々が、活動のヒントを得られるサイトを目指し、体験者の声を交えた事業報告の充実や、地域で活動ができる会場を区ごとに分かりやすくまとめた「体験活動マップ（ユースマップ）」の作成など、コンテンツの充実につとめました。また、並行してホームページのリニューアルに取り組みました。 今後は、青少年自身や市民をはじめ青少年育成活動者・団体などが効率よく情報にアクセスできることで「横浜の青少年の育ち」を支援していくことを目的に、地域における青少年育成活動の後方支援を含めたポータルサイトを目指す予定です。 内 容：既存HPのあり方を見直し・検討 コンテンツの整理と事業報告などを充実、情報の整理と収集 協会ホームページの全面リニューアルに向けた準備	A-II 2-②

事業名（本部事業）	事業体系区分
A-III 青少年活動を支援するための活動参加型の相談・コーディネート	
<p>1 調整・相談・コーディネート</p> <p>地域の青少年育成事業や居場所づくり事業などに市民活動やNPOの活動をコーディネートするとともに、区役所や自治会などとの調整を図り、青少年が自ら成長できる環境を整備しました。</p> <p>(1)調整・相談・コーディネート</p> <p>①主な地域連携活動の調整・相談 瀬谷区地域振興課、中区地域振興課、鶴見区地域振興課</p> <p>②主な青少年の体験活動のコーディネート こども青少年局：「感動体験in野島」、水道局：水源林保全活動、教育委員会：「横浜の時間」の推進 ほか</p> <p>③主な研修会、報告会などの企画調整 「若者自立塾全国交流・報告会」「冒険遊び場全国フォーラム」「居場所づくりフォーラム」 ほか</p> <p>(2)講師（職員）派遣 地域で青少年を育てる活動の推進や学校および企業などの社会貢献活動の充実を目指して、協会のノウハウや資源、ネットワークを活用し、必要な人材（講師）の派遣やコーディネートを実施し、豊かな地域社会の形成に取り組みました。 依頼件数：31件 派遣先：市内外の青少年指導員研修、企業、市内大学、市内高校 ほか 主な内容：ボランティア活動の基本・心構え、こどもログハウス新任スタッフ研修、コミュニケーション研修、青少年育成活動、青少年との関わり、ほか</p>	<p>A-III 1- ①～④</p>
<p>2 地域連携事業の推進・支援</p> <p>地域やNPO、ボランティアが連携し青少年を育む事業を実施できるよう、青少年活動のコーディネートを行いました。また、事業の評価・検証を行い、その成果を他の地域に広げるための広報（報告）活動を積極的に行いました。</p> <p>(1)十日市場中学校地域交流事業 日時：通年（主に春休み、夏休み、冬休み）※実行委員会は年4回 会場：十日市場中学校区内のNPOや自治会などの活動会場（11箇所） 内容：地域の大人と中学生の顔の見える関係づくり（地域の大人と中学生のボランティア活動）支援、実行委員会サポート、地域団体やNPO、自治会の活動コーディネート</p> <p>(2)鶴見区青少年パートナー研修会（講師） 日時：3月18日 会場：鶴見区 内容：地域で青少年育成に関わるスキル、考え方などの理解を深める研修 対象：鶴見区青少年パートナーおよび公共施設職員、中学校教諭</p>	<p>A-III 1-③</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分
<p>3 自然体験プログラムの開発・展開</p> <p>市内の自然環境や教育資源を活かした青少年の体験活動プログラムの開発や検証を行い、その活動資源を活かした体験モデルプログラムを教育機関や環境活動団体と連携して実施しました。また、市内の自然環境や教育資源などの活動資源の情報を協会ホームページを活用して広く市民に周知するためのコンテンツの作成に取り組みました。</p> <p>(1) よこはまの青少年の体験活動フェスタ（こども青少年局共催）</p> <p>日 時：3月6日</p> <p>会 場：横浜市野島青少年研修センターおよび野島公園周辺</p> <p>内 容：市内で活動する青少年育成関連および若者自立支援、環境保全、自然体験、子育てなどの活動をしているNPOや市民団体、企業などの活動発表会と活動体験</p> <p>参加人数：約2,000人（小中学生とその保護者）</p> <p>出展団体：26団体</p> <p>(2) 水源林保全活動体験（横浜市水道局と共同主催）</p> <p>日 時：8月7日</p> <p>会 場：山梨県道志村の横浜市水源林と水源の森</p> <p>内 容：水源林の間伐作業体験、水源の森での水源林基礎講座</p> <p>参加人数：42人（市内の高校生）</p> <p>(3) 「体験活動マップ（ユースマップ）」の作成</p> <p>横浜市が取り組む「地域資源を活かした青少年の体験活動の環境作り」を推進するために、市内で青少年や青少年育成団体・学校などが自然・社会体験活動を実施できる会場やその活動をサポートしてくれる団体の情報のコンテンツを作成し、リニューアルした協会ホームページで公開しました。</p> <p>内 容：誰もが簡単に検索(活用)出来るような検索エンジンを構築</p> <p>情報提供として今年度は、川・池を中心とした水辺の体験活動情報を掲載</p> <p>他の情報は、23年度中に随時公開予定</p>	<p>A-III</p> <p>1-①</p>
<p>4 体験活動団体ネットワーク支援</p> <p>自然体験プログラムの内容や展開方法・実施体制などをNPOや青少年育成団体、青少年施設や教育機関などを中心とした組織で調査・検討しました。また、青少年の体験活動の展開に活用できる資源のネットワークを構築し、各々の特色や機能などを活かし、青少年の体験機会を意図的に提供できる環境を整備しました。</p> <p>(1) 青少年の体験活動に関する懇話会</p> <p>日 時：5月26日、7月1日、11月29日、3月29日（年4回）</p> <p>会 場：市役所、育成センター</p> <p>参加団体：こども青少年局、教育委員会、環境創造局、南部教育事務所、金沢動物園、環境研究所、ボーイスカウト横浜市連合会、ガールスカウト横浜市連絡協議会、横浜海洋少年団、横浜市健民少年団、横浜市子ども会連絡協議会、自然体験活動推進団体、NPO、環境保全団体</p> <p>内 容：青少年に向けた自然体験プログラムの企画検討、団体の活動の情報交換、ほか</p>	<p>A-III</p> <p>2-①</p>

協会の事業

事業名（本部事業）	事業体系 区分
<p>(2) NPO や青少年育成団体などの連絡会の開催</p> <p>「よこはまの青少年の体験活動フェスタ」に出展する NPO、青少年育成団体、企業による連絡会を開催し、団体同士の関係づくりや相互の活動を理解するきっかけの場を提供しました。体験フェスタ後に他団体と連携して活動を広げる団体もありました。</p> <p>日 時：1月31日、2月16日（全2回）</p> <p>会 場：育成センター</p> <p>参加団体：26 団体（上記懇話会団体、関東三菱自動車販売㈱、NPO 法人ともに浜をつくる会など）</p> <p>内 容：団体の活動紹介、地域で活動する団体の活動（成果）報告会などの在り方の検討</p>	A-III 2-①
<p>5 青少年ボランティアの育成 ※市立戸塚高等学校、こども科学館と連携</p> <p>横浜の高校生たちの体験活動や学びの機会と、協会が持つ施設とノウハウとを結び付け、高校生たちの社会体験活動を推進し、次代を担う人材の育成を行いました。今回は市立横浜サイエンスフロンティア高等学校との連携事業で培ったノウハウを広げ、市立戸塚高等学校と連携事業を行いました。</p> <p>日 時：①8月17日、23日、24日 ②8月24日</p> <p>会 場：こども科学館</p> <p>内 容：①市立高校学び塾の運営（中高生向けの科学学習会の実施）＜3回＞ ②生徒による地域・市民・青少年に向けたプラネタリウム解説</p> <p>参加人数：①延べ39人 ②104人</p>	A-III 1-③
<p>6 ヨコハマ・ハイスクール・ミュージック・フェスティバル</p> <p>高校生自身の企画・運営による音楽活動の発表の場を全国の高校生に広く提供することで、高校生の社会参加活動を促進し、運営支援委員会事務局として高校生で構成する実行委員会を支援しました。</p> <p>また、実行委員会事務局を交流センター事務室内に設置し、日常的な事務局支援も行いました。</p> <p>日 時：8月10日（決戦大会）</p> <p>会 場：横浜アリーナ</p> <p>入場者数：4,800人</p> <p>実行委員会：358人（高校生）</p>	A-III 1-①
<p>7 宿泊体験プログラムの開発と提供（研修センターほかと連携）</p> <p>(1) 野島クリスマスキャンプ</p> <p>横浜市立小中学校の個別支援学級に通う児童・生徒を対象に体験活動の場を提供するとともに、青年ボランティアに児童・生徒への理解を深めてもらうことを目的に、同実行委員会と協働で実施しました。</p> <p>日 時：12月11日～12日（1泊2日） ボランティア事前研修会 11月10日、13日 ふれあいの会 11月27日 参加者 206 人（ボランティア含む）</p> <p>会 場：研修センター</p> <p>参加人数：195人（ボランティアを含む）</p> <p>主 催：野島クリスマスキャンプ実行委員会</p>	A-III 1-③

事業名（本部事業）	事業体系区分
<p>(2) 親子クッキングキャンプ</p> <p>研修センターにおいて、「食」をテーマに据えた宿泊プログラムを親子を対象に実施しました。横浜マイスターのシェフを講師に、普段は触れることの出来ないプロの技や知識に触れながら、職業観の涵養にもつながるプログラムを行いました。</p> <p>日 時：2月26日～27日（1泊2日）</p> <p>会 場：横浜市野島青少年研修センター</p> <p>内 容：調理体験、食育講習会、ナイトハイク ほか</p> <p>参加人数：12組27人 ※青年ボランティア3人</p>	<p>A-III 1-③</p>
<p>8 科学普及のためのアウトリーチ</p> <p>(1) 科学実験体験の出前教室</p> <p>こども科学館の科学体験プログラムを「よこはまの青少年の体験活動フェスタ」において、実施し、青少年やその保護者に科学の楽しさを体験する機会を提供しました。</p> <p>日 時：3月6日</p> <p>会 場：研修センターおよび野島公園</p> <p>参加人数：約300人</p> <p>内 容：ミニプラネタリウム体験、液体窒素実験教室</p>	<p>A-III 1-①</p>
<p>9 他機関・団体とのネットワーク構築</p> <p>(1) 神奈川県教育委員会の地域ボランティアエアポート</p> <p>高校生のボランティア活動推進を目的に設置された、地域ボランティアエアポートのひとつとして高校生を対象としたボランティア活動コーディネートや活動体験事業に協力しました。</p> <p>体験事業内容：水資源保全ボランティア（事前研修会 7月14日、活動日 8月7日）</p> <p>(2) 神奈川大学ボランティア支援室の運営支援</p> <p>日 時：通年（電話、メール、来訪など）</p> <p>内 容：講座の企画指導、研修計画指導、など</p>	<p>A-III 1-③</p>
<p>10 自主財源の確保（企業協賛の獲得）</p> <p>企業のCSR活動と青少年育成活動・ボランティア活動などのコーディネートを通じ、企業協賛の獲得を図るとともに、地域へのアウトリーチ（営業活動）で把握したニーズに対する事案を提案し、地域と協働で青少年育成事業を展開しました。</p> <p>22年度はホームページに講師派遣欄を設け、今まで協会が行ってきたCSR活動支援の実績をアピール、提案する働きかけを新たに行いました。</p> <p>交渉団体数：70団体</p> <p>協賛獲得数：49件</p> <p>協賛金額：120万円 ※「第50回爆笑！濱っ子寄席」</p>	<p>A-III 1-④</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分
A-IV 青少年育成に活用できる活動資源（NPOや企業CSRなどの活動）の調査	
<p>1 活動団体の調査及び報告書の作成</p> <p>市内で青少年の体験活動に取り組む団体の情報をわかりやすく効率的に提供し、小学校の体験学習や地域の青少年活動に活用できる地域団体や人材の調査を行いました。調査結果は「体験活動マップ（ユースマップ）」としてまとめ、協会ホームページで情報提供しました。また、教育委員会とこども青少年局が作成した「横浜の時間」推進パンフレットの記事作成、編集などに協力しました。</p> <p>(1) 市内の活動団体および体験活動、活動会場の調査</p> <p>調査内容：市内の公園や市民の森などの野外フィールド、公共施設などの屋内フィールドで行われている青少年の自然・社会体験活動の調査。そして、そのフィールドの管理や活動を支援している地域の団体や人材の調査</p> <p>(2) 「横浜の時間」推進パンフレットの作成協力</p> <p>内 容：体験活動マップ検討部会の開催（9月、10月）</p> <p>地域団体、活動、会場の調査結果を活用して、「横浜の時間」推進パンフレット作成協力</p>	<p>A-IV</p> <p>1-②</p>
B 青少年活動を支える人材を育成する事業	
B-I 青少年活動を支える人材を育成するための講座・研修	
<p>1 居場所づくり支援</p> <p>交流センターに訪れる様々な年齢や背景の青少年たちと数多く接してきた経験を活用し、青少年の地域活動拠点を支援しました。併せて青少年の地域活動拠点を視野に入れた青少年の居場所のあり方を検討しました。</p> <p>(1) 居場所づくりフォーラムの開催支援 ※交流センターと連携</p> <p>(2) 地域活動拠点とのネットワーク形成（検証報告書の作成）※交流センターと連携</p> <p>(3) 地域活動拠点の運営支援 ※交流センターと連携</p> <p>① つづきMYプラザ（都筑区）青少年ボランティア体験活動支援</p> <p>日 時：7月10日～12日、8月21日</p> <p>内 容：活動拠点主催の中高生ボランティア体験活動のコーディネート オリエンテーション、ボランティア活動事前研修、活動ふりかえり</p> <p>② 生麦プロジェクト（鶴見区）活動支援</p> <p>日 時：通年</p> <p>内 容：活動充実のための相談・助言 など</p>	<p>B-I</p> <p>1-③</p>
<p>2 地域で青少年を支援する体制づくり</p> <p>子供の成長に関心を持ち、見守り、積極的に支援できる人材を育成するための講座・研修を企画し、施設連携により実施しました。</p> <p>(1) 小学生の居場所とスタッフ研修（育成センターと連携）</p> <p>日 時：4月25日～6月20日（全5回）</p> <p>会 場：育成センター</p> <p>内 容：講義「近年の多様化する小学生の課題」、居場所施設の見学、現場実習2回、</p>	<p>B-I</p> <p>1-①</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分
<p>実習報告会</p> <p>参加人数：36人</p> <p>(2) 中学生の居場所とスタッフ研修（育成センターと連携）</p> <p>日 時：8月28日～10月30日（全3回）</p> <p>会 場：育成センター</p> <p>内 容：講義「近年の多様化する若者の課題」、居場所施設の見学、ふりかえり</p> <p>参加人数：91人</p> <p>(3) 横浜市立大学エクステンション講座「子ども・若者の居場所づくりの今までとこれから」（育成センターおよび横浜市立大学エクステンションセンターと連携）</p> <p>日 時：9月3日～10月8日（全5回）</p> <p>会 場：育成センター</p> <p>内 容：講座「実践活動の歴史や実践者のライフヒストリー 他」</p> <p>参加人数：158人</p> <p>(4) 青少年リーダー研修（研修センターと連携、横浜市子ども会連絡協議会と協力）</p> <p>日 時：2月5日～6日（1泊2日）</p> <p>会 場：研修センター</p> <p>内 容：コミュニケーション研修、グループワーク、調理実習、活動情報交換会</p> <p>参加人数：48人</p> <p>(5) 「青少年の居場所づくり」フォーラム2011（交流センターと連携）</p> <p>日 時：2月19日、20日（2日間）</p> <p>会 場：交流センター</p> <p>内 容：公開シンポジウム、情報交換会、分科会（5分科会）</p> <p>参加人数：132人</p>	<p>B-I</p> <p>1-①</p>
<p>C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業</p> <p>C-I すべての青少年を育むための多様な体験事業</p>	
<p>1 若者自立支援</p> <p>横浜市およびNPOや青少年育成団体、青少年施設や野外活動施設などを中心とした組織で、困難を抱えた若者の自立に結びつく体験活動を検討・実施しました。</p> <p>(1) よこはま型若者自立塾の支援</p> <p>日 時：6月13日～16日、8月18日～21日、9月9日～15日、12月12日～15日（4回）</p> <p>※3月は震災の影響で中止。毎回、研修センターで1週間程度の合宿生活を体験</p> <p>会 場：研修センターおよび野島公園周辺</p> <p>内 容：研修センターの点検日作業の就労体験（就労対価あり）</p> <p>研修センター周辺でのボランティア活動（花壇整備 ほか）</p> <p>3月開催の体験フェスタにて模擬店を出店し就労体験活動を実施</p> <p>参 加：延べ107人</p> <p>(2) 全国若者自立塾活動報告会・交流会の開催</p> <p>※3月16日・17日開催予定でしたが、震災の影響により中止。</p>	<p>C-I</p> <p>2-①</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分
<p>2 市立横浜サイエンスフロンティア高等学校（YSFH）との連携事業 ※こども青少年局共催</p> <p>市立サイエンスフロンティア高等学校をはじめとする教育機関と連携事業を実施し、青少年に対する科学教育の推進を図りました。</p> <p>(1) 「宇宙」を学ぶ、体験する</p> <p>①YSFH社会貢献デー 日 時：7月21日 会 場：こども科学館 内 容：生徒による展示物の説明、プラネタリウムを活用した星空解説など 参加人数：165人</p> <p>②天文教室（こども青少年局、YSFH、青少年育成協会、こども科学館） 日 時：1月8日～9日 会 場：こども科学館（1/8）及び市立横浜サイエンスフロンティア高等学校（1/9） 内 容：プラネタリウムと天体望遠鏡による天体観測 参加人数：1日目 250人、 2日目 74人</p> <p>(2) 横浜の自然を知る、感じる</p> <p>①発見！横浜の自然「野島海岸の自然観察」 日 時：9月26日 会 場：研修センター及び野島海岸周辺 内 容：干潟や砂浜の生き物観察 参加人数：65人</p> <p>②発見！横浜の自然「鶴見川河口の自然観察」 日 時：10月10日 会 場：鶴見川河口付近 内 容：汽水域の生き物観察 参加人数：29人</p> <p>③発見！横浜の自然「地層と化石探検」 日 時：12月23日 会 場：野島青少年研修センター及び野島海岸周辺 内 容：地層観察と化石探検 参加人数：66人</p> <p>(3) 自分だけのロボットを動かす、学ぶ</p> <p>①「プログラミング・ロボット教室」 日 時：2月6日、13日 会 場：こども科学館 内 容：レゴロボの作製及び起動体験 参加人数：74人</p>	<p>C-I 1-①</p>
<p>3 ハートフルスペース連携事業</p> <p>不登校の児童・生徒を対象とした宿泊事業を市教育委員会と共催で実施し、教育総合相談センターのハートフルフレンドボランティアと協会の青年ボランティアが協働で、児童・生徒の集団宿泊体験への支援を行いました。</p> <p>日 時：12月2日～3日（1泊2日）</p> <p>参加人数：111人（日帰り参加者、青少年ボランティア、職員を含む）</p> <p>会 場：研修センター</p>	<p>C-I 2-①</p>

事業名（本部事業）	事業体系区分																								
<p>4 青少年の文化体験事業「能楽体験」</p> <p>青少年に、様々な体験活動の機会を提供することを目的に、青少年交流センターの機能と近隣の社会教育施設である横浜能楽堂を活用して「能楽体験」を実施しました。講師に能楽師を招き、最終日は能楽鑑賞を取り込むなど、青少年に「本物の体験」を提供することをテーマに取り組みました。</p> <p>日 時：2月24日、3月3日、3月10日</p> <p>会 場：交流センター、横浜能楽堂</p> <p>内 容：邦楽器体験、能楽の歴史、能楽鑑賞会</p> <p>参加人数：25人</p>	<p>C-I 2-①</p>																								
<p>D その他、この法人の目的を達成するために必要な事業</p>																									
<p>1 基金募集事業</p> <p>基金募集のため「第50回爆笑！濱っ子寄席」や基金箱の設置などを行い基金拡大を図りました。</p> <p>(1) 第50回爆笑！濱っ子寄席</p> <p>日 時：11月26日</p> <p>会 場：関内ホール</p> <p>出 演 者：古今亭八朝、林家正蔵、橘家円蔵、玉川カルテット、桂文楽、江戸家猫八、桂歌丸</p> <p>入 場 者：990人</p> <p>主 催：育成協会（社）横浜中法人会</p> <p>共 催：（社）横浜青年会議所 横浜市こども青少年局</p> <p>(2) その他の基金募集事業</p> <p>① 基金箱の設置 58か所 67個設置</p> <p>② 基金のPRと協力のお願い：協会会員をはじめ多方面に働きかけました。</p>	<p>D-I-①</p>																								
<p>2 賛助会員</p> <p>協会活動を支えていただいている会員の皆様に、協会への理解をより一層深めていただくため情報提供などを行いました。</p> <p>(1) 「協会だより」の発行</p> <p>内 容：事業や各委員会活動などの状況など、協会に関する情報提供</p> <p>発 行 月：7月、11月、平成23年3月</p> <p>(2) 会員の状況</p> <table border="1" data-bbox="245 1733 1114 1935"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>総 数</th> <th>A会員</th> <th>B会員</th> <th>C会員</th> <th>D会員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>975 件</td> <td>628 人</td> <td>214 件</td> <td>65 人</td> <td>68 件</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>890 件</td> <td>567 人</td> <td>193 人</td> <td>60 人</td> <td>70 件</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>719 件</td> <td>452 人</td> <td>153 人</td> <td>50 人</td> <td>64 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>A会員：個人（年会費 3,000 円）／B会員：団体・法人（年会費 5,000 円）</p> <p>C会員：個人（年会費 1 口 5,000 円以上）／D会員：団体・法人（年会費 1 口 10,000 円以上）</p>	年度	総 数	A会員	B会員	C会員	D会員	20	975 件	628 人	214 件	65 人	68 件	21	890 件	567 人	193 人	60 人	70 件	22	719 件	452 人	153 人	50 人	64 件	<p>D-I-③</p>
年度	総 数	A会員	B会員	C会員	D会員																				
20	975 件	628 人	214 件	65 人	68 件																				
21	890 件	567 人	193 人	60 人	70 件																				
22	719 件	452 人	153 人	50 人	64 件																				

協会の事業

事業名（本部事業）	事業体系 区分
<p>(3) 賛助会員交流事業</p> <p>指定管理施設である「横浜こども科学館」が第2期指定管理の選定から漏れたことに伴い、賛助会員交流事業は中止しました。</p>	D-1-③
<p>3 公益法人移行を見据えた組織の強化</p> <p>(1) 本部機能の強化・職員育成</p> <p>今年度は、新公益法人移行の平成22年度認定をめざし、法人事業の整理並びに事務局組織の強化の最終調整を図りました。また、職員研究交流集会、人権研修に加え、外部研修にも積極的に参加するなど、職員のスキルアップに努めました。</p>	D-3-②

II 指定管理事業

1 横浜市青少年育成センター

事業名（指定管理事業：横浜市青少年育成センター）	事業体系区分
A 青少年活動を育成する事業	
A-I 青少年活動を支援するための青少年施設の貸出	
1 研修室・スタジオなどの貸出 青少年指導者・育成者、及び青少年の活動の場として、研修室、音楽スタジオ、和室を貸し出しました。 (1) 研修室1 利用団体数：796件、利用人数：25,904人 (2) 研修室2 利用団体数：740件、利用人数：9,856人 (3) ミーティングルーム利用団体数：704件、利用人数：5,104人 (4) 和室利用団体数：631件、利用人数：6,901人 (5) スタジオ利用団体数：1,323件、利用人数：4,405人	A-I 1-①
2 青少年活動団体の事務局支援機能 青少年育成団体などの活動支援を目的に、印刷機・コピー機の貸出や軽作業の場を提供しました。 利用件数：584件	A-I 1-②
3 活動物品の貸出 着ぐるみの活動物品の貸出を行い、地域の青少年活動を支援しました。 貸出件数：106件	A-I 1-③
4 運営の検証と改善（利用者交流会） センター利用者、青少年育成活動者、協会職員などで構成する利用者交流会において、施設としての役割を十分果たせるよう、機能の促進、取り組みの検証を行い、効率的・効果的な運営のための見直しを行いました。 (1)利用者アンケートの実施 実施期間：10月1日～10月31日 (2)育成センター利用者交流会 開催日：10月31日、1月21日、1月29日、2月7日	A-I 1-③
A-II 青少年活動を支援するための相談・助言・コーディネート【相談業務】	
1 ボランティア情報スポット 青少年指導者・育成者、NPOなどを支援することで、地域での青少年活動の活性化を図っていくとともに、中間支援機関としての機能を発揮する取り組みを行っています。 青少年育成活動に関する情報収集・提供、相談、コーディネートや講座、研修会の開催、ネットワーク支援などを行いました。 (1) 情報収集・提供、相談、コーディネート ①情報収集・提供（「若者のためのボランティア」ガイドブックの発行） 発行部数：3,500部 ※協会4施設とキッズクラブの夏期ボランティアの募集冊子を関係機関で配布 ②相談業務、活動コーディネート	A-II 2-①③

協会の事業

<p>事業名（指定管理事業：横浜市青少年育成センター）</p>	<p>事業体系 区分</p>
<p>相談件数：15件 主な相談内容：ボランティア活動先の紹介、相談機関紹介（ひきこもり・ニート）など 主なコーディネート：事業企画相談（共催も含む）、講師紹介（講座参加者）、ほか</p>	<p>A-II 2-①③</p>
<p>A-III 青少年活動を支援するための活動参加型の相談・コーディネート</p>	
<p>1 ネットワーク支援 他の専門機関と共催で事業を実施することで関係の強化に努めました。</p>	<p>A-III 2-①</p>
<p>B 青少年活動を支える人材を育成する事業 B-I 青少年活動を支える人材を育成するための講座・研修</p>	
<p>1 講座・研修</p> <p>(1) 小学生の居場所とスタッフ研修（講座・見学・実習・ふりかえり）【新規】</p> <p>日 時：ア 講 義：4月25日 参加人数：20人 イ 見 学：5月20日、22日 参加人数：6人 ウ 実 習：5月25日～6月13日 参加人数：1人 オ 報告会：6月20日 参加人数：9人</p> <p>内 容：「近年の多様化する小学生の課題」と題した講義と居場所の見学、現場実習、実習報告会、オプション講座で構成。見学先の青少年育成団体や、駒澤大学准教授・萩原建次郎氏と連携して実施。</p> <p>(2) 中学生の居場所のスタッフ研修（講座・見学・ふりかえり）【新規】</p> <p>日 時：ア 講 義：8月28日 参加人数：33人 イ 見 学：8月28日、9月12日、9月22日、9月29日、 10月2日、10月13日、10月15日、10月19日、 10月30日 参加人数：47人 ウ 報告会：10月30日 参加人数：11人</p> <p>内 容：「近年の多様化する若者の課題」と題した講義と居場所施設8ヶ所の見学、オプション講座で構成。見学先の青少年育成団体との連携、オプション講座では横浜市立大学エクステンション講座と連携して実施</p> <p>(3) 横浜市立大学エクステンション講座 「子ども・若者の居場所づくりの今までとこれから」（共催）【新規】</p> <p>日 時：9月3日～10月8日（全5回） 参加人数：延べ158人</p> <p>内 容：子どもたちの居場所づくりに携わり、現在まで運営し続けている子ども・若者の生活・学習援助者たちに活動の歴史と自身のライフヒストリーを語っていただく講座。企画監修・高橋寛人氏（横浜市立大学国際総合科学部 教授）</p> <p>(4) 青少年育成者講座（ステップアップ講座）</p> <p>①「子どもをのばす対話力向上講座」</p> <p>日 時：5月15日 参加人数：37人 内 容：講義とグループ実習によるコーチング講座。共育コーチング研究会と協働</p> <p>②「子どものいじめ予防で大人たちにできること」</p> <p>日 時：6月27日 参加人数：11人 内 容：小学生向けワークショップの実演とグループワークを織り交ぜた構成ワークショップを中心に特定非営利活動法人CAPかながわと協働</p>	<p>B-I 1-①</p>

事業名（指定管理事業：横浜市青少年育成センター）	事業体系区分
<p>③「子どもの救急手当実習」 日 時：7月17日 参加人数：32人 内 容：家庭内で起こりうる事故に焦点をあて、講義と実技で小児の救急救命技術の習得を目的とした実習講座</p> <p>④「ひきこもりの理解と対応」（協力：横浜市青少年相談センター） 日 時：2月 5日 参加人数：40人 内 容：ひきこもりで悩んだり、孤立している子ども・若者に対して親や支援者がどう関わればよいのかについての講義</p> <p>⑤「中学生をのばす対話力向上講座」【新規】 日 時：9月25日 参加人数：18人 内 容：中学生、思春期の若者をのばす対話力の習得をめざすコーチング講座。共育コーチング研究会と協働。</p>	<p>B-I 1-①</p>
<p>2 青少年育成活動の支援</p> <p>(1) 団体活動支援講座</p> <p>開 催 日：ア「栄養の話とバター作り」 7月28日、8月2日 参加人数：78人 協働：明治乳業（株）、横浜市子ども会連絡協議会</p> <p>イ「催しのチラシづくりのコツ講座」 11月6日 参加人数：32人 協働：特定非営利活動法人男女共同参画フォーラムしずおか</p> <p>ウ「会議をまとめる術入門」 12月11日 参加人数：20人 講師：福嶋宏盛氏（有限会社システム・コンフォート）</p> <p>エ「提案発表のコツを学ぶ」 1月 22日 参加人数：16人 協働：国際青年環境NGO A SEED JAPAN</p> <p>オ「相手の力を引き出す実習」 3月 5日 参加人数：45人 協働：共育コーチング研究会</p> <p>(2)「青少年の体験活動に関する懇話会」（本部と連携） 日 時：5月26日、7月1日、11月29日、3月29日（年4回）</p> <p>(3) その他</p> <p>①協賛実績</p> <p>ア「第23回カウンセリング講習会」 主 催：横浜相談ボランティア研究会 日 時：前期11月11日、18日、25日、12月2日、9日（毎週木曜日）参加人数：30人 後期1月20日、27日、2月3日、10日、17日（毎週木曜日）参加人数：30人 内 容：カウンセリング・マインド理解の実習講習。</p> <p>イ「第54回横浜市学校保健大会第3分科会」 主 催：横浜市学校保健会 日 時：1月27日 参加人数：80人 内 容：学校保健の今日的課題について研究協議を行ない、学校保健の推進を図る。</p> <p>②後援実績</p> <p>ア「心を育てる講座 こども作法」</p>	<p>B-I 1-①</p>

協会の事業

事業名（指定管理事業：横浜市青少年育成センター）	事業体系 区分
<p>主 催：日本作法会 横浜関内教室</p> <p>日 時：7月10日～6月11日のうち12日間 参加人数：78人</p> <p>内 容：3～13歳の子どもとその保護者を対象に礼儀作法の基本を講習。</p> <p>イ「第27回新聞づくり講習会」</p> <p>主 催：横浜PTA新聞研究会</p> <p>日 時：5月25日、31日、6月4日 参加人数：159人</p> <p>内 容：目に付く広報紙づくりのポイントを指導。</p> <p>ウ「新聞作品コンクール・PTA新聞アドバイス講座」</p> <p>主 催：横浜PTA新聞研究会</p> <p>日 時：11月12日 参加人数：70人</p> <p>内 容：22年度に発行した広報紙のコンクール。アドバイス講座では新聞づくりの基本をワンランクアップさせる応用編を講義。</p>	<p>B- I</p> <p>1-①</p>

2 横浜市青少年交流センター

事業名（指定管理事業：横浜市青少年交流センター）	事業体系 区分										
A 青少年活動を育成する事業 A-I 青少年活動を支援するための青少年施設の貸出											
<p>1 場の提供</p> <p>(1) 自主的な活動の場（講座・研修会を含む）</p> <p>青少年の活動拠点としてできる限り制限を設けず会議室、スタジオなど、部屋の貸出しを行いました。また青少年の自主的な活動の支援、多様な経験ができる講座を行いました。</p> <p>協約目標：年間青少年利用者数 78,000人</p> <table border="1" data-bbox="308 584 1144 685"> <thead> <tr> <th>開館日数</th> <th>全体利用者数</th> <th>青少年利用</th> <th>青少年1日平均</th> <th>貸館稼働率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>327日</td> <td>157,270人</td> <td>94,284人</td> <td>288人</td> <td>61%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※演奏室、スタジオ、多目的室、レクホールにおいては75%の稼働率</p> <p>※平成23年3月12日～3月31日まで東日本大震災により臨時休館。</p>	開館日数	全体利用者数	青少年利用	青少年1日平均	貸館稼働率	327日	157,270人	94,284人	288人	61%	A-I 2-①② ③
開館日数	全体利用者数	青少年利用	青少年1日平均	貸館稼働率							
327日	157,270人	94,284人	288人	61%							
<p>2 運営の検証と改善</p> <p>センター利用者、青少年委員、ボランティアなどの意見やアンケートにより、効率的・効果的な運営の見直しを行いました。</p> <p>アンケートの実施（日時：通年、回答件数：208件）</p> <p>意見内容：スタジオ機器類の不具合などに対する意見が多く寄せられ、迅速な対応に努めました。</p>	A-I 2-③										
A-II 青少年活動を支援するための相談・助言・コーディネート【相談業務】											
<p>1 ロビーワークの充実</p> <p>ロビーワークの充実のため、施設スタッフのスキルアップ、及び青年ボランティアの導入によるスタッフ体制の充実を図り、居場所としての質的向上を図りました。</p> <p>(1) コーディネーター会議</p> <p>開催回数：11回（毎月1回）</p> <p>内 容：ロビーワークについて、フリースペース有効活用について 他</p> <p>(2) 施設スタッフ研修</p> <p>①AED講習会（日時：9月15日）</p> <p>②青少年の居場所づくりフォーラム（日時：2月19日、20日）</p>	A-II 1-①										
<p>2 青少年体験活動推進コーナーの運営</p> <p>就労体験、環境保全、自然科学体験活動に関わることで青少年が学び育つ機会を提供するため、青少年を対象に体験活動の相談・コーディネートの支援を行っています。</p> <p>22年度は、市立高等学校の社会貢献活動の義務化に対応し、多くの高校生にボランティア活動を始めるきっかけを提供しました。</p> <p>年間の相談対応件数：584件（コーディネートできた件数：73件）</p>	A-II 1-①										

事業名（指定管理事業：横浜市青少年交流センター）	事業体系区分
A-Ⅲ 青少年活動を支援するための活動参加型の相談・コーディネート	
<p>1 居場所づくりの推進</p> <p>交流センターの居場所づくりに関するノウハウを共有するために青少年の居場所づくりフォーラムや各区の居場所推進担当職員会議を実施するとともに、区の取り組みと連携し居場所づくりを推進しました。</p> <p>(1) 青少年の居場所づくりフォーラム開催 <日本青年都市会議と共同主催> 開催日時：2月19日、20日 参加人数：：132人 内 容：公開シンポジウム、情報交換会、交流会、分科会、他</p> <p>(2) 区の取り組みとの連携 「西区施設連携推進会議」、「磯子区の地区センタースタッフ研修」、「居場所スタッフ養成講座」、「市内の青少年の地域活動拠点の訪問」など、各区や各施設と連携し、青少年の居場所づくりの推進を行ないました。（計8区と連携）</p>	A-Ⅲ 2-①
<p>2 社会教育実習（大学生）</p> <p>大学生対象の社会教育実習を行いました。</p> <p>①駒澤大学 各自 14 日間 受入者数：12 人 ②湘南工科大学 各自 50 時間 受入者数：2 人 ③明治大学 各自 7 日間 受入者数：1 人</p>	A-Ⅲ 2-①
B 青少年を支える人材を育成する事業	
B-Ⅰ 青少年を支える人材を育成するための講座・研修	
<p>1 青少年委員会の運営</p> <p>青少年の声を施設運営に活かすとともに、中高生をはじめとした青少年自身の自主活動の中核を担ってもらうよう、交流センター開館以来、委員会を設置しています。</p> <p>広報紙の発行など自主企画の定着を図るとともに、子どもを対象とした自主イベントを毎月開催しました。また、センターを利用する青少年が企画する事業や、他のボランティアの活動支援などリーダーとして活躍しました。</p> <p>(1) 青少年委員会の構成：中学生から24歳までの青少年 20人 (2) 定例会：11回開催（毎月第3日曜日） 広報紙、イベント企画などの打合せ 他 (3) 広報紙の発行「君にふらっと☆」 年2 回発行（10月・1月、毎回200部） (4) 青少年委員企画事業</p> <p>①「ワイワイおやつタイム」 年9回開催 *3月は震災による臨時休館のため中止 参加人数：108人</p> <p>②「宿泊研修」 6月19日、20日 参加人数：14人</p> <p>③「ふりふら夏祭り」 7月31日 参加人数：87人</p> <p>④「納涼！きもだめし大会」 8月28日 参加人数：220人</p> <p>⑤「かどもっつい〜」 12月23日 参加人数：165人</p> <p>⑥「センター感謝デー」 【新規】3月26日 *震災による臨時休館のため中止</p>	B-Ⅰ 1-③

協会の事業

事業名（指定管理事業：横浜市青少年交流センター）	事業体系 区分
<p>2 青少年ボランティアの育成</p> <p>青少年に子どもを対象としたボランティア活動などの場を提供しました。年齢や学校が異なる青少年や大人と関わり、新たな自分を発見する機会となりました。夏期青年ボランティア（中学生含む）への参加がきっかけとなり、次年度には青少年委員になった青少年もいました。</p> <p>(1) 夏期青年ボランティア（事前説明会、事前研修会、事後研修会含む）</p> <p style="padding-left: 20px;">日 時：8月1日～8月29日の期間中、各自5日～10日間活動</p> <p style="padding-left: 20px;">参加人数：：54人（高校生から勤労青年）</p> <p style="padding-left: 20px;">説 明 会：7月13日、17日、21日、事前研修会：7月24日、事後研修会：8月29日</p> <p>(2) ユースボランティア</p> <p style="padding-left: 20px;">活動期間：通年 ※交流センターで日常的に活動</p> <p style="padding-left: 20px;">参加人数：：3人（高校生から勤労青年）</p>	<p>B- I</p> <p>1-③</p>
<p>C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業</p> <p>C-I すべての青少年を育むための多様な体験事業</p>	
<p>1 青少年の持ち込み企画の実施</p> <p>青少年による持ち込み企画を実施しました。</p> <p>(1) カードゲーム大会 8月10日、1月8日 参加人数：：26人</p> <p>(2) 消しゴムスタンプ・俳句づくり【新規】9月4日～5日 参加人数：：8人</p>	<p>C- I</p> <p>1-②</p>
<p>2 夏休み事業の実施</p> <p>来館者の多い夏休み期間に青少年対象の事業を行いました。</p> <p>(1) ピザづくり 【新規】： 8月3日 参加人数：：15人</p> <p>(2) 木工教室 8月5日 参加人数：：9人</p> <p>(3) うどんづくり【新規】： 8月11日 参加人数：：13人</p> <p>(4) 絵を描こう 8月19日 参加人数：：9人</p> <p>(5) ドッジボール大会 8月24日 参加人数：：32人</p>	<p>C- I</p> <p>1-②</p>
<p>3 多様な個別支援の場 / 社会性を身に付ける場の提供</p> <p>ロビーワークを通じての相談対応や、「ふらっとカフェ」、ボランティア活動（青年ボランティアの育成を参照）を通じて青少年の興味に合わせた交流の機会、異年齢の青少年の交流機会を設けました。</p> <p>(1) 交流スペース利用人数：46,342人</p>	<p>C- I</p> <p>1-②</p>
<p>4 地域や保護者との連携と交流の場の提供</p> <p>施設の利用者同士や地域の大人と出会い、相互理解を深めるための交流事業、成果発表会、及び親子で参加できる体験事業などを行いました。</p> <p>(1) こどもの日まつり</p> <p style="padding-left: 20px;">日 時：5月5日</p> <p style="padding-left: 20px;">内 容：クラフト、お茶教室、アトラクション、模擬店、他</p> <p style="padding-left: 20px;">参加人数：：424人、ボランティア47人</p> <p>(2) 春の卓球大会 3月28日 *震災による臨時休館のため中止</p> <p>(3) ふらっとキッズ<おもちゃのはこ></p>	<p>C- I</p> <p>1-②</p>

事業名（指定管理事業：横浜市青少年交流センター）	事業体系区分
<p>日 時：4月23日、6月25日、7月23日、8月20日、10月22日、11月26日、1月28日（8回）</p> <p>内 容：乳幼児親子の歌や音楽、手遊び、他 参加人数：：246人</p> <p>(4)ふりーふらっと音楽コンサート<おもちゃのはこ></p> <p>日 時：5月21日、9月17日、12月24日、2月25日（4回） 参加人数：：93人</p> <p>内 容：乳幼児親子の歌や音楽、手遊び、他</p> <p>(5)@楽祭（あつとがくさい）</p> <p>日 時：6月20日、11月28日（2回）</p> <p>内 容：センター利用者の成果発表会 18団体出演 参加人数：：289人</p> <p>(6)青少年ライブ</p> <p>日 時：8月22日、12月26日（2回）23バンド出演 参加人数：：275人</p> <p style="text-align: center;">*3月21日のライブは震災による臨時休館のため中止</p> <p>内 容：ライブ企画、バンド発表、ステージ演出、他</p> <p>(7)クラフト教室 毎月第2日曜(5,8月を除く) *3月は震災による臨時休館のため中止</p> <p>開催回数：9回 参加人数：：99人</p> <p>(8)理科あそび</p> <p>日 時：2回(7月25日、8月1日) 参加人数：：37人</p> <p>内 容：湘南工科大生による、振動や圧力をテーマにしたを簡単な実験</p> <p>(9)ふらっとカフェ「薄板しおりづくり」</p> <p>日 時：10月31日 参加人数：：16人</p> <p>内 容：経木を利用したしおりづくり</p> <p>(10)おもちゃの病院（西区地域連携事業）</p> <p>日 時：10月17日 参加人数：：9人</p> <p>内 容：西区域で活動するボランティア団体「かもめおもちゃの病院」と協働し、ボランティア活動の場を提供。</p>	C-I 1-②
<p>5 将来について考える場の提供</p> <p>事業参加やロビーワークを通して、青少年が自分自身を見つめ直し、社会へのつながりを感じられる支援を行いました。また大学生による進路相談会や、企業人による仕事の話など、将来の目標を見つけるきっかけを作る事業を行いました。</p> <p>(1)「キャリアカフェ～大学って何するところなの～」 <駒澤大学実習生></p> <p>日 時：5月23日 参加人数：：11人</p> <p>内 容：大学生が、大学生活や受験勉強について中高校生に語る。</p> <p>(2)「ふりふらジョブカフェ」</p> <p>日 時：4月17日、9月25日、12月18日 参加人数：：30人</p> <p>内 容：保育士編、図書館司書編（連携・横浜中央図書館）、福祉編（連携・野毛山荘）</p> <p>(3)中高生世代対象事業「能楽ワークショップ」</p> <p>日 時：2月24日、3月3日、3月10日 参加人数：：25人</p> <p>内 容：能楽の邦楽楽器演奏者を講師に迎え、能楽の講義、邦楽器の実演、横浜能楽堂での能鑑賞を組み合わせ、中高生に古典芸能の理解と多様な価値観を育む体験機会を提供</p>	C-I 1-②

3 横浜市野島青少年研修センター

事業名（指定管理事業：横浜市野島青少年研修センター）	事業体系区分
A 青少年活動を育成する事業 A-I 青少年活動を支援するための青少年施設の貸出	
1 集団宿泊体験の場の提供 施設の特長を生かし、集団宿泊体験を通じて「自ら直接体験する機会」を青少年に提供しました。 (1) 利用日数：241日（利用稼働率：78.5%） (2) 利用件数：562件 27,434人 (3) 宿泊利用日数：201日（宿泊利用稼働率：69.0%） (4) 宿泊件数：400件 20,065人 ※平成23年3月12日～3月31日まで東日本大震災により臨時休館。	A-I 3-①
2 日帰り利用団体の受入 施設の利用を促進し、より多くの青少年に「自ら直接体験する機会」を提供するため、日帰り利用団体を受け入れました (1) 利用団体数：162団体 (2) 利用人数：7,369人	A-I 3-①
3 備品貸出業務 施設の備品の貸し出しを通して、利用者の施設内における活動の充実を図りました。 今年度は機材の更新や使用説明などの適切なサービスを中心に実施したことが、利用者の満足度向上の一助となりました。	A-I 3-④
4 運営の検証と改善 研修センター利用者に対してアンケート調査を実施し、その結果をサービスの向上や設備の改善に反映しました。 (1) 施設利用アンケート 実施期間：4月から3月（通年） 回答数：225団体	A-I 3-④
A-II 青少年活動を支援するための相談・助言・コーディネート【相談業務】	
1 相談業務 施設を利用する団体がより充実した研修を行えるよう、利用団体への情報提供、活動プログラムの相談などを通して充実した宿泊体験を支援しました。 (1) 体験学習説明会 開催回数：全2回（木曜日） 参加校数：68校 (2) 学校体験学習事前打合せ会 開催回数：全21回（木曜日）	A-II 3-①②

協会の事業

事業名（指定管理事業：横浜市野島青少年研修センター）	事業体系区分
参加校数：89校 (3) 一般団体抽選会 開催回数：11回（毎月第2日曜日） 参加団体数：193団体 (4) 一般団体事前打ち合わせ会 開催回数：32回（毎月第1～3土曜日） 参加団体数：389団体 (5) インターネットによる情報提供（通年）	A-II 3-①②
B 青少年活動を支える人材を育成する事業	
B-I 青少年活動を支える人材を育成するための講座・研修	
1 スキルアップ講習会 青少年活動におけるスキルの提供を通じて、青少年団体のリーダーがプログラムの企画進行ができるような講習会を実施しました。 日 時：8月29日、10月29日～31日、2月12日、2月15日（4回開催） 参加人数：360人	B-I 1-④
2 野島ボランティアスタッフの養成 野島の周辺環境や施設を活かした定期的な研修活動を通じて、青少年育成・ボランティア活動について学ぶとともに、ボランティア同士・また利用者と関わりあいを持つことで青少年への関心高め、青少年活動が実践できるボランティアスタッフを育成しました。 (1) 野島ボランティアスタッフ 登録人数：18人 活動内容：主催事業補助、夏期ボランティア活動、他	B-I 1-④
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	
C-I すべての青少年を育むための多様な体験事業	
1 野島ワークショップ 利用団体を対象とした食・自然に関するプログラムを実施しました。 (1) 横濱野島カリー 参加人数：3,061人（41団体） (2) のじぼっくり 参加人数：355人（11団体） (3) のじたまくん 参加人数：426人（9団体） (4) バードコール 参加人数：340人（10団体） (5) 厨房日帰りプログラム 参加人数：267人（5団体）	C-I 1-④
2 親子クッキングキャンプ 食育事業として、横浜マイスターである西洋料理の清水郁夫さんを講師にむかえ、小学校4年生から中学校3年生の親子を対象とした1泊2日のキャンプを実施しました。 日 時：2月26日～2月27日 1泊2日 会 場：横浜市野島青少年研修センター、野島公園周辺 参加人数：：親子参加者26人 内 容：食材選び、買い物、食育トーク・ディナー作り、ほか	C-I 2-②

協会の事業

事業名（指定管理事業：横浜市野島青少年研修センター）	事業体系区分
<p>3 オールクリーン野島ビーチ（共催）</p> <p>身近な自然を保全するため、野島を拠点に活動するボランティア・NPOと協働で横浜市内に唯一残る自然の砂浜「野島海岸」を清掃しました。</p> <p>開催回数：6月12日、9月11日、11月20日、2月19日（4回）</p> <p>会 場：野島海岸</p> <p>内 容：海岸清掃、海辺の生き物観察</p> <p>参加人数：523人</p> <p>主 催：オールクリーン野島ビーチ実行委員会</p>	C-I 1-④
<p>4 野島カヌー体験教室（共催）</p> <p>研修センター利用者に対し、野島の海浜を利用した自然体験プログラムとして、金沢スポーツクラブと共催でカヌー体験教室を実施しました。</p> <p>開催回数：毎週土曜日全17回</p> <p>参加人数：357人</p>	C-I 1-④
<p>5 カヌーキャンプ（共催）</p> <p>野島の海浜を利用した自然体験プログラムとして、金沢スポーツクラブと共催で宿泊体験を伴うカヌー教室を実施しました。</p> <p>日 時：8月17～18日（1泊2日）</p> <p>参加人数：60人</p>	C-I 1-④
<p>6 自立支援事業（共催）</p> <p>若者の自立支援に取り組む団体の宿泊を受け入れ、町内会・緑の協会（野島公園管理事務所）と協力してボランティア活動などのプログラムを提供し、若者の自立支援をサポートしました。</p> <p>日 時：6月13日～16日、8月18日～21日、9月9日～15日、12月12日～15日 （3泊4日 4回）</p> <p>参加人数：107人</p>	C-I 1-⑤
<p>7 放課後児童育成事業と連携したキャンプ（協働）</p> <p>放課後キッズクラブなどと協働で宿泊キャンプを行い、集団生活を通じて参加者同士のふれあいを深め、自立心・協調性を深めました。</p> <p>日 時：①6月2日（日帰り）、②3月4～5日（1泊2日）</p> <p>会 場：①②研修センター、野島公園、ほか</p> <p>内 容：①宿泊体験、キャンドルファイア、野外プログラム、ほか ②野島カリー作り、磯遊び、ほか</p> <p>参加人数：①36人 ②31人</p>	C-I 1-④
<p>8 野島クリスマスキャンプ（共催）</p> <p>横浜市立小中学校の個別支援学級に通う児童・生徒を対象に体験活動の場を提供するとともに、青年ボランティアに児童・生徒への理解を深めてもらうことを目的に、団体（実行委員会）と協働で実施しました。</p> <p>日 時：12月11日～12日（1泊2日）</p> <p>会 場：横浜市野島青少年研修センター</p> <p>参加人数：153人</p> <p>主 催：野島クリスマスキャンプ実行委員会</p>	C-I 1-⑤

協会の事業

事業名（指定管理事業：横浜市野島青少年研修センター）	事業体系区分
<p>9 バードウォッチングin野島（共催）</p> <p>金沢区野島海岸を訪れる「冬鳥の観察」を通じて、自然環境保護への興味と関心を高めました。また、この活動を通じて市民団体と地域の人々が交流し、地域活動に目を向けるきっかけを作りました。</p> <p>日 時：2月19日～20日（1泊2日）</p> <p>会 場：研修センター、野島公園、長浜公園</p> <p>内 容：冬鳥の観察会</p> <p>参加人数：52人</p> <p>主 催：バードウォッチングin野島実行委員会</p>	<p>C-I</p> <p>1-④</p>
<p>10 第17回金沢水の日（共催）</p> <p>野島海岸を中心とした野島の自然環境をまもるとともに、青少年を対象にした地域交流や環境教育の機会を提供するため、金沢区内で活動している団体と協働で「金沢水の日」を実施しました。</p> <p>日 時：10月16日</p> <p>会 場：研修センターとその周辺</p> <p>内 容：水に関するワークショップ など</p> <p>参加人数：400人</p> <p>参加団体：13団体</p> <p>主 催：金沢水の日実行委員会</p>	<p>C-I</p> <p>1-④</p>
<p>11 野島ふれあいランド</p> <p>施設と研修センターのノウハウを提供し、遊びを中心に地域の青少年の育成と異年齢間の交流を促進しました。</p> <p>開催回数：毎月1回（第4土曜日）（全11回）</p> <p>内 容：食品トレーで飛行機を作ろう、スイカ割り、シャボン玉遊び、ダーツ大会、ほか</p> <p>参加人数：延べ410人</p>	<p>C-I</p> <p>2-②</p>
<p>12 プログラム研究・開発事業</p> <p>施設環境やプログラムの内容充実、職員のスキルアップ向上などを図り、利用者の満足度の向上に努めました。</p>	<p>C-I</p> <p>2-①</p>

4 横浜こども科学館

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
B 青少年活動を支える人材を育成する事業 B-I 青少年活動を支える人材を育成するための講座・研修	
1 科学館事業に携わる人材育成 科学知識、技術を持った人材を発掘し、指導者養成研修などを通して科学体験活動推進スタッフ及びボランティアを養成しました。 また、学校と連携して今後科学館事業を担う青少年に活動の場を提供しました。 (1) 科学体験推進スタッフ養成研修＜特定非営利活動法人おもしろ科学たんけん工房と共催＞ 内 容：オリエンテーション、おもしろ科学体験塾の現場実習 他 実施時期：6月26日 参加人数：25人 (2) 科学館ボランティア（通年） ①ワゴンワークショップ 活動日数：3日間 延べ参加人数：3人 ②事業ボランティア 活動日数：63日間 延べ参加人数：130人 ③天文ボランティア 活動日数：11日間 延べ参加人数：110人 ④展示室ボランティア 活動日数：54日間 延べ参加人数：71人 (3) 学校との連携 ①学習関連教室（科学技術振興機構助成事業） 日 時：9月19日、10月17日、12月26日、1月23日（4日間） 参加人数：60人 ②職場体験学習受入（洋光台第二中学校） 日 時：10月14日 参加人数：4人 ③湘南工科大学社会貢献 日 時：6月18日、6月19日、7月17日（3日間） 参加人数：1人	B-I 1-⑤
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業 C-I すべての青少年を育むための多様な体験事業	
1 企画展事業 特別展示室にて年間を通して企画展を実施しました。常設展示とは異なるテーマや展示形態をとり、様々な角度から科学の不思議、面白さに触れる機会を提供しました。 (1) ピンホールカメラと◇キラリ◇光のあそび展 日 時：4月1日～6月14日（68日間） 参加人数：52,106人 協力団体：日本針穴写真協会 付帯イベント ①ピンホールカメラワークショップ 日 時：5月15日～5月16日（2日間） 参加人数：95人 協力団体：日本針穴写真協会	C-I 1-⑥

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>②写真づくり体験教室</p> <p>日 時：6月5日～6月6日（2日間）</p> <p>参加人数：90人</p> <p>協力団体：富士フィルム</p> <p>(2)夏休み特別展「科学迷路」</p> <p>日 時：7月17日～9月5日（51日間）</p> <p>参加人数：75,213人</p> <p><付帯イベント></p> <p>①ワークショップ「迷路パズル」</p> <p>日 時：8月2日～8月25日（15日間）</p> <p>参加人数：274人</p> <p>(3)ドクター・オフネのおもしろ研究所</p> <p>日 時：10月9日～1月10日（80日間）</p> <p>参加人数：52,814人</p> <p>協力団体：日本財団助成金事業</p> <p><付帯イベント></p> <p>①ワークショップ「すいすい水力船」</p> <p>日 時：11月6日～11月7日（2日間）</p> <p>参加人数：29人</p> <p>②ワークショップ「すいすいプロペラ船」</p> <p>日 時：11月13日～11月14日（2日間）</p> <p>参加人数：33人</p> <p>③ワークショップ「ロープワーク」</p> <p>日 時：11月21日，1月10日（2日間）</p> <p>参加人数：18人</p> <p>協力団体：横浜海洋少年団</p> <p>④デモンストレーション「手旗信号」</p> <p>日 時：11月21日，1月10日（2日間）</p> <p>参加人数：140人</p> <p>協力団体：横浜海洋少年団</p> <p>(4)魔法の板・カプラ</p> <p>日 時：2月11日～3月13日（30日間）</p> <p>参加人数：20,554人</p> <p>(5)特別企画「ノスタルジック★ポスター展」</p> <p>日 時：1月13日～2月10日（28日間）</p> <p>参加人数：2,344人</p>	<p>C-I</p> <p>1-⑥</p>
<p>2 イベント事業</p> <p>来館者が多いゴールデンウィークや夏休みなどに、幅広い年齢層に対応したワークショップ形式などの参加型イベントを実施しました。</p>	<p>C-I</p> <p>1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系 区分
<p>(1) 夏だ！ギンギンサイエンス</p> <p>① バルーンパフォーマンス 日 時：8月1日（2回） 参加人数：350人</p> <p>② スーパーシャボン玉ショウ 日 時：8月8日（2回） 参加人数：650人</p> <p>③ フィナーレ 日 時：8月29日（2回） 参加人数：220人</p> <p>④ おもしろシャボンまく作り 日 時：8月3日～8月8日（6日間） 参加人数：307人</p> <p>⑤ ふしぎなステンドグラス作り 日 時：8月10日～8月15日（6日間） 参加人数：319人</p> <p>⑥ スーパーボール作り 日 時：8月17日～8月22日（6日間） 参加人数：318人</p> <p>⑦ 万華鏡を作ろう 日 時：8月3日～8月8日（6日間） 参加人数：813人</p> <p>⑧ スライムを作ろう 日 時：8月10日～8月15日（6日間） 参加人数：1,242人</p> <p>⑨ バードコールを作ろう 日 時：8月17日～8月22日（6日間） 参加人数：772人</p> <p>(2) サイエンスバザール 日 時：4月29日、5月1日、5月2日（3日間） 参加人数：206人 内 容：スチロールコップアート</p> <p>(3) クリスマスサイエンスショウ 日 時：12月19日、12月23日（2日間） 参加人数：100人</p> <p>(4) 七夕ディスプレイ 日 時：6月18日～7月8日（20日間）</p> <p>(5) クリスマスディスプレイ 日 時：11月8日～12月27日（43日間）</p> <p>(6) 青少年科学体験キャンプ（東日本大震災のため中止） 実施予定日：3月20日～3月21日（開催予定日数2日）</p>	<p>C-I 1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>3 各種教室事業</p> <p>小学生を対象としたプログラミング技法を楽しく学ぶための教室及び短時間でできる簡単工作や科学遊びを通して科学体験できる場を提供しました。</p> <p>また、洋光台サイエンスクラブの会員を対象に地域連携事業を実施しました。</p> <p>(1) コンピュータ教室</p> <p>① 迷路パズル</p> <p>日 時：9月26日、1月9日（2日）</p> <p>参加人数：31人</p> <p>② レゴマインドストームでプログラミングに挑戦</p> <p>日 時：7月25日、11月21日（2日）</p> <p>参加人数：42人</p> <p>(2) 体験スタジオ</p> <p>① パラモーション</p> <p>日 時：7月29日、7月30日（2日）</p> <p>参加人数：122人</p> <p>② エコーメガホン</p> <p>日 時：11月20日、11月21日、11月23日（3日）</p> <p>参加人数：185人</p> <p>③ スポンジくまさん</p> <p>日 時：1月4日～1月6日（3日）</p> <p>参加人数：249人</p> <p>④ ガチャポン工作</p> <p>日 時：3月6日、3月13日（2日）</p> <p>参加人数：47人</p> <p>(3) 地域連携教室</p> <p>① 実験工作教室</p> <p>協力団体：特定非営利活動法人おもしろ科学たんけん工房</p> <p>ア ヘリコプターを作ろう</p> <p>日 時：4月24日</p> <p>参加人数：47人</p> <p>イ 噴水の科学</p> <p>日 時：5月22日</p> <p>参加人数：47人</p> <p>ウ 転がれ、進め、ジェットコースター</p> <p>日 時：6月19日</p> <p>参加人数：46人</p> <p>エ プロペラ型の風向計を作ろう</p> <p>日 時：7月17日</p> <p>参加人数：21人</p>	<p>C-I</p> <p>1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>オ 水をきれいにするおもしろ実験 日 時：9月18日 参加人数：17人</p> <p>カ ブーメランを作ろう 日 時：10月16日 参加人数：17人</p> <p>キ ブザーを作ってモールス信号に挑戦 日 時：11月20日 参加人数：21人</p> <p>ク ホバークラフトを作ろう 日 時：12月18日 参加人数：23人</p> <p>ケ マクスウェルのコマを作ろう 日 時：1月29日 参加人数：19人</p> <p>コ 作ろう！ふしぎなテクテクザウルス 日 時：2月19日 参加人数：22人</p> <p>サ すもうロボットを作ろう（東日本大震災のため中止） 実施予定日：3月19日</p> <p>②電波教室</p> <p>ア AMラジオを作ろう 日 時：10月30日 参加人数：18人</p> <p>イ 電波チェッカーを作って電波を見つけよう 日 時：1月15日 参加人数：20人 協力団体：電波適正利用推進員協議会</p> <p>③環境自然教室</p> <p>ア 冷熱ってなんだろう 日 時：8月10日 参加人数：25人 協力団体：東京ガス横浜支店</p> <p>イ ソーラーオルゴールを作ろう 日 時：11月13日 参加人数：22人 協力団体：神奈川県環境学習リーダー会</p> <p>④オーディオ教室</p> <p>ア 紙コップスピーカーを作ろう 日 時：12月11日 参加人数：31人 協力団体：日本オーディオ協会</p>	<p>C-I 1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>⑤施設見学</p> <p>ア 理化学研究所を見学しよう 日 時：7月3日 参加人数：27人</p> <p>イ 東急車輛の工場を見学しよう（東日本大震災のため中止） 実施予定日：3月24日</p> <p>⑥クラブ特別教室</p> <p>ア トンボ池 日 時：6月12日 参加人数：43人</p> <p>(4)博物館学芸員実習</p> <p>日 時：座学 7月1日、2日 作業実習 7月5日～7月11日 実習 8月1日～8月22日 以上27日間 参加人数：15人</p>	<p>C-I 1-⑥</p>
<p>5 天文教室及び宇宙劇場特別投影事業</p> <p>天体望遠鏡を自分で製作し、その仕組みや構造を理解する教室の実施や天体を見る観望会を実施し、天文や宇宙に親しむ機会を提供しました。</p> <p>(1)天文教室</p> <p>①天体望遠鏡工作 日 時：6月19日、7月14日、8月21日、10月10日（4日間） 参加人数：105人 協力団体 星空公団、県立柏陽高等学校</p> <p>②天体観望会 協力団体 星空公団</p> <p>ア 太陽観望会 日 時：6月19日、9月18日、10月10日、2月12日（4日間） 参加人数：126人</p> <p>イ 月と土星の観望会 日 時：5月22日 参加人数：29人</p> <p>ウ 月と金星の観望会 日 時：7月17日 参加人数：35人</p> <p>エ 月の観望会 日 時：9月18日、2月12日（2日間） 参加人数：54人</p>	<p>C-I 1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>(2) 宇宙劇場特別企画 協力団体：横浜市磯子区区民文化センター杉田劇場</p> <p>①七夕ファミリーコンサート 日 時：7月3日 参加人数：173人</p> <p>②クリスマスコンサート 日 時：12月23日 参加人数：221人</p>	<p>C-I 1-⑥</p>
<p>6 協働事業 企業や他団体との協働事業により、多くの青少年に科学体験の機会を提供しました。</p> <p>(1) 夏休み！TEPCO 環境・エネルギーパーク 日 時：7月27日～7月29日（3日間） 参加人数：1,116人 協働団体 東京電力</p> <p>(2) はまぎんキッズサイエンス 協働団体：横浜銀行, 横浜市こども青少年局</p> <p>①夏の星のものがたり～夏のミニ・プラネタリウムで夏の星座を楽しもう～ 日 時：7月28日～7月29日（2日間） 参加人数：70人</p> <p>②講演会「小惑星探査機『はやぶさ』世界初の往復の宇宙飛行」 日 時：2月26日 参加人数：258人</p> <p>(3) 洋光台誕生40周年記念パークサイドフェスティバル 日 時：8月28日～8月29日（2日間） 参加人数：449人 協働団体：洋光台地区自治町内会</p> <p>(4) おもしろ科学ひろば 協働団体：特定非営利法人おもしろ科学たんけん工房</p> <p>①ミニホバークラフト 日 時：4月29日 参加人数：72人</p> <p>②トコトコ人形 日 時：5月23日 参加人数：109人</p> <p>③ブーメラン 日 時：6月27日 参加人数：89人</p> <p>④マジックこま 日 時：7月24日～7月26日（3日間） 参加人数：449人</p>	<p>C-I 1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>⑤プロペラカー 日 時：8月22日、8月23日（2日間） 参加人数：168人</p> <p>⑥にじ色の涙 日 時：9月19日、9月20日（2日間） 参加人数：434人</p> <p>⑦にじ色の万華鏡 日 時：10月24日 参加人数：59人</p> <p>⑧くるくるリング 日 時：11月28日 参加人数：89人</p> <p>⑨宇宙人はまちゃん 日 時：12月26日 参加人数：37人</p> <p>⑩ペットボトルトルネード 日 時：1月23日 参加人数：33人</p> <p>⑪プロペラカー 日 時：2月27日 参加人数：73人</p> <p>(5)コピー機になってみよう 日 時：10月31日、11月3日（2日間） 参加人数：163人 協働団体：株式会社リコー</p> <p>(6)天文ボランティア研修 日 時：9月18日 参加人数：9人 協働団体：星空公団</p> <p>(7)サイエンスフロンティアデー 日 時：7月21日 参加人数：109人 協働団体：市立横浜サイエンスフロンティア高等学校</p> <p>(8)「自分だけのロボットを動かす、学ぶ-プログラミング・ロボット教室-」 日 時：2月6日、2月13日（2日間） 参加人数：74人 協働団体：市立横浜サイエンスフロンティア高等学校</p> <p>(9)新春ニューイヤープラネタリウム 日 時：1月8日 参加人数：255人 協働団体：市立横浜サイエンスフロンティア高等学校</p>	<p>C-I 1-⑥</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>(10)横浜市立高校学び塾 日 時：8月17日、8月23日、8月24日（3日間） 参加人数：39人 協働団体：市立戸塚高等学校</p> <p>(11)高校生が解説する「プラネタリウムで星空を知ろう」 日 時：8月24日 参加人数：104人 協働団体：市立戸塚高等学校</p> <p>(12)子ども科学探検隊 日 時：6月26日 参加人数：20人 協働団体：県立青少年センター</p> <p>(13)高校生科学体験講座 日 時：10月31日 参加人数：12人 協働団体：県立青少年センター</p> <p>(14)燃料電池自動車がやってくる！ 日 時：8月21日、8月22日、8月28日、8月29日（4日間） 参加人数：499人 協働団体：横浜市環境創造局</p> <p>(15)いそごこどもフェスタ「移動式プラネタリウム」 日 時：12月5日 参加人数：249人 協働団体：磯子区役所</p>	<p>C-I 1-⑥</p>
<p>C-III 自然科学体験を通して青少年を育むための青少年施設の運営</p>	
<p>1 展示室の管理運営</p> <p>常設展示物(200点余)の多くは10年から20年を過ぎているため、日々のきめ細かいメンテナンスや性能をより高めていくための研究を行い、性能の維持・向上に努めました。</p> <p>また、科学の楽しさ、面白さをライブで体験できるよう、5階キャプテンシアターで毎月演目を変えてサイエンスショーを、また2階スペースラボでは、いろいろなテーマのミニ実験ショーを実施しました。</p> <p>(1)来館者受入（東日本大震災のため3/14～3/31臨時休館） 日 時：通年（開館日数316日） 入館者数：254,371人</p> <p>(2)展示室運営</p> <p>①サイエンスショー（11演目） 日 時：通年（開催回数445回） 参加人数：20,779人</p> <p>②ミニ実験（6種） 日 時：通年（開催回数610回）</p>	<p>C-III 1-①</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>参加人数：9,984人</p> <p>③かんたん工作「わくワーク」</p> <p>日 時：通年（開催回数148回）</p> <p>参加人数：1,561人</p> <p>(3)展示物の改良・大規模修繕</p> <p>日 時：通年</p> <p>実施件数：5件</p>	<p>C-III</p> <p>1-①</p>
<p>2 図書室・ビデオライブラリー</p> <p>展示物での体験を通して芽生えた疑問を来館者が積極的に自ら調べられるように、幅広い分野の科学に関する書籍やビデオの収集・公開に努めました。</p> <p>日 時：通年（開館日数316日）</p>	<p>C-III</p> <p>1-②</p>
<p>3 宇宙劇場点検保守・番組投影</p> <p>幅広い客層のニーズに対応できるようプラネタリウム番組内容の充実を図り、入館者・入場者の増加に取り組みました。</p> <p>また、宇宙劇場の保守管理を行い、プラネタリウムの安定稼働に努めました。</p> <p>(1)一般番組投影</p> <p>日 時：通年（投影回数718回）</p> <p>入場者数：45,209人</p> <p>(2)ちびっこ番組投影</p> <p>日 時：通年（投影回数666回）</p> <p>入場者数：81,466人</p> <p>(3)学習番組投影</p> <p>日 時：随時（投影回数147回）</p> <p>入場者数：20,672人</p> <p>(4)放課後児童プラネタリウム</p> <p>日 時：通年（投影回数9回）</p> <p>入場者数：299人</p> <p>(5)新番組制作</p> <p>制作本数 3本</p>	<p>C-III</p> <p>1-③</p>
<p>4 広報出版事業（自然科学の普及・啓発のための広報）</p> <p>新たな客層を開拓するため携帯電話の割引クーポンを発行し、入館者増の対策を講じました。また、利用者満足度を調査し、施設運営の改善に活用しました。</p> <p>一方、開館以来26年目にして入館者数700万人を突破したため、イベントを開催しマスコミを通じて広報しました。</p> <p>加えて科学情報紙や科学館事業案内情報などの発行や他施設でのアウトリーチ活動を行うことにより、青少年の科学への興味を呼び起こすとともに科学館のPRを行いました。</p> <p>(1)誘致活動</p> <p>①「モバイルクーポン」キャンペーン実施</p>	<p>C-III</p> <p>1-④</p>

事業名（指定管理事業：横浜こども科学館）	事業体系区分
<p>日 時：6月1日～9月30日、11月10日～3月13日（日数：225日）</p> <p>(2) 運営の検証と改善</p> <p>① 利用者アンケート調査</p> <p>日 時：8月1日、8月8日、8月15日（実施回数：3回）</p> <p>協力者数 607人</p> <p>② 事業別アンケート調査</p> <p>日 時：通年（実施回数：36回）</p> <p>(3) 入館者700万人達成記念イベント</p> <p>日 時：7月25日</p> <p>参加人数：171人</p> <p>(4) 広報・情報サービス</p> <p>① みみよりサイエンス発行</p> <p>発行月：10月、12月、1月、3月（年4回発行）</p> <p>発行部数：40,000部</p> <p>② 事業案内「はまユース」発行</p> <p>発行月：5月、7月、8月、11月、1月、3月（年6回発行）</p> <p>発行部数：5,400部（ポスター）</p> <p>③ ホームページ運営 通年</p> <p>(5) アウトリーチ</p> <p>① いそごこどもフェスタ</p> <p>日 時：12月5日</p> <p>参加人数：249人</p> <p>活動会場 磯子区役所</p> <p>② 移動式プラネタリウム（県子どもサイエンスフェスティバル県央地区大会）</p> <p>日 時：12月18日</p> <p>会 場：大和市生涯学習センター</p> <p>参加人数：84人</p> <p>③ 旭区白根地区「青少年のつどい」（主催：旭区白根地区青少年指導員協議会）</p> <p>日 時：3月12日</p> <p>参加人数：35人</p> <p>会 場：白根町内会館</p>	<p>C-Ⅲ</p> <p>1-④</p>
<p>D その他、この法人の目的を達成するために必要な事業</p>	
<p>1 駐車場・売店</p> <p>科学館の売店・利用者用駐車場、及び喫茶室の管理運営を、利用者の利便・サービス向上ならびに自主財源確保を目的として行いました。</p>	<p>D-2</p>

Ⅲ キッズクラブ事業

C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

C-II 小学生を育むための放課後の安全な遊び場と集団活動の場を提供する事業 C-II-1-①

1 放課後キッズクラブの運営

(1) 開設状況

協会の運営する20か所の放課後キッズクラブでは、在籍児童の54.8% (20校の平均値) が登録しました。

この1年間で各放課後キッズクラブ月平均約1,347人、総計323,377人が利用し、各放課後キッズクラブで実施したプログラム数は、毎月1キッズ平均約24.5回、年間総計5,880回でした。

区名	学校名 (小学校)	在籍 人数	登録 人数	参加人数:	プログラム 実施数	特色ある主なプログラム内容
南区	太田	327	229	18,487	329	科学あそび/壁画大作戦/バドミントン/手芸/野球/手芸/木工/読書/花火/逃走中/読み聞かせ/おやつ作り/ドッジボールクラブ/サッカー/凧あげ/みかん狩り など
港南区	港南台第三	323	206	12,084	314	工作/手芸/サッカークラブ/キッズ探検隊/将棋・囲碁/ミニシアター/ドッジボール/折り紙検定/和太鼓クラブ/日本語マスター/凧づくり など
旭区	笹野台	615	387	18,120	543	ドッジボール/手芸/フレンドワン/ハンドベル教室/アイロンビーズ/お話し会/木工/ソフトテニス教室/ミサンガ作り/アロマ講座/フラワーアレンジ など
金沢区	能見台	604	347	20,361	398	おやつ/フラワーアレンジメント/ドッジボールクラブ/サッカー教室/テニス/スポーツチャンバラ/アロマ教室/アイロンビーズ/お話し会/折り紙教室/トーンチャイム/ビーズ教室 など
緑区	長津田	530	316	15,629	310	読書/バドミントン/ミサンガ教室/ドッジボール/エコ工作/卓球/手芸/カレーパーティー/折り紙教室/体育館遊び/楽器づくり/生け花教室 など
都筑区	折本	7297	329	14,781	262	将棋/ドッジボール/クッキング/お箸の達人/スケートに行こう/編み物教室/年賀状づくり/絵本の日/科学教室/野球教室/茶道に親しむ など
戸塚区	秋葉	631	318	18,695	250	地域探検/バドミントン/中学生と遊ぼう/絵画体験/イチゴ狩り/ドッジボール/スポーツチャンバラ/折り紙/切り紙/フラダンス/キッズに泊ろう/キャンプ/工作 など
瀬谷区	南瀬谷	914	391	21,291	253	手芸/サッカー/オセロ/壁画作り/お話し会/塗り絵の日/折り紙の日/いずみ川探検/まち探検/あやとり検定/ドミノ/藍染め/もちつき など
鶴見区	寺尾	701	336	19,248	290	ネイチャーゲーム/ハンドベル/茶道教室/リサイクル工作/ガーデニング/横浜FCと遊ぼう/キッズ屋台/お話し会/トスペース/ハロウィン/科学あそび/ANA機体整備工場見学 など
西区	宮谷	933	469	20,865	228	ドッジボール/生け花教室/水墨画教室/腕相撲大会/ハマノ愛生園にはがき届け/精霊馬を作ろう/ちぎり絵/スカッドボーイ講習会/浅間台ケアプラザにXマスカードを届けよう など
中区	本町	609	341	19,034	416	森の工作と森探検/ドッジボールクラブ/壁画/火起こし体験/クラフト/水彩画/クッキング/マイお茶碗づくり/フラワーアレンジメント/スーパーレスキュー体験/クワガタ研究会 など
磯子区	岡村	361	206	13,288	252	お料理クラブ/ドッジボール/クラフト/お掃除隊/バドミントン/科学教室/クワガタ研究会/読み聞かせ/横浜市衛生研究所に行こう/キッズ5周年/郷土の味 など
港北区	日吉南	666	352	14,469	228	ドッジボール/読み聞かせ/キッズバスケット/オセロ/キッズ工房/アクリル絵具教室/サッカー/将棋/親子工作/読書/バドミントン など
青葉区	すすき野	514	298	13,786	293	人形劇を見に行こう/ドッジボール/バドミントン/横浜FCと遊ぼう/ハンドベル音楽隊/防災センター見学/キッズ菜園/和太鼓クラブ/グランドゴルフ/キッズシアター など
栄区	桜井	396	220	12,356	208	サッカー教室/紙芝居/囲碁・将棋/キッズキッチン/バスケットボール教室/ミュージックベル/バドミントン/勾玉づくり/手話教室/紙すき/ぞうりづくり など

協会の事業

都筑区	荏田東第一	406	231	12,093	270	逃走中/ドッジボール/おやつづくり/マジックショー/プレイパークで遊ぼう/壁画アート/ミニ運動会/火を使った遊びと飯盒炊さん/おやじの会もちつき など
戸塚区	名瀬	602	333	14,695	266	バドミントン/写真館/ドッジボール/バスケットボール/科学実験ブース/キッズ劇場/空気鉄砲ロケット/オセロ大会/おやつ工房/茶道/ペーパークラフト など
神奈川区	浦島	444	225	14,050	237	かざぐるまを作ろう/3B体操/キッズキッチン/かめのコシネマ/お話し会/マスコットづくり/ドッジボール/プールあそび/浦島荘に行こう/クラフト/体育館あそび など
保土ヶ谷区	権太坂	645	327	17,721	318	百人一首/オセロ/キッズ農園クラブ/ゴン太シネマ/工作の日/アートの日/ドッジボール/手芸/親子陶芸教室/レゴの日/わくわくチャレンジ/一輪車検定/光陵高校へGO など
金沢区	瀬ヶ崎	492	258	12,324	215	囲碁/瀬ヶ崎探検隊/ドッジボール/シカケ屋/折り紙クラブ/ビーズのアトリエ/おいしい研究室/体感温度-3℃作戦/冬支度クラフト など

2 研修などの実施

放課後キッズクラブ20か所のスタッフを対象とした研修を企画し、スタッフのスキルアップを図りました。

事業名（放課後児童育成推進）	事業体系区分
1 放課後キッズクラブのスタッフを対象とした研修 (1) 放課後キッズクラブスタッフ研修 協会の運営する20か所のスタッフを対象とした12講座の研修を企画・運営し、延べ97人が参加しました。 ① スキルアップ講座（交流センター） 内 容：「身近にある材料や折紙を使ったクラフト」 ①4月27日 5匹の動物で～“伝承おりがみ”より(6人) ②5月11日 ビーズ、フェルトでストラップ(15人) ③6月8日 七夕飾り(9人) ④7月13日 花壇を作ろう～四季の花を作り植え替える(7人) ⑤8月11日 しおり、織紙(5人) ⑥9月8日 モビール(8人) ⑦10月13日 ガリガリプロペラほか(6人) ⑧11月9日 かごを編む(11人) ⑨12月14日 カード(クリスマス・正月用飾り、カードなど)(7人) ⑩1月12日 おひなさま(9人) ⑪2月8日 五月節句(8人) ⑫3月8日 リリアン編み(6人)	C-II 1-③

3 会議などの実施

協会の運営する20か所の放課後キッズクラブ毎に評議会や保護者会を開催するとともに、キッズクラブ主任指導員、及び指導員の会議を定期的に行い、情報交換などを行いました。

事業名（放課後児童育成推進）	事業体系区分
1 評議会 20か所の放課後キッズクラブ毎に評議会を開催し、委員の方から様々な意見を伺いました。 開催回数：各キッズクラブ年2回 ※本町小キッズは年1回	C-II 1-③

<p>2 保護者会</p> <p>20か所の放課後キッズクラブで総計46回の保護者会を開催し、保護者からの意見や要望を聞く機会を設けました。</p> <p>開催回数：各キッズクラブ年2～3回</p>	<p>C-II 1-③</p>
<p>3 主任指導員会議</p> <p>20か所の主任指導員を対象に、精算業務や事務連絡などを含めながら放課後キッズクラブ間での情報交換を行いました。 開催回数：11回 ※合同会議：3回</p>	<p>C-II 1-③</p>
<p>4 指導員会議</p> <p>20か所の指導員を対象に、事務連絡や報告などを含めながら協会内各放課後キッズクラブ間での情報交換を行いました。 開催回数：6回 ※合同会議：3回</p>	<p>C-II 1-③</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) ボランティア受入れ</p> <p>20か所のキッズクラブでは、子どもに関わる青少年ボランティアの受入れを行ない、高校生・大学生を含めた幅広い世代の市民に活動の場を提供しました。</p> <p>キッズクラブ（20か所） 年間受入数：2,927人</p> <p>(2) 地域交流活動</p> <p>キッズクラブでは、日常的な活動の中で地域や近隣施設との連携によるプログラムを実施しているだけでなく、地域での清掃活動や交流活動として地域に出向き、子どもと地域とのコミュニケーションや理解を深める活動にも取り組んでいます。</p> <p>22年度の主な訪問事例：特別養護老人ホームハマノ愛生園 浅間台地域ケアプラザ 老人福祉センター浦島荘 県立光陵高等学校など学校 横浜市衛生研究所 ANA、JAL機体整備工場 など</p>	<p>C-II 1-③</p>